

年報

第52号 令和5年度

No. 52

鳥取県立博物館 年報

Annual Report of the Tottori Prefectural Museum

令和
五年度
年報

鳥取
県立
博物
館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

目 次

■令和5年度の鳥取県立博物館

- 1 総 論…………… 1
- 2 各課の概況…………… 3

■管理運営の概況

- 1 組 織…………… 5
- 2 博物館協議会…………… 6
- 3 予算・決算…………… 8
- 4 利用状況…………… 9

■事業の概要

- 1 調査研究…………… 11
 - (1) 調査研究…………… 11
 - (2) 研究報告等の刊行…………… 11
- 2 資料収集・保管…………… 12
 - (1) 博物館資料保有状況…………… 12
 - (2) 購入(製作)資料…………… 12
 - (3) 寄贈資料…………… 12
 - (4) 採集・拾得等資料…………… 13
 - (5) 保管換資料…………… 13
- 3 展 示…………… 13
 - (1) 常設展示…………… 13
 - (2) 企画展…………… 19
- 4 教育普及活動…………… 33
- 5 博物館交流事業…………… 42
- 6 ボランティア活動…………… 43
- 7 県民との連携・地域への貢献…………… 44
- 8 その他の事業…………… 49
- 9 学芸員の業績…………… 51

◎附録

- 1 沿 革…………… 67
- 2 施設の概要…………… 70
- 3 昭和47年度～令和5年度利用統計…………… 73
- 4 昭和47年度～平成18年度催物展(企画展)開催状況…………… 85
- 5 条例・規則…………… 88

令和5年度の鳥取県立博物館

1 総 論

4月1日に博物館法の一部を改正する法律が施行され、法律の目的や博物館の事業、博物館登録制度等が見直された。このうち、博物館登録制度の見直しでは、これまで登録博物館であった施設も、新たな要件のもと再登録の必要があり、鳥取県立博物館は、県内各館を登録博物館へ導く牽引役となるべき立場であるとの認識から、9月20日付けで県内一例目の登録博物館となった。

令和2年以降続いていた新型コロナウイルス感染症は、5月8日から感染症法の位置付けが5類感染症に移行したが、館内の感染対策（手指消毒の配置、接客時のマスク着用など）はしばらく継続実施した。

こうした中、夏の企画展として「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」（7月1日（土）～8月27日（日））を開催した。

鳥取県立博物館は、自然、歴史・民俗、美術の3分野を有する総合博物館であるが、その前身は鳥取県立科学博物館（現在の仁風閣の建物）であることから、数年ごとに科学分野の企画展を開催している。今回は、アインシュタインの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、夏休みの子どもたちが楽しみながら学べる内容とし、2万3千人以上の来場者があった。

秋の企画展として「勾玉の世界」（10月7日（土）～11月12日（日））を開催した。

縄文時代に生まれた勾玉は、その後の長い歴史の中で形や素材のリニューアルを繰り返すことにより、新たな魅力が加えられてきた。一方で祭祀専用の勾玉が生み出されるなど、勾玉は、単なる装身具としてだけでなく、多様な性格を帯びたアイテムとして現代まで受け継がれてきた。今回は、当館所蔵の重要文化財「子持勾玉」をはじめとする各地の個性的な勾玉を紹介しながら、古代から現代人をも魅了する勾玉の魅力を紹介した。

冬の企画展として「ミュージアムとの創造的対話04～ラーニング／シェアリング」（11月26日（日）～12月28日（木））を開催した。

ミュージアムとの創造的対話は、ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探ることを目的としたシリーズ企画展である。

今回は「ラーニング／学ぶこと」と「シェアリング／共有すること」をテーマに、国内外の第一線で活躍するアーティストが、参加型の展示、ワークショップ、プロジェクトを提供した。

春の企画展として開催した「生誕二〇〇年 根本幽峨～近世鳥取画壇の『黄金時代』最後の華」（2月10日（土）～3月20日（水））は、令和5年秋に県指定文化財に指定された「琴棋書画図」の作者で、幕末の鳥取藩絵師 根本幽峨の生誕200年を記念し開催したものである。

長年に渡り検討を続けてきた博物館改修について、これまで博物館協議会を中心に議論していただいた内容をもとに、具体化に向けた検討に取り組んでいたところ、令和6年1月に能登半島地震が発生し、1月31日に開催された第2回県有施設・資産有効活用戦略会議で、「多くの県民が利用する施設であり、能登半島地震も踏まえ、早急な耐震改修が必要であることから、県直営による耐震改修を早急に行う。耐震改修以降の博物館の運営にかかる民間活力の導入検討については、「令和11年度の指定管理施設一斉更新に向けた公の施設のあり方検討」の中で実施する」ことが決定した。

（1）組 織

総務課に「改修担当」を設置した。

(2) 資料の収集・調査研究

自然部門では鳥取県産の動物、植物、化石などの標本の寄贈や、学芸員による採集などにより、様々な貴重な資料を収集した。また、仮保管されていた動物遺体などを標本化した。これらの標本の整理や鳥取県の自然史に関する調査研究を実施し、その成果を『鳥取県立博物館研究報告』等に発表した。

人文部門では、鳥取藩に関わる歴史資料・池田家伝来の大名道具一式（6点）を購入した。また民俗資料では「山陰における口承文芸の記録（童謡・民話等）」2,836件の寄贈を受けた。

美術部門では、企画展に関する調査を行うとともに、鳥取県の美術に関する調査を継続して行い、根本幽峨《出山御尊像》を新たに収集した。

(3) 展 示

企画展4本（自然分野1本、人文分野1本、美術分野2本）を開催し、博物館全体の事業に約9万5千人超の来館者があった。

〈企画展の概要〉

自然分野：企画展「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」では、20世紀最高の物理学者である、アルベルト・アインシュタインが解明した4つの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、子どもから大人まで楽しみながら学べる展示とした。また、アインシュタインの手紙や資料、幼少時の挫折体験や晩年の平和活動、ユニークな名言などアインシュタインの深みのある人間性も紹介した。体験装置やミニプラネタリウム、サイエンスショーは好評を博し、目標を大きく上回る入場者でにぎわった。

人文分野：企画展「勾玉の世界」（10月7日（土）～11月12日（日））を開催した。勾玉の歴史やその多様性を展示・紹介した。所在不明となっていた琴浦町出土の子持勾玉と、東京へ流出した勾玉と共に、初めての里帰りを展示を果たした。会期中、県内在住の一般の方々からの勾玉等の持ち込み相談が複数あるなど、身近な資料の見直し、掘り起こしの機運の醸成が図られた。

美術分野：美術部門では、「ミュージアムとの創造的対話04～ラーニング／シェアリング」および「生誕二〇〇年 根本幽峨」を開催した。第4回目となる対話展では、「ラーニング／学ぶこと」と「シェアリング／共有すること」をテーマに、国内外の第一線で活躍するアーティストであるリクリット・ティラヴァニ、小沢剛とグループ「ヤギの目」、高山明の3名／組が、参加型の展示、ワークショップ、プロジェクトなどを実施した。根本展では、幕末の鳥取藩絵師 根本幽峨の生誕200年を記念し、沖一峨に師事して早くよりその画才を認められ、世襲によらずその実力を以て藩絵師に登用されながらも短い生涯を終えた画家の全貌を、画業初期から晩年までの作品・資料を一堂に会して紹介した。

(4) 学習支援

普及関係では、県民の生涯学習を支援するため、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを開催した。

移動博物館・移動美術館（出前展示）は、18回実施し延べ1,085人が参加した。また、各種講座や講演会、学芸員派遣は、年間を通して77回開催し、延べ2,209人の参加があった。

広報に関しては、Facebook、Instagram、Twitterにて、企画展の告知や普及講座の開催前後に随時情報発信して、ファン層の拡大に努めた。

併せて、各種広報系 Web ページにも登録して、幅広い情報発信を行った。Web 以外のメディアについても、対象年代や広報手段について検討し、より効果的な広報を実施するとともに、県民の方へより広く博物館について知っていただくために、ニュースレター「鳥取県立博物館ニュース」を年 2 回配布した。

(5) 来館者サービス

県民の来館機会の拡大を図るため、平成 21 年度から期間を限定して開館時間を延長している。令和 5 年度は企画展「ノーベル賞受賞 100 年記念 アインシュタイン展」の会期中（7 月 1 日（土）～8 月 27 日（日））の土曜日を、午後 7 時まで開館時間を延長した。

地球温暖化の影響が懸念される中、熱中症対策のモデル事業として鳥取市が取り組まれている「クールシェルター」に 6 月 7 日から協力参加した。

6 月 13 日の閣議決定「こども未来戦略方針」を受けて、鳥取県では「子育て王国鳥取県」を掲げていることから、当館では 7 月 1 日から子ども連れや妊婦等の方の優先受付レーン「こどもファスト・トラック」の取組を始めた。

2 各課の概況

(1) 総務課

- ・博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である鳥取県立博物館協議会を 3 回開催した。

(2) 学芸課

●自然担当

- ・企画展「ノーベル賞受賞 100 年記念 アインシュタイン展」（7 月 1 日（土）から 8 月 27 日（日））を開催し、体験装置やゲーム、各種資料を用いて 20 世紀最高の物理学者アルバート・アインシュタインによる科学理論を解説するとともに氏の人間性も紹介した。
- ・収蔵資料等の整理事業として、「貝類標本整理事業（3 年目／3 か年事業）」を実施した。
- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施し、調査研究活動として研究成果を『鳥取県立博物館研究報告』等に発表した。

●人文担当

- ・企画展「勾玉の世界」（10 月 7 日（土）～11 月 12 日（日））を開催した。
- ・藩政資料整備事業（第 3 次 32 か年計画）の 3 年目。
- ・収蔵資料保存・修復事業（因幡国海岸絵図補修）を実施した。
- ・「鳥取藩政資料」解説事業（町奉行日記）を推進した。
- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施し、調査研究活動として研究成果を国際医学雑誌に発表した。

●学習支援

- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、新型コロナ感染拡大防止に努めながら各種の講座や体験学習会、移動博物館や移動美術館、学芸員派遣等の事業を実施した。
- ・情報発信では、SNS の活用や民間等の運営する Web サイト、情報誌等への情報提供に積極的に取り組んだ。また、普及誌「鳥取県立博物館ニュース」No.36、37、リーフレット「2024. 4 -

2025. 3 展覧会・イベントのご案内」を発行した。

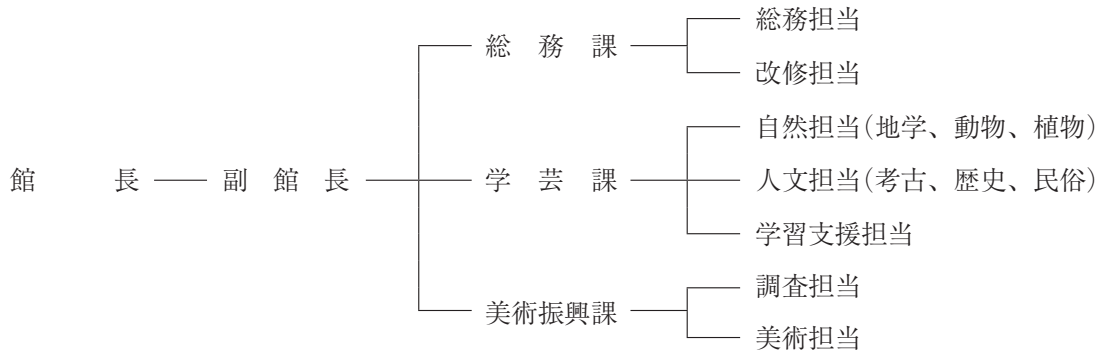
- ・ 県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」のアクセス件数が公開約3年で100万件を超えた。

(3) 美術振興課

- ・ 美術部門では、企画展については「ミュージアムとの創造的対話 04～ラーニング／シェアリング」および「生誕二〇〇年 根本幽峨」を開催した。
- ・ 2階展示室におけるテーマ展示では2つの取り組みを行った。「センス・オブ・サイズ ～『大きさ』という観点からアートを読み解くと」（第1・第2特別展示室）では、当館コレクションを中心とするさまざまな美術作品や関係資料を、「大きさ」「サイズ」という観点で読み解きながら、大小の比較も含めて紹介展示し、それらが持っている魅力や価値、個性に光を当てた。さらに、多様なアートと出会える場を提供する「シリーズ：美術をめぐる場をつくる」の5年目の企画として、「赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダイス」（近代美術展示室）と題し、赤ちゃんたちに楽しんでもらえそうな平面作品、立体作品を会場に展示するとともに、「みんなでつくる美術館のためのオープン・ミーティング《子どもと美術館》」に参加した方々のアイデアや意見を会場づくりに生かし、各種の参加型ブースを会場内に設けた。
- ・ 鳥取県アートミュージアム連携協議会事業として、共同企画展「ドローイング・アディクト!! ハマる素描」と題した展示を米子市美術館で行い、当館および米子市美術館、日南町美術館、倉吉博物館、鳥取民藝美術館、個人が所蔵する各作家の作品を紹介した。
- ・ このほか、ワークショップ、アートシアター、企画展関連事業等を随時開催して美術に関する教育普及に努めた。また、新しい県立美術館のアート・ラーニング・ラボの機能充実に向けてバス招待事業を拡充し、県内の14校の小学校より延べ869名の児童を博物館に招待し、対話型鑑賞を行いながら展覧会を楽しんでいただいた。

管理運営の概況

1 組 織 (令和6年3月31日現在)



職員名簿 (令和6年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
館長	漆原 芳彦	副館長 (本務美術振興監)	尾崎 信一郎	副館長 (総務課長・美術館整備局次長兼務)	藤原 浩

総務課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
総務課長	藤原 浩	主事 (本務美術館整備課)	松田 悠	会計年度任用職員 (事務)	石井 桃子
総務課長補佐 (美術館整備課兼務)	山本 哲慎	主事 (美術館整備課兼務)	下田 理咲	会計年度任用職員 (事務)	池田 貴子
総務課長補佐	桑本 英明	/		/	
改修課長補佐	松本 千恵				

学芸課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
学芸課長	川上 靖	自然担当員 主任学芸員	田邊 佳紀	会計年度任用職員 (貝類標本専門員)	渡邊 克典
自然担当員 主幹学芸員	一澤 圭	自然担当員 学芸員	鶴 智之	会計年度任用職員 (資料管理専門員)	本庄 孝行
/		自然担当員 学芸員	清末 幸久	/	
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館総括専門員 (自然担当併任)	安藤 和也		
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員 (自然担当併任)	小矢野 悠造		
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員 (自然担当併任)	金山 恭子		

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
人文担当 主幹学芸員	福代 宏	人文担当 専門員兼主任学芸員	小山 浩和	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	齋江 仁美
		人文担当 主任学芸員	来見田 博基	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	北村 昌昭
		人文担当 主任学芸員	大嶋 陽一	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	山田 やよい
		人文担当 学芸員	山本 隆一朗	会計年度任用職員 (複写機オペレータ)	清水 信生
学習支援担当 専門員兼主任学芸員	茶谷 満			会計年度任用職員 (広報・普及専門員)	植村 明美
				会計年度任用職員 (事務補助)	梅田 正春

美術振興課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
美術振興課 課長	三浦 努	調査担当 専門員 (美術館整備課兼務)	外村 文	会計年度任用職員 (アーカイヴ資料整理員)	柿田 春香
		調査担当 専門員兼学芸員 (本務美術館整備課)	佐藤 真菜		
		調査担当 学芸員 (美術館整備課兼務)	山田 修平		
		美術担当 主任学芸員 (美術館整備課兼務)	赤井 あずみ		
		美術担当 専門員 (美術館整備課兼務)	山本 亮		
		美術担当 主任学芸員 (美術館整備課兼務)	友岡 真秀		

2 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会は、「鳥取県立博物館協議会に関する条例」に基づき設置され、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

委員13名で構成し、全体会のほか、運営・自然・美術及び人文の各専門部会を設けて、適宜開催している。

(1) 協議会開催状況（令和5年度）

全体会（第1回） 令和5年8月1日

- 協議事項 ①博物館法の改正に伴う博物館登録について
②博物館の改修整備について
- 報告事項 ①博物館事業の実施状況について
②令和4年度博物館事業に係る決算について
③令和5年度博物館・美術館整備局の予算について
④鳥取県立美術館整備の進捗状況について
⑤人事異動に伴う事務局職員の変更について

全体会（第2回） 令和5年12月26日

- 報告事項 ①令和5年度博物館事業の実施状況について

②令和6年度博物館事業の計画案について

③鳥取県立美術館整備の進捗状況について

協議事項 鳥取県立博物館改修の検討に係る進捗状況について

全体会（第3回） 令和6年3月（書面会議）

報告事項 ①令和5年度博物館事業の実施状況について

②令和6年度博物館事業の予算について

③鳥取県立美術館整備の進捗状況について

④鳥取県立博物館改修の進め方の見直し

⑤令和6年度博物館及び美術館の組織体制

(2)鳥取県立博物館協議会委員名簿（任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日）

氏名	団体名及び職名	所属部会	区分	備考
谷口博繁	元鳥取県立博物館長	運営	議部会長	社会教育
浅井美和	鳥取市立宝木小学校校長			学校教育
宮崎百合	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授			
山口朝子	鳥取県家庭教育アドバイザー			家庭教育
鶴崎展巨	鳥取大学名誉教授	自然	部会長	
碓京子	高梁市成羽美術館化石担当学芸員			
矢田貝繁明	大山自然歴史館館長			
岸本覚	鳥取大学地域学部長	人文	部会長	
浅沼政誌	鳥根県教育庁文化財課古代文化センター主任研究員			学識経験者
李素妍	鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース准教授			
石谷孝二	鳥取大学名誉教授	美術	部会長	
中尾廣太郎	鳥取洋画家協会会長			
山下真由美	大阪市立美術館学芸員			

※部会順、五十音順。団体名及び職名は、令和5年度当時のもの。

3 予 算 ・ 決 算

(一般会計 現年)

(単位：千円)

(目 名)	予 算 額			決算額	決算額の財源内訳					備 考		
	当初予算	補正額	流用額		計	国庫	使用料	財産収入	諸収入		債 起	繰越金
(博物館費)												
企画展開催費	81,082	△ 123	△ 1,804	79,155		0	12,434				65,491	
〔ノーベル賞受賞100年記念アインシュタイン展	22,640		△ 10	22,630			7,081				15,549	
勾玉の世界	18,117		△ 210	17,907			1,439				16,438	
ミュージアムとの創造的対話04 ラーニング/シェアリング	18,854		△ 784	18,070			2,470				15,600	
生誕二〇〇年 根本幽峨	18,912		△ 122	18,790			1,444				17,268	
アートって、なに?～ミュージアムで遊ぼう、みる・しる・あそぶの夏休み	2,559	△ 123	△ 678	1,758							636	
博物館運営費	85,683	△ 1,360	7,678	92,001		1,723	1,491				85,017	
自然事業費	5,280	△ 1,528	1,646	5,398							5,260	
人文事業費	20,632		△ 204	20,428							19,427	
博物館学習支援事業費	8,045	△ 1,334	△ 141	6,570							5,772	
美術事業費	11,311		△ 175	11,136							10,381	
県立博物館改修整備検討事業	0	33,330	△ 175	33,330							33,220	
小 計	212,033	28,985	7,000	248,018	0	1,723	13,925	0	0		224,568	

4 令和5年度利用状況

(1) 利用者数

常設展示	企画展	普及活動		研究 相談	小計	許可利用			カフェ・ レストラン	合計
		館内	館外			展示室	講堂 会議室	小計		
28,961	33,535	[228] 2,841	3,973	128	[228] 69,438	11,065	2,574	13,639	12,537	[228] 95,614

※〔 〕は常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、記載欄においては外数(常設展又は企画展の入館者数中に含まれる。)

(2) 常設展示入館者数

(単位：人)

月別	開館 日数	幼 児			小中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			1 日 当 た り の 入 館 者 数
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4月	26	74	0	74	167	210	377	129	0	129	66	20	86	(292) 819	(23) 316	(315) 1,135	(292) 1,255	(23) 546	(315) 1,801	69
5月	28	95	8	103	188	28	216	71	91	162	66	0	66	(341) 1,089	(3) 379	(344) 1,468	(341) 1,509	(3) 506	(344) 2,015	71
6月	26	60	2	62	97	91	188	36	0	36	48	7	55	(245) 567	(0) 191	(245) 758	(245) 808	(0) 291	(245) 1,099	42
7月	27	502	14	516	886	70	956	68	0	68	63	0	63	(1,403) 1,610	(25) 134	(1,428) 1,744	(1,403) 3,129	(25) 218	(1,428) 3,347	123
8月	28	980	0	980	2,564	5	2,569	164	0	164	181	0	181	(2,054) 2,421	(0) 161	(2,054) 2,582	(2,054) 6,310	(0) 166	(2,054) 6,476	231
9月	28	93	0	93	80	152	232	22	0	22	71	0	71	(185) 1,102	(35) 266	(220) 1,368	(185) 1,368	(35) 418	(220) 1,786	63
10月	29	520	45	565	292	146	438	28	0	28	55	0	55	(1,365) 1,739	(0) 528	(1,365) 2,267	(1,365) 2,634	(0) 719	(1,365) 3,353	115
11月	28	562	82	644	284	276	560	14	0	14	73	0	73	(1,352) 1,705	(39) 650	(1,391) 2,355	(1,352) 2,638	(39) 1,008	(1,391) 3,646	130
12月	27	97	15	112	310	147	457	35	0	35	89	0	89	(425) 710	(0) 138	(425) 848	(425) 1,241	(0) 300	(425) 1,541	57
1月	26	110	0	110	124	18	142	17	0	17	32	9	41	(117) 428	(0) 199	(117) 627	(117) 711	(0) 226	(117) 937	36
2月	25	115	12	127	125	1	126	32	0	32	64	0	64	(384) 707	(2) 176	(386) 883	(384) 1,043	(2) 189	(386) 1,232	49
3月	26	106	56	162	159	0	159	41	75	116	140	0	140	(505) 822	(76) 329	(581) 1,151	(505) 1,268	(76) 460	(581) 1,728	66
合計	324	3,314	234	3,548	5,276	1,144	6,420	657	166	823	948	36	984	(8,668) 13,719	(203) 3,467	(8,871) 17,186	(8,668) 23,914	(203) 5,047	(8,871) 28,961	89

()は入館料減免者で内数である。

(3) 企画展入館者数

(単位：人)

区分 展覧会名	期間 開館 日数	幼 児			小・中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			1 日 当 た り の 入 館 者 数	
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
ノーベル賞受賞 100年記念ア インシュタイン展	R5.7.1~ R5.8.27	52	2,960	14	2,974	7,771	81	7,852	444	5	449	508	0	508	(1,088) 11,376	(0) 572	(1,088) 11,948	(1,088) 23,059	(0) 672	(1,088) 23,731	456
勾玉の世界	R5.10.7~ R5.11.12	36	170	0	170	465	3	468	39	4	43	122	0	122	(366) 2,841	(22) 196	(388) 3,037	(366) 3,637	(22) 203	(388) 3,840	107
ミュージアムとの 創造的対話04	R5.11.26~ R5.12.28	32	107	15	122	1,006	136	1,142	86	9	95	0	0	0	(134) 1,351	(0) 32	(134) 1,383	(134) 2,550	(0) 192	(134) 2,742	86
生誕200年 根本幽 蔵 近世鳥取画壇の 「黄金時代」最後の華	R6.2.10~ R6.3.20	34	41	0	41	108	60	168	44	209	253	0	0	0	(234) 2,578	(0) 182	(234) 2,760	(234) 2,771	(0) 451	(234) 3,222	95
合 計			3,278	29	3,307	9,350	280	9,630	613	227	840	630	0	630	18,146	982	19,128	32,017	1,518	33,535	

()は入館料減免者で内数である。

(4) 館外主催展

展覧会名	期間	内容	入館者数	主催者
第62回 麒麟のまち 鳥取市美術展	5月28日～6月4日	絵画・書道・ 写真等	2,066	鳥取市 (文化交流課)
第50回 記念山陰書人 社展・言水抱泉書展	6月8日～6月11日	書道	1,623	山陰書人社
第67回 鳥取県美術展覧会	9月16日～9月24日	絵画・書道・ 写真等	3,485	鳥取県 (文化政策課)
「愛しいキルト」V o 1. 2	9月28日～10月1日	パッチワー ク作品	508	サニープレイス・ パッチワーク教室
第21回 鳥取県ジュ ニア美術展覧会	1月13日～1月21日	絵画・書道・ 写真等	1,995	鳥取県 (文化政策課)
あいサポートアート とっとり展 東部巡回展	1月25日～1月30日	絵画・書道・ 写真等	690	鳥取県 (障がい福祉課)
第47回 鳥取書道連盟展	3月27日～3月31日	書道	698	鳥取書道連盟
合 計			11,065	

事業の概要

1 調査研究

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡に関する調査研究
歴史	天正9年(1581年)鳥取城の戦いにおける「兵糧攻め」(日本におけるリフィーディング症候群の最初の記述)の研究
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和4年度企画展(「すべてみせます! 収蔵庫の資料たち」「安岡信義」)および令和5年度企画展(「創造的対話展04」「根本幽峨」)等に関する調査研究
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称(発行時期)	発行部数	規格
鳥取県立博物館年報 No. 51(令和5年11月)	300部	A 4 96ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 36(令和5年9月)	10,000部	A 4 8ページ
研究報告 No. 61(令和6年3月)	400部	A 4 91ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 37(令和6年3月)	10,000部	A 4 8ページ

2 資料収集・保管

(1) 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本 年 度 中 増 加 点 数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,631		2					8,633
動 物*	9,305	2	10	3				9,320
昆 虫*	27,211		12	54				27,277
植 物	56,271	1	663	101				57,036
歴 史	59,054	16	197		399			59,666
近 現 代	8,403	8	2					8,413
民 俗	4,293		63					4,356
考 古	8,292							8,292
美 術	10,618	1						10,619
そ の 他	123							123
合 計	192,201	28	949	158	399	0	0	193,735

*：令和4年度分まで「動物」として一括表記していたものを分割した。

(2) 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	ニホンザル本剥製・骨格標本 計2点
昆 虫	なし
植 物	ヒョウノセンカタバミ レプリカ1点
歴 史	池田家伝来大名道具一式6点、東館家臣別所家資料一括、高島流砲術手鑑之巻1点、天保9年公方様御代替に付(諏訪縫殿助中国筋御巡見史料)6点、本朝義盗競1点、白井権八・幡随院長兵衛1点
近 現 代	鳥取県関係絵葉書7点、鳥取県関係パンフレット1点
民 俗	なし
考 古	なし
美 術	根本幽巖《出山御尊像》1点

(3) 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	なし(過去に寄贈された植物化石2点を整理・登録した。)
動 物	タゴビル1点、キタオットセイ骨格標本1点、イボトビムシ標本6点、アオバダイ冷凍資料1点【標本化後に登録予定】、小型サンショウウオ ホロタイプ標本2点、アオウミガメ剥製1点【登録外】、海産動物等標本 約1500点【整理後に登録予定】、貝類標本 約60,000点【整理後に登録予定】、トビムシ類プレパラート標本 約8000点【整理後に登録予定】
昆 虫	鳥取県産昆虫標本12点
植 物	維管束植物標本 約1400点【整理後に登録予定】、ツリバリサルノコシカケ1点【標本化後に登録予定】、イズセンリョウ1点【標本化後に登録予定】、水草乾燥標本50点【整理後に登録予定】
歴 史	和歌短冊3点、因幡国高砂屋一家系図1点、菅家文書(付 革製御判物箱)39点、船上山碑拓本1点、旧鳥取藩士野田懐之家文書125点、鳥取藩武道伝書15点、鳥取藩士道丸家資料12点
近 現 代	ロシア製銃剣1点、井上円了書1点
民 俗	護摩祈禱札61点、袱紗1点、山陰における口承文芸の記録(童謡・民話等)2,836件1括
考 古	なし

美 術	なし
-----	----

(4) 採集・拾得等資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	キシノウエトタテグモ1点、ハンドウイルカ(分離骨格標本)1点、ハクビシン(なめし皮標本)1点
昆 虫	鳥取県産昆虫54点
植 物	維管束植物99点、菌類2点

(5) 保管換資料

部 門	資 料 名
歴 史	県立図書館旧蔵岩成家資料399点

3 展 示

(1) 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・ 模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴 史・民 俗	820	88	908
美 術	66	0	66
合 計	3,507	94	3,601

■自然展示室(515㎡)

〈鳥取県の地質〉

- 鳥取県の地質の歴史を岩石・化石標本とパネルで紹介
- 鳥取県の地質地形を模型で紹介

〈鳥取県の“県の石”、日本の“国の石”〉

- 日本地質学会選の鳥取県の“県の石”と、日本鉱物科学会選の日本の“国の石”を展示

〈山陰沖海底産の哺乳類化石〉

- 山陰沖から産出したナウマンゾウやセイウチなどの化石を展示

〈鳥取県の化石〉

- 鳥取市国府町宮下の魚類化石、佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石などを展示

〈鳥取砂丘〉

- 鳥取砂丘の地形と形成過程を剥ぎ取り標本、地形模型、映像などで紹介

〈地球の歴史と生物の進化〉

- 各地質時代の古生物をジオラマ7景で紹介
- 古生代、中生代、新生代の化石などを展示

〈鉱物と岩石〉

- 鉱物の分類と特徴・性質を標本とパネルで紹介
- 蛍光を発する鉱物を展示

- 岩石の分類と特徴を標本とパネルで紹介

〈鳥取砂丘の生物・大山の生物・中国山地の生物〉

- 鳥取砂丘、大山および中国山地に生息する生物について、それぞれ標本・ジオラマとパネルで紹介

〈鳥取県の漂着動物〉

- 鳥取県沿岸に漂着した海洋動物の標本を展示（ダイオウイカ、リュウグウノツカイ、クジラ類、マンボウ類、ウミガメ類など）

〈鳥取県における動物の地理的変異〉

- 鳥取県において地理的分化のみられる動物を標本とパネルで紹介（カワトンボ類、フキバツタ類、ザトウムシ類など）

〈人間活動と野生生物〉

- 鳥取県の外来種問題や環境問題を標本とパネルで紹介

〈鳥取の植物〉

- 鳥取県にみられる植物の押し葉標本と写真を展示

〈オオサンショウウオ・コーナー〉

- 国の特別天然記念物オオサンショウウオ（メス1個体）の飼育展示
- オオサンショウウオの標本展示、およびクイズ・コーナー

〈動物の分類展示〉

- 甲殻類、イカ・タコ類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を標本とパネルなどで紹介
- 貝類、昆虫類を標本とパネルで紹介

〈キノコの世界〉

- 菌類をアクリル封入標本、パネルで紹介

〈海藻のなかま〉

- 海藻類をアクリル封入標本とパネルで紹介

〈「みて・さわって・調べよう」コーナー〉

- 食卓でもおなじみの魚類を剥製やレプリカ標本で紹介
- 小コーナーで「鳥取県のタンポポ」「巨大キノコオオミヤマトンビマイ」「クリスマスを彩る植物たち」「春の七草」「飢餓から人々を救った有毒植物」を展示

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月よりハンズ・オン展示を中止。

「自然の窓」コーナー

展 示 タ イ ト ル	展 示 期 間
イカをごらんください	令和5年3月29日～6月18日
天然岩絵具 ～絵画を彩る鉱物たち～	令和5年6月20日～9月10日
知ってるようで知らない赤とんぼの世界	令和5年9月12日～令和6年2月4日
雨粒を利用して仲間を増やす菌類・変形菌類	令和6年2月6日～

■歴史・民俗展示室（515㎡）

〈鳥取県のあけぼの〉

- 重要文化財子持勾玉の展示
- 旧石器時代～縄文時代草創期のナイフ形石器・有舌尖頭器などを展示
- 縄文時代の石器・木器・骨角器等、生活の道具の展示
- 智頭枕田遺跡をはじめとする県内出土の縄文土器を時期順に解説展示

〈弥生時代〉

- 稲作文化の伝来を伝える農具、県内出土の弥生土器の展示
- 農耕のまつりに使われた青銅器や土製品の紹介
- 青谷上寺地遺跡出土の木製品・鉄器・土器の展示
- 「弥生の国邑」妻木晩田遺跡の地形模型と出土土器の展示
- 日本海を介した交流による県内出土品の紹介
- 山陰独特の墓「四隅突出型墳丘墓」とその出土土器の紹介
- ◆土器パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収

〈古墳時代〉

- 古郡家1号墳等、県内の主要古墳出土資料の展示
- 重要文化財三角縁神獣鏡をはじめとする県内古墳出土銅鏡の紹介
- 鉄刀、鉄鎌、馬具等、様々な古墳副葬品の展示
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪など、県内の代表的な埴輪の展示
- 山陰に特徴的な土師器と須恵器の展示
- 様々な玉類や子持勾玉の紹介
- 古墳時代終末期の梶山古墳および横穴墓の出土遺物の展示

〈古代～中世〉

- 因幡・伯耆国府出土資料の展示、古代寺院に関する資料の展示
- 県内の古代寺院出土軒丸瓦、鬼瓦の展示
- 上淀廃寺彩色壁画、山陰型鴟尾の復元レプリカの展示
- 大山寺と三仏寺の紹介
- 三徳山三仏寺投入堂模型の展示
- 東郷庄と「東郷庄下地中分図」の紹介
- 県内の経塚出土の経筒、瓦経などの展示
- 梵鐘（廃網代寺・国英神社）・宝篋印塔の展示
- 鎌倉時代～南北朝期の因幡・伯耆
- 因幡・伯耆の守護大名山名氏の勢力を示す資料の展示

〈近世〉

- 豊臣秀吉による鳥取城攻めの紹介と、山名豊国肖像（複製）、吉川経家文書（複製）など関連資料の展示
- 亀井茲矩書状など、亀井茲矩の事績の紹介
- ◆領地パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収
- 池田光仲肖像（複製）、領地判物、夫人など、鳥取池田家の解説展示
- 鳥取・米子などの城下町関連資料、城下町絵図と現代地図の重ね合わせ図の展示
- 元禄の国絵図レプリカの展示
- 武士の格式と暮らし、武具やたしなみ（琴、茶）などの展示
- 鳥取を代表する産物である鉄・紙・木綿に関する資料の展示
- 大山寺略絵図など、近世の大山寺に関する展示
- 鳥取藩と竹島との関わりの展示
- 幕末の鳥取藩を示す資料の展示
- 鳥取藩の参勤交代の展示
- 鳥取城の模型、出土瓦など、鳥取城関係の展示

〈近現代〉

- 鳥根県に併合されていた時代の地券、卒業証書などの展示
- 小学読本・教科書など、明治期の教育に関する展示
- 歩兵第四十連隊と日露戦争の関わりに関する展示
- 山陰線の開通など、鳥取県の近代化に関する展示

〈民俗〉

- 復元民家による昔の暮らしの紹介
- ◆ランプ・行灯の明るさ体験
- 鳥取県独自のキリン獅子舞を装束一式と映像で紹介
- 「かすり」を作る道具の展示と、かすりの製作工程の紹介
- 小豆雑煮、松葉がに、二十世紀梨など鳥取県の食文化の展示
- はこた人形・土天神など、鳥取県の郷土玩具の展示
- サネモリさん・荒神さんとクチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の解説展示（実物・映像）
- 無形民俗文化財・民俗行事を映像で紹介
- ◆棹ばかりを実際に使ってみる体験コーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収

〈歴史の窓〉

展示タイトル	展示期間
鳥取県出土の皇朝十二銭	令和5年2月28日(金)～5月7日(日)
スタッフ大募集！ —加須屋家文書にみる戦国節の再就職—	令和5年5月9日(火)～7月9日(日)
クラカメ！沖正カメラコレクション	令和5年7月11日(火)～9月10日(日)
勾玉の世界展関連企画 —宝石をまとまった鳥取藩の宝刀—	令和5年9月12日(火)～11月12日(日)
おかえり！トノサマアーマー～藩主甲冑里帰り展～	令和6年1月23日(火)～3月3日(日)
砂に埋もれた古墳時代の集落 長瀬高浜遺跡—令和 4・5年度発掘調査速報—	令和6年3月5日(火)～4月7日(日)

特集展示（第3特別展示室）

展示タイトル	展示期間
特集展示 鳥取藩池田家・姫君の婚礼道具	令和6年5月18日(土)～6月7日(金)

■美術常設展示室(260㎡)

- 江戸時代から現代までの鳥取県を代表する日本画、洋画、工芸、版画等を展示。
(○：鳥取県指定保護文化財)
- 令和3年度より臨時収蔵庫として使用中のため、展示実績無し。

■近代美術展示室(374㎡)

●美術部門テーマ展示 センス・オブ・サイズ ～「大きさ」という観点からアートを読み解くと
 展示期間：令和5年4月15日～5月14日

作品名	作者名	所蔵
薫風	小早川 秋聲	鳥取県立博物館
牡丹孔雀図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
かたつむりさやうちがたなこしらえ 蝸牛鞆打刀拵	不詳	個人
くろろいろぬりざやわきざしこしらえ 黒蠟色塗鞆脇差拵	不詳	個人
戌型香合	諏訪 蘇山(初代)	鳥取県立博物館(石谷コレクション)
染付香合	永楽 保全(11代)	鳥取県立博物館(石谷コレクション)
村の男	辻 晉堂	鳥取県立博物館
Papa in College	中ハシクシゲ	鳥取県立博物館
夏の終わり	中ハシクシゲ	鳥取県立博物館
天下和順	小早川 秋聲	鳥取県立博物館
舞楽(萬歳楽)	菅 楯彦	鳥取県立博物館
廢墟へ 3	李 禹煥	鳥取県立博物館(垣田堅二郎コレクション)
廢墟へ 7	李 禹煥	鳥取県立博物館(垣田堅二郎コレクション)
工場風景	前田 寛治	鳥取県立博物館
作品5	福留 章太	鳥取県立博物館
原始への夢	尾崎 悌之助	鳥取県立博物館
木蓮 花連作の内	橋本 興家	鳥取県立博物館
「かたち」より 急須	岩宮 武二	鳥取県立博物館
カコ	植田 正治	鳥取県立博物館
●群鯉遊泳図屏風	黒田 稲臈	鳥取県立博物館
花王獸王図	片山 楊谷	鳥取県立博物館(安富コレクション)
紺紙金字妙法蓮華經観世音菩薩普門品第二十五	不詳	鳥取県立博物館(君野コレクション)
墨跡	即非 如一	鳥取県立博物館(石谷コレクション)
白釉黒流描大鉢	濱田 庄司	鳥取県立博物館
鳥取砂丘	國領 経郎	鳥取県立博物館
落雷	塩谷 定好	鳥取県立博物館
孔子十哲図	片山 楊谷	鳥取県立博物館(安富コレクション)
十字架より降ろすキリスト	國頭 繁次郎	鳥取県立博物館
バレリーナたち	ジョルジュ・ルオー	鳥取県立博物館(垣田堅二郎コレクション)
粟穂雀蒔絵硯箱	不詳	鳥取県立博物館(君野コレクション)
草虫尺紅花緑葉烏瓜形堆朱香合	不詳	鳥取県立博物館(君野コレクション)

作品名	作者名	所蔵
囲碁図屏風	曾我 蕭白	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
● 草花草虫図衝立	沖 一峨	個人
くるみ	浜口 陽三	鳥取県立博物館 (垣田堅二郎コレクション)
砂丘人物	植田 正治	鳥取県立博物館
DAY DREAM '91-7 (Blue)	藤原 晴彦	鳥取県立博物館
明滅する記憶I アシユラ (光)	フナイ タケヒコ	鳥取県立博物館
夜叉明王による	浜田 宜伴	鳥取県立博物館
伏臥裸婦	前田 寛治	鳥取県立博物館
いきもの	國頭 繁次郎	鳥取県立博物館
東京の海	國領 経郎	鳥取県立博物館
牛牧童嵌木硯箱	西村 莊一郎	鳥取県立博物館
山河に挑む	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
石仏たち	尾崎 悌之助	鳥取県立博物館
抱擁	國領 経郎	鳥取県立博物館
砂丘之図	大島 松谷	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
風景	前田 寛治	鳥取県立博物館
夜の顔	深澤 幸雄	鳥取県立博物館 (垣田堅二郎コレクション)
愛	深澤 幸雄	鳥取県立博物館 (垣田堅二郎コレクション)
Untitled Continuous File -1986 II	齋鹿 逸郎	鳥取県立博物館
Untitled Continuous File -1988	齋鹿 逸郎	鳥取県立博物館
Untitled Continuous File -1991	齋鹿 逸郎	鳥取県立博物館
"Untitled (Bloodwork-Steady Decline)"	フェリックス・ゴンザレス＝トレス	鳥取県立博物館
「近世店屋考」より 奥平金物店	池本 喜巳	鳥取県立博物館
不定形画 2	田中 寒楼	鳥取県立博物館
遠望する人物	安岡 信義	鳥取県立博物館
雨の日 (老人)	辻 晉堂	鳥取県立博物館
兎	辻 晉堂	鳥取県立博物館
寒山	辻 晉堂	鳥取県立博物館
Untitled	福嶋 敬恭	鳥取県立博物館
緑のスフィンクス	舟越 桂	鳥取県立博物館 (垣田堅二郎コレクション)
ふき出した汗	杵島 隆	鳥取県立博物館
輪廻-744	ニシオ トミジ	鳥取県立博物館
Standing Bed	村岡 三郎	鳥取県立博物館※エントランスホールに展示

●美術部門テーマ展示 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅤ 赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダイス
 展示期間：令和5年10月15日～11月12日

作品名	作者名	所蔵
杜を映す溜水	國領経郎	鳥取県立博物館
公園前	有田巧	鳥取県立博物館
シリーズ「明滅する記憶Ⅰ」《アシユラ（光）》	フナイタケヒコ	鳥取県立博物館
シリーズ「明滅する記憶Ⅰ」《アシユラ（塵）》	フナイタケヒコ	鳥取県立博物館
こま犬の怒り	尾崎悌之助	鳥取県立博物館
アントロポス	福留章太	鳥取県立博物館
ヒメゴボウラ貝による	福留章太	鳥取県立博物館
増幅する20	福留章太	鳥取県立博物館
兎	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
鳩	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
鶏	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
梟（緑）	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
鯰	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
蟋蟀	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
蝸牛	岡村吉右衛門	鳥取県立博物館
双鹿図	三浦樗良	鳥取県立博物館
カラーベルト 92-4	物部隆一	鳥取県立博物館
Wavy 89-Ⅲ	物部隆一	鳥取県立博物館
おっばいの中には何があるの？	小林謙子	個人
DAY DREAM '91-7 (Blue)	藤原晴彦	鳥取県立博物館

■エントランスホール展示

作品名	作者名	所蔵
Standing Bed	村岡 三郎	鳥取県立博物館
遠流	イシダ メイ	鳥取県立博物館

(2) 企画展

●「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」

会 期 令和5年7月1日（土）～8月27日（日）〔58日間〕

休館日：会期中の毎月曜日。ただし、7月17日、8月14日は開館

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入館者数 23,731人

主 催 アインシュタイン展実行委員会（鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社）・
読売新聞社

特別協力	ヘブライ大学アインシュタインアーカイブ（イスラエル）
協力	宇宙航空研究開発機構（JAXA）、自然科学研究機構国立天文台、理化学研究所、京都大学大学院 人間・環境学研究科、京都大学基礎物理学研究所、慶應義塾図書館、ゲント大学（ベルギー）、東京大学宇宙線研究所、名古屋市科学館、大阪市立科学館、福岡市科学館、愛媛県総合科学博物館、上越科学館、仙台市天文台、アンリアレイジ、改造社書店、浜松ホトニクス、Blue Dragon Art Company
協賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター
入館料	一般 800 円（団体・前売・70 歳以上 600 円） ※次の方は無料：大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病の方・要介護者等及びその介護者
内容	20 世紀最高の物理学者である、アルバート・アインシュタインが解明した 4 つの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、子どもから大人まで楽しみながら学べる展示とした。また、アインシュタインの手紙や資料、幼少時の挫折体験や晩年の平和活動、ユニークな名言などアインシュタインの深みのある人間性も紹介した。

〈展 示〉

アインシュタインの科学理論をわかりやすく体験できる展示装置：「光のランダムウォーク」、「押せ！押せ！ブラウン運動」、「光の粒で電子を飛ばそう」「爆弾解除！光速サイクリング」「天体になって宇宙を歩こう」「キャプテン・アインシュタイン」「老け顔アプリ」「重力レンズ効果」

展示資料：衣装（アンリアレイジ）、プリズム、方解石、光電子増倍管、科学・知育玩具（プラズマボール、ラジオメーター、水飲み鳥、知恵の輪）、みちびき衛星模型、ALMA パラボラアンテナ

鳥取県立博物館所蔵資料：前田寛治スケッチ 2 点、鳥取市国府町梶山古墳出土金製品、ウラムサズキ、デンドライト、金鉱石、トリックアート（ブラックホール、JAXA ロケット）

〈関連行事〉

（1）講演会「のぞいてみよう！アインシュタインの頭の中」

日 程	7 月 1 日（土）
会 場	鳥取県立博物館 2 階 講堂
講 師	山田吉孝（名古屋市科学館主任学芸員）
参加人数	60 人

（2）関連イベント「ミニプラネタリウムがやってくる」

期 日	7 月 15 日（土）～17 日（月）
会 場	鳥取県立博物館 2 階 第 3 特別展示室
講 師	相本 実（鳥取市さじアストロパーク副所長）、織部孝明（鳥取市さじアストロパーク主任）、西野藍子（大阪市立科学館学芸員）
参加人数	258 人（81 人、82 人、95 人）

（3）関連イベント「サイエンスショー 光の三原色 RGB のヒミツをさぐれ！」

期 日	8 月 12 日（土）
会 場	鳥取県立博物館 2 階 講堂
講 師	上羽貴大（大阪市立科学館学芸員）

参加人数 250人

●「勾玉の世界」展

会 期 令和4年10月7日（土）～11月12日（日）〔37日間〕

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入館者数 3,840人

主 催 勾玉展実行委員会（鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社）

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター、AMAZONLATERNA

入 館 料 一般700円（団体・前売・大学生・70歳以上の方500円）

※次の方は無料：高校生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者、学校教育活動での引率者

内 容 古来、装飾品としてのほかに祭祀具としての役割を担うなど多様な性格を兼ね備えていた勾玉は、素材や形のリニューアルを繰り返して人々の様々なニーズに対応してきた。本展ではこうした勾玉のもつ多様な側面に焦点をあてるとともに、当館所蔵の重要文化財 二連式子持勾玉をはじめとする鳥取県内出土の個性的な勾玉も紹介しながら、古代から現代人をも魅了してやまない勾玉のたゆまぬ魅力を紹介した。

〈関連行事〉

（1）ギャラリートーク

期 日 10/7・14・28・11/4のそれぞれ11:00～12:00と午後2:00～午後3:00

会 場 第1・第2展示室

参加者数 計128人

（2）勾玉づくり

期 日 10/8・15・29・11/5のそれぞれ10:00～11:30と午後2:00～3:30

会 場 会議室

参加者数 計146人

〈出品目録〉

第1章 勾玉のルーツ

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
1		牙玉	上久津呂中屋遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
2		牙玉（きばだま）	小竹貝塚	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
3		勾玉	極楽寺遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
4		勾玉	下山新遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
5		ヒスイ製勾玉	早月上野遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
6	国重文	勾玉	境A遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
7		獣形勾玉	田名部品ノ木ほか	縄文時代	九州国立博物館
8		ヒスイ製勾玉	高畑遺跡（17次）	縄文時代	福岡市埋蔵文化財センター
9		クロム白雲母岩製勾玉	上唐原了清遺跡	縄文時代	九州歴史資料館

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
10		滑石製勾玉	雀居遺跡	縄文時代	福岡市埋蔵文化財センター
11		天河石製勾玉	諸岡遺跡（1974年度調査）	弥生時代	福岡市埋蔵文化財センター
12		クロム白雲母岩製勾玉	大原D遺跡	縄文時代	福岡市埋蔵文化財センター
13		天河石製勾玉	有田遺跡（36次）	弥生時代	福岡市埋蔵文化財センター
14	県指定	ヒスイ製勾玉	古浦砂丘遺跡	弥生時代	松江市教育委員会
15		ヒスイ製勾玉・ガラス小玉	汐井掛遺跡 74号木棺墓	弥生時代	九州歴史資料館
16	国重文	ヒスイ製勾玉	田熊石畑遺跡 6号墓	弥生時代	宗像市教育委員会
17	国重文	ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	田熊石畑遺跡 4号墓	弥生時代	宗像市教育委員会
18	県指定	ヒスイ製勾玉	三雲南小路遺跡 2号甕棺	弥生時代	九州歴史資料館
19	国重文	ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	吉武高木遺跡 2号木棺墓	弥生時代	文化庁
20	国重文	ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	吉武高木遺跡 K117号甕棺墓	弥生時代	文化庁
21		ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	楯築墳丘墓	弥生時代	岡山大学文学部考古学研究室
22		ヒスイ製獣形勾玉	矢藤治山古墳	弥生時代	岡山大学文学部考古学研究室
23	国重文	ヒスイ製勾玉	芝ヶ原古墳	古墳時代	城陽市歴史民俗資料館
24	県指定	ヒスイ製丁字頭勾玉	下池山古墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
25		ヒスイ製勾玉	澤ノ坊 2号墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
26		ヒスイ製勾玉	御所山古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
27		ヒスイ製勾玉	黒石古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
28		ヒスイ製勾玉	生山 29号墳	古墳時代	鳥取市教育委員会所蔵
29	国重文	ヒスイ製勾玉	東之宮古墳	古墳時代	京都国立博物館
30		ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	馬ノ山 4号墳第1主体部	古墳時代	東京国立博物館
31		ヒスイ製勾玉・碧玉製管玉	馬ノ山 4号墳第2主体	古墳時代	東京国立博物館
32		碧玉製勾玉・管玉・白玉	殿山 8号墳	古墳時代	総社市
33		霞 17号墳出土勾玉	霞 17号墳	古墳時代	日南町教育委員会
34		ヒスイ製勾玉	室宮山古墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
35		ヒスイ製勾玉	横枕 72号墳	古墳時代	鳥取市埋蔵文化財センター

第2章 さまざまな勾玉

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
36		ヒスイ製勾玉	四葉地区遺跡	弥生時代	板橋区立郷土資料館
37		大型滑石製勾玉	巢山古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
38		ヒスイ製勾玉	塚廻古墳	古墳時代	宮内庁書陵部

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
39		碧玉製勾玉	塚廻古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
40		上ノ山古墳出土玉類	上ノ山古墳	古墳時代	当館
41		碧玉製勾玉	今在家出土	古墳時代	奈良国立博物館
42		コハク製勾玉	横枕 73 号墳	古墳時代	鳥取市教育委員会
43		メノウ製勾玉	小山古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
44		水晶製勾玉・ガラス製勾玉	吉谷 12 号墳	古墳時代	鳥取県埋蔵文化財センター
45		ガラス製勾玉	塚廻古墳	古墳時代	宮内庁書陵部
46		紫水晶製勾玉・ガラス小玉	随庵古墳	古墳時代	総社市
47	県指定	金製勾玉	車駕之古址古墳	古墳時代	和歌山市教育委員会
48		銀製裝飾付中空勾玉	慈恩寺 1 号墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
49		銀製勾玉	海北塚古墳	古墳時代	東京国立博物館
50		青銅製勾玉	松原 10 号墳第 1 主体部	古墳時代	鳥取市教育委員会
51		銅製勾玉	吉武遺跡群（9 次）	奈良時代か	福岡市埋蔵文化財センター
52		ガラス勾玉・ガラス小玉	左坂 25 号墓第 9 主体部	弥生時代	京丹後市教育委員会
53		ガラス勾玉	西谷 3 号墓	弥生時代	島根大学法文学部考古学研究室
54		ヒスイ製環状勾玉・碧玉製管玉・水晶製算盤玉	汐井掛遺跡 115 号土壙墓	弥生時代	九州歴史資料館
55		獣形勾玉	美和 34 号墳	古墳時代	鳥取市教育委員会
56		異形勾玉	澤ノ坊 2 号墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
57		ヒスイ製異形勾玉・碧玉製管玉	国分尼塚 1 号墳	古墳時代	七尾市教育委員会
58		背合わせ形勾玉	博労町遺跡	古墳時代	米子市埋蔵文化財センター
59		ガラス勾玉	松原田中遺跡	弥生時代	鳥取県埋蔵文化財センター
60		ガラス製頸飾出土状況レプリカ	松原 1 号墓第 2 主体	現代	鳥取市教育委員会
61		ガラス製頸飾	松原 1 号墓第 2 主体	弥生時代	鳥取市教育委員会
62		ガラス製頸飾復元模造品	松原 1 号墓第 2 主体	現代	鳥取市教育委員会

第3章 アクセサリーとしての勾玉

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
63	県指定	垂飾（耳飾り）	三坂神社 3 号墓第 10 主体部	弥生時代	京丹後市教育委員会
64		人形土製品	楯築墳丘墓	弥生時代	岡山大学
65	国重文	中央槲出土碧玉製勾玉	和泉黄金塚古墳中央槲	古墳時代	東京国立博物館
66	国重文	東槲出土首飾	和泉黄金塚古墳東槲	古墳時代	東京国立博物館
67	国重文	西槲出土頸飾	黄金塚古墳西槲	古墳時代	東京国立博物館

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
68	国重文	西槲出土右手玉・左手玉	和泉黄金塚古墳西槲	古墳時代	東京国立博物館
69		盾形埴輪	黄金塚2号墳	古墳時代	花園大学歴史博物館
70		腕飾り	老司古墳	古墳時代	福岡市埋蔵文化財センター
71		北側人骨の装身具復元	藤ノ木古墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
72		ヒスイ製勾玉	夫婦塚古墳	三国時代	東京国立博物館
73		頸飾（夫人着装品）	夫婦塚古墳	三国時代	東京国立博物館
74		古墳時代終末期の玉類	飽津乳母ヶ谷第2遺跡	古墳時代	鳥取県埋蔵文化財センター
75	国重文	椅座の女子	塚廻り3号墳	古墳時代	文化庁
76	国重文	坏を捧げる巫女	塚廻り4号墳	古墳時代	文化庁

第4章 勾玉にこめられた象徴性

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
77		褐鉄鉢容器一括出土品レプリカ	唐古・鍵遺跡（80次）	弥生時代	田原本町教育委員会 文化財保存課調査係
78		勾玉文帯神獸鏡	紫金山古墳	古墳時代	京都大学考古学研究室
79	国重文	琴柱形石製品	富雄丸山古墳	古墳時代	京都国立博物館
80		玉杖形石製品	不詳	古墳時代	東京国立博物館
81	県指定	壺棺内一括出土品	奥才34号墳	古墳時代	松江市教育委員会
82		滑石製勾玉出土状況レプリカ	鳥の山古墳	古墳時代	橿原考古学研究所附属博物館
83		石枕（北側）	石神2号墳	古墳時代	国立歴史民俗博物館
84		装飾付筒形器台・壺	向山古墳群宮ノ峰46号墳	古墳時代	倉吉博物館
85		勾玉文に似たスタンプ文土器	秋里遺跡	弥生時代	鳥取県埋蔵文化財センター
86		スタンプ文土器	本高弓ノ木遺跡	弥生時代	鳥取県埋蔵文化財センター
87	国重文	子持勾玉	高辻	古墳時代	当館
88		子持勾玉	カトンボ山古墳	古墳時代	東京国立博物館
89		子持勾玉	カトンボ山古墳	古墳時代	東京国立博物館
90	県指定	子持勾玉	青島	古墳時代	個人蔵
91	県指定	子持勾玉	青島	古墳時代	館蔵
92		子持勾玉	岩美真名	古墳時代	館蔵
93		子持勾玉	気高町日光坂	古墳時代	館蔵
94		子持勾玉	倉吉下	古墳時代	館蔵
95		子持勾玉	上種第1遺跡	古墳時代	北栄町
96		子持勾玉	槻下宮前田出土	古墳時代	奈良国立博物館

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
97		子持勾玉	大山町叶平	古墳時代	館蔵
98		子持勾玉	米子市日下	古墳時代	館蔵
99		子持勾玉	福市	古墳時代	米子市埋蔵文化財センター
100		子持勾玉	砥石山	古墳時代	米子市埋蔵文化財センター

第5章 勾玉の作り方

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
101	国重文	勾玉制作関連遺物	境 A 遺跡	縄文時代	富山県埋蔵文化財センター
102		ヒスイ製勾玉づくり関連遺物	大武遺跡	弥生時代	新潟県埋蔵文化財センター
103		ヒスイ製勾玉未成品	松原田中遺跡	弥生時代	鳥取県埋蔵文化財センター
104		ヒスイ製勾玉未成品	南原千軒遺跡	弥生時代	鳥取県埋蔵文化財センター
105		ヒスイ勾玉未成品	窪木・宮後遺跡	弥生時代	総社市
106		ヒスイ製勾玉未成品	田熊石畑遺跡	弥生時代	宗像市教育委員会
107		勾玉等製作関連資料	面白谷遺跡	古墳時代	鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター
108		勾玉等製作関連資料	曾我遺跡	古墳時代	榎原考古学研究所附属博物館
109		勾玉未成品	百塚第1遺跡	古墳時代	米子市埋蔵文化財センター
110		ガラス勾玉の鋳型	井尻 B 遺跡 (17次)	弥生時代	福岡市埋蔵文化財センター
111		ガラス勾玉鋳型	弥永原遺跡	弥生時代	奈良国立博物館
112		ガラス勾玉鋳型	西新町遺跡 (12次)	古墳時代	九州歴史資料館

第6章 勾玉の永遠性

出品番号	指定	件名	出土地	時代	所蔵
113		木内石亭『雲根志』		江戸時代	鳥取県立図書館
114		玉ハビル		第二尚氏時代	東京国立博物館

●「ミュージアムとの創造的対話 vol. 4 ラーニング／シェアリング ー共有から未来は開くか？」

会 期 令和5年11月26日(日)～12月28日(木)(32日間)〔休館日：12月11日〕

入館者数 2,742人

会場及び開館時間 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室、中庭、鳥取県内のマクドナルド

観 覧 料 一般700円

主 催 「創造的対話展」実行委員会(鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社)

協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックス・ジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター

- 特 力 株式会社中川ケミカル、公益財団法人石川文化財団、マクドナルド、メイちゃん牧場、Gallery SIDE2、MISA SHIN GALLERY
- 内 容 ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探るシリーズ企画展の第4回目。今回は、「ラーニング／学ぶこと」と「シェアリング／共有すること」をテーマに、リクリット・ティラヴァニ、高山明、小沢剛、ヤギの目の作品を通じて、従来の美術教育にはとどまらない「第3の学びの場」としてのミュージアムの可能性についての考察を促すことを試みた。

〈関連事業〉

- ① アーティスト・トーク（小沢剛、高山明）
 日 時 11月26日（日） 14：00-15：30
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 参加人数 95人
- ② パフォーマンス「マクドナルドラジオ大学 イン트로ダクション」
 日 時 11月26日（日） 14：00-15：30
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 参加人数 31人
- ③ アーティスト・トーク（リクリット・ティラヴァニ）
 日 時 12月17日（日） 15：00-16：00
 会 場 鳥取県立博物館 講堂
 参加人数 71人
- ④ トーク・イベント「ヤギの目、ヤギ先輩と語る」（小沢剛+ヤギの目、小林朋道氏）
 日 時 12月23日（土） 15：00-16：30
 参加人数 59人

〈出品目録〉

リクリット・ティラヴァニ 《Untitled 2012 (who if not we should at least try to imagine the future, again) (remember Julius Koller)》 2012
 ステンレス・スチール、ガラス、カッティングシート
 公益財団法人石川文化振興財団蔵

《Untitled 2023》 2023 トートバッグにシルクスクリーン

高山明 (Port B) 《マクドナルドラジオ大学》 2023

小沢剛 《あなたが誰かを好きなように 誰もが誰かを好き》 2023

ヤギの目 《ヤギの目 鳥取》 2023

● 「生誕二〇〇年 根本幽峨 NEMOTO Yūga—近世鳥取画壇の『黄金時代』最後の華—」

- 会 期 令和6年2月10日（土）～3月20日（水）〔34日間〕
 休館日：会期中2月12日を除く毎週月曜日、および2月13日
- 会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室
- 入館者数 3,222人

- 主催 根本展実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）
- 協賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター
- 入館料 一般700円（団体・前売・大学生・70歳以上500円）
 ※次の方は無料：高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病の方・要介護者等及びその介護者
- 内容 本展覧会は、18世紀末から幕末にかけての鳥取藩における「因幡画壇の黄金時代」の最後期を飾る画家・根本幽峨（1824-66）の、生誕200年を記念する初の大規模回顧展として開催したものである。幽峨は10代で江戸に上って鳥取藩絵師・沖一峨に師事し、幅広い画風を貪欲に吸収した。若くして藩の御用をこなし、安政五（1858）年に藩絵師に召し出される。42年という短い生涯の中で、大作をはじめとした膨大な作品を遺すのみならず、郷土鳥取で数多くの門弟を育て上げ、彼らによって鳥取の近代日本画壇の基礎が形成された。本展覧会では初公開の作品を交えつつ、幽峨の画業初期から晩年に至るまでの代表作、資料を一堂に展示し、生涯を通じた画業を紹介するとともに、江戸後期から近代にかけての鳥取画壇の展開を踏まえ、過渡期的な時代を生きた幽峨が、後世の画壇に与えた影響についても取り上げた。

〈関連行事〉

（1）ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説）

日程 2月10日（土）、3月16日（土）
 会場 企画展会場
 講師 山田修平（当館学芸員）
 参加人数 合計90人

（2）ワークショップ「体験！体感？日本美術のミカタ for ビギナーズ」

日程 「《内裏雛図》でミニ掛け軸を作る編」2月23日（金・祝）
 「《楼閣山水図屏風》でミニ屏風を作る編」3月16日（土）
 会場 鳥取県立博物館 会議室
 参加人数 30人

（3）特別講演会Ⅰ「鳥取画壇よもやま話—鳥取藩絵師・根本幽峨誕生の背景—」

日程 2月24日（土）
 会場 鳥取県立博物館 講堂
 講師 山下真由美（大阪市立美術館 学芸員）
 参加人数 97人

（4）特別講演会Ⅱ「根本幽峨の画業—狩野派に学び藩絵師としてはばたく—」

日程 3月9日（土）
 会場 鳥取県立博物館 講堂
 講師 門脇むつみ（大阪大学人文学研究科 教授）
 参加人数 53人

〈出品目録〉

令和5年度企画展 「生誕200年 根本幽峨 —近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華—」 出品リスト

【前期展示】 2/10～3/3 【後期展示】 3/5～3/20

序章 「黄金時代」の余韻

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
1	土方稲嶺	猿の図屏風	江戸後期	紙本著色	三曲一双	個人蔵	
2	片山楊谷	関羽・張飛図	寛政三（1791）年	絹本著色	双幅	鳥取県立博物館	
3	鳥田元旦	秋景山水図	江戸後期	絹本著色	双幅	鳥取県立博物館	
4	黒田稲阜	群鯉図額	文政十（1827）年	絹本著色	一面	鳥取県立博物館	
5	沖一峨	四季草花図	江戸後期－ 幕末期	絹本著色	双幅	個人蔵	

第1章 江戸に上る重三郎

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
6	根本幽峨	根本幽峨絵画資料			七巻のうち	京都国立博物館	
6-1	根本幽峨	柿本人麻呂図 （『和画人物類士女』第五号）	天保十三（1842）年 六月十三日	紙本著色	一図	京都国立博物館	前期
6-3	根本幽峨	紫式部・清少納言図 （『和画人物類士女』第五号）		紙本墨画	二図	京都国立博物館	後期
6-4	根本幽峨	舜帝 孔子二鳳凰 （『和画人物類士女』第四号）	天保十四（1843）年 十一月五日、 十一月八日、 十一月九日	紙本著色	一図	京都国立博物館	前期
6-5	根本幽峨	赤人田子之浦図 （『和画人物類士女』第四号）	天保十五（1844）年	紙本著色	一図	京都国立博物館	後期
6-6	根本幽峨	縮図（『和画雑類』第三号）		紙本著色	四図	京都国立博物館	前・後 期で巻 替え
6-7	根本幽峨	林和靖・陶淵明図 （『漢画人物類士女』第三号）		紙本著色	二図	京都国立博物館	前・後 期で巻 替え
6-8	根本幽峨	李遠 雪景山水図 （『漢画山水』第六号）	弘化三（1846）年 七月二十九日	紙本墨画	一図	京都国立博物館	後期
6-9	根本幽峨	載文進 山水図 （『漢画山水』第六号）	弘化二（1845）年 十一月二十六日夜・ 二十七日朝	紙本墨画	二図	京都国立博物館	前期
6-10	根本幽峨	梁楷 寒山拾得図 （『漢画人物類釋』第貳号）	弘化二（1845）年 十一月十二日	紙本墨画	一図	京都国立博物館	後期
6-11	根本幽峨	梁楷 蚬子図 （『漢画人物類釋』第貳号）	弘化二（1845）年 九月三十日	紙本墨画	一図	京都国立博物館	後期
6-12	根本幽峨	隻履達磨図 （『漢画人物類釋』第貳号）	弘化二（1845）年 五月二十九日	紙本墨画	一図	京都国立博物館	前期
6-13	根本幽峨	梁楷 六祖載竹図 （『漢画人物類釋』第貳号）		紙本墨画	一図	京都国立博物館	前期
6-14	根本幽峨	鴨図（『和画花鳥』第七号）		紙本著色	一図	京都国立博物館	前期
6-15	根本幽峨	都鳥図（『和画花鳥』第七号）		紙本著色	一図	京都国立博物館	後期
6-16	根本幽峨	五位鷲図（『和画花鳥』第七号）		紙本著色	一図	京都国立博物館	後期
7	根本幽峨	山水図	弘化年間 （1844－1848）頃	絹本著色	一幅	個人蔵	前期
8	根本幽峨	羅漢図	弘化年間 （1844－1848）頃	紙本著色	一幅	渡辺美術館	
9	根本幽峨	源頼光夢中之弓術授	弘化年間 （1844－1848）頃	紙本著色	一幅	渡辺美術館	後期
10	根本幽峨	虎溪三笑図	弘化年間 （1844－1848）頃	絹本墨画淡彩	一幅	興禅寺	後期
11	沖一峨	業平・草花耕作図	江戸後期	絹本著色	五幅	個人蔵	

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
12	根本幽峨・ 沖一峨・ 橋本秀峰・ 大岸探海・ 安養寺玉峨	稲に雀図	嘉永元（1848）年頃	紙本墨画淡彩	一幅	渡辺美術館	
13	根本幽峨	出山釈迦図（出山御尊像）	嘉永二（1849）年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	
14	沖一峨	宇治川先陣図	江戸後期	絹本着色	双幅	個人蔵	
15	根本幽峨	平家物語宇治川先陣・弓流図 屏風	嘉永元（1848）－ 嘉永四（1851）年頃	紙本着色	六曲一双	渡辺美術館	
16	根本幽峨	寿老人図	嘉永年間 （1848－1854）頃	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	後期
17	根本幽峨	雪松に鷹図	嘉永年間 （1848－1854）頃	絹本着色	一幅	ギャラリーサンイン	
18	根本幽峨	林和靖図	嘉永二（1849）年	紙本着色	六曲一隻	渡辺美術館	
19	根本幽峨	三聖賢図	嘉永年間 （1848－1854）頃	絹本着色	三幅	個人蔵	前期
20	大岸探海	布袋唐子図	弘化四（1847）年	絹本着色	一幅	彩霞堂	前期
21	根本幽峨	池田慶栄画像	嘉永三（1850）年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	
22	沖一峨	池田慶行画像	嘉永元（1848）年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	

第2章 幕末の始まりと開花期の幽峨

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
23	根本幽峨	楠公之図	嘉永六（1853）年	紙本着色	三幅	鳥取県立博物館	前期
24	根本幽峨	鷹図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	絹本着色	双幅	個人蔵	後期
25	根本幽峨	唐子図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	絹本着色	一面	ギャラリーサンイン	
26	根本幽峨	墨画卷物	嘉永五（1852）年頃 か	紙本墨画淡彩	一卷		前・後 期で巻 替え
27	根本幽峨	楼閣山水図屏風	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	紙本着色	六曲一双	鳥取県立博物館（岸 コレクション）	後期
28	根本幽峨	玄宗楊貴妃・帝鑑図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	紙本着色	四曲一双	渡辺美術館	前期
29	根本幽峨	藤図屏風	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	紙本着色	二曲一隻	懸樋勉氏蔵	前期
30	根本幽峨	女三宮図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	
31	根本幽峨	常盤雪行図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	絹本着色	一幅		後期
32	根本幽峨	淡青緑山水図	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	前期
33	根本幽峨	水嶋卜也像（二宮元勛賛）	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	紙本着色	一幅	彩霞堂	前期
34	根本幽峨	孔明図	嘉永六（1853）年	絹本着色	三幅	鳥取県立博物館 （君野コレクション）	
35	根本幽峨	王羲之図	嘉永七（1854）年	紙本着色	一幅	個人蔵	前期
36	根本幽峨	尚徳館神慶奉安聖像	安政二（1855）年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	後期
37	根本幽峨	上杉不識庵公御尊像	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	前期
38	根本幽峨	狸々図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本着色	双幅	鳥取県立博物館 （石谷コレクション）	
39	根本幽峨	十六羅漢図	嘉永六（1853）年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	後期
40	根本幽峨	瀑布図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	紙本墨画	一幅	鳥取県立博物館 （石谷コレクション）	

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
41	根本幽峨	蝦蟇張果老・山水図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	三幅	個人蔵	
42	根本幽峨	琴棋書画図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	三幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	
43	田村琴峨	琴棋図	幕末期-明治期	紙本著色	一幅	個人蔵	前期
44	沖一峨	旭日飛鶴図	江戸後期	絹本著色	一幅	個人蔵	前期
45	狩野養信	楼閣山水図	江戸後期	絹本著色	一幅	下関市立美術館	後期
46	根本幽峨	老子・山水図	安政二（1855）年	絹本著色	三幅	個人蔵	
47	根本幽峨	四季花大和人物図押絵貼屏風	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	紙本著色	六曲一双	渡辺美術館	
48	根本幽峨	二十四孝図貼交屏風	安政四（1857）年以 前	絹本著色	四曲一双・二 曲一双	WORLD 美術	
49	根本幽峨	武者図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	八図	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	前・後 期で場 面替え
50	根本幽峨	女酒宴図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅		
51	沖一峨	家翁西京舞子図	嘉永二（1849）年	絹本著色	一幅	鳥取県立博物館	
52	根本幽峨	内裏雛図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅	鳥取県立博物館 （石谷コレクション）	
53	根本幽峨	東下り図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅	個人蔵	
54	根本幽峨、 大岸探海、 青木図南ほか	鶴図合作	嘉永五（1852）年－ 安政元（1854）年頃	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	後期
55	根本幽峨ほか	漁師図合作	嘉永七（1854）年春	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	前期
56	根本幽峨、 大岸探海、 橋本秀峰	四季風俗図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	紙本著色	六枚	彩霞堂	
57	大岸探海	独釣図	江戸後期－幕末期	絹本墨画	一幅	彩霞堂	後期
58	根本幽峨、 橋本秀峰、 大岸探海ほか （飯田年平賛）	花街図	江戸後期－幕末期	紙本著色	一幅	ギャラリーサンイン	前期

第3章 鳥取藩絵師 根本幽峨

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
59	根本幽峨	大黒白鼠初夢図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅	福田美術館	
60	根本幽峨	春草花之図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅	個人蔵	
61	根本幽峨	因伯海岸絵図	安政四（1857）年頃	紙本著色	二巻、二紙	鳥取県立博物館	前・後 期で巻 替え
62	小畑稲升	虎に紅葉の図	江戸後期－幕末期	紙本著色	軸装		
63	土方稲林	女郎花に鶉図	江戸後期－幕末期	絹本著色	一幅	鳥取大学附属図書館	
64	大岸探海	武者図	江戸後期－幕末期	絹本著色	一幅	個人蔵	
65	沖九阜	高士雅会図	安政三（1856）年	紙本著色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	
66	根本幽峨	猿図（水野賛）	安政六（1859）年頃	絹本著色	一幅	ギャラリーサンイン	前期
67	根本幽峨	幾田右門像（正牆適処賛）	安政六（1859）年	絹本著色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	後期
68	根本幽峨	紫式部・清少納言図	安政六（1859）年－ 文久二（1862）年頃	絹本著色	軸装		前期
69	根本幽峨	日本武尊東征之図	安政元（1854）年－ 安政五（1858）年頃	絹本著色	一幅	鳥取県立博物館 （安富コレクション）	後期

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
70	根本幽峨	神功皇后之図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	
71	根本幽峨	前田利家桶狭間凱旋図(佐善元立賛)	万延元 (1860) 年頃	紙本着色	一幅	個人蔵	前期
72	根本幽峨	三忠臣三父子之図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	三幅	鳥取県立博物館 (安富コレクション)	
73	冷泉為恭	忠孝図	江戸後期-幕末期	絹本着色	双幅	敦賀市立博物館	
74	根本幽峨	武者絵大幟(村上義日錦旗奪還図)	安政六 (1859) 年頃 か	紙本着色	二面	鳥取県立博物館	前・後 期で表 面・裏 面の展 示替え
75	根本幽峨	小松引図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	双幅	個人蔵	前期
76	根本幽峨	渡唐天神図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	一幅	個人蔵	後期
77	根本幽峨	白河入城図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 (安富コレクション)	後期
78	根本幽峨	野路玉川・井出玉川図屏風	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	紙本着色	四曲一双	鳥取県立博物館	前期
79	根本幽峨	高樓定家卿・吉野龍田図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	絹本着色	三幅	個人蔵	後期
80	狩野栄信	紅葉狩図屏風	江戸後期	絹本着色	二曲一隻	敦賀市立博物館	後期
81	根本幽峨	花見・紅葉狩図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本着色	六曲一双	渡辺美術館	後期
82	根本幽峨	関羽図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	絹本着色	一幅	個人蔵	
83	根本幽峨	蜀漢関周合図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 (安富コレクション)	前期
84	根本幽峨	巨靈仁・呂洞賓図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	絹本着色	双幅	個人蔵	
85	根本幽峨	寿老・唐子図	文久二 (1862) 年	絹本着色	一幅	個人蔵	
86	根本幽峨	郭子儀図屏風	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	紙本着色	六曲一双	渡辺美術館	後期
87	根本幽峨	太公望・雪中三顧図屏風	万延元 (1860) 年	紙本墨画淡彩	六曲一双	個人蔵	前期
88	根本幽峨	耕作図屏風	安政元 (1854) 年一 安政五 (1858) 年頃	紙本着色	六曲一双		
89		尚徳館記拓本	制作年不詳	紙本拓版	一幅	鳥取県立鳥取西高等 学校	
90	根本幽峨	布袋図	安政元 (1854) 年一 安政五 (1858) 年頃	紙本着色	一幅		前期
91	根本幽峨	鍾馗図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本墨画	一幅	渡辺美術館	後期
92	根本幽峨	寿老人図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	前期
93	根本幽峨	郭子儀図	安政六 (1859) 年一 文久二 (1862) 年頃	紙本淡彩	一面	個人蔵	
94	根本幽峨	百大黒図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	絹本着色	一幅		
95	根本幽峨	三福神・花卉鶴亀図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	絹本着色	三幅	個人蔵	
96	根本幽峨	楼閣山水図屏風	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本着色	六曲一双	中尾公哉氏蔵	
97	根本幽峨	山水図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本墨画淡彩	四面	谷川壽一氏蔵	
98	根本幽峨	松竹梅図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本淡彩	二曲一隻	渡辺美術館	
99	根本幽峨	風神雷神図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本墨画	一幅	個人蔵	前期
100	根本幽峨	因幡八景図	安政六 (1859) 年一 慶応二 (1866) 年頃	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
101	伝 沖探容	因幡八景図	江戸後期－幕末期	絹本着色	八図	鳥取県立博物館 (安富コレクション)	前・後 期で場 面替え
102	根本幽峨	賀露浜坂真景図屏風	安政六 (1859) 年－ 慶応二 (1866) 年頃	紙本着色	六曲一双	個人蔵	
103	根本幽峨	興禅院殿光仲公画像	文久二 (1862) 年	絹本着色	一幅	興禅寺	

第4章 時代をつなぐ幽峨

No.	作者	作品名	年代	素材・技法	員数	所蔵	会期
104	根本幽峨	孔子図	文久二 (1862) 年－ 慶応二 (1866) 年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館 (岸コレクション)	前期
105	根本幽峨	宝珠・海老・昆布図	文久元 (1861) 年	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	後期
106	根本幽峨、 大岸探海、 橋本秀峰ほか	七福神合装	文久二 (1862) 年	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	
107	根本幽峨	住吉図	文久二 (1862) 年－ 慶応二 (1866) 年	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	後期
108	根本幽峨	布袋引き図	文久二 (1862) 年－ 慶応二 (1866) 年頃 か	紙本墨画	一幅	個人蔵	前期
109	根本幽峨	梅図・合装	文久元 (1861) 年	紙本墨画	一幅	鳥取県立博物館 (安富コレクション)	
110	根本幽峨	大黒図	元治元 (1864) 年	紙本墨画	一幅	個人蔵	前期
111	根本幽峨・ 根本雪峨	大黒天七五三繩の図	元治元 (1864) 年	紙本墨画淡彩	一幅		後期
112	根本幽峨、 大岸探海ほか	双鶴図	安政元 (1854) 年－ 安政五 (1858) 年頃	紙本墨画淡彩	一幅	鳥取県立博物館	後期
113	根本幽峨	三福神鶴亀松竹梅図	慶応元 (1865) 年	絹本着色	一幅	個人蔵	
114	根本幽峨	寒山拾得	慶応二 (1866) 年頃 か	紙本墨画淡彩	一幅	個人蔵	
115	作者不詳	花籃図	幕末期－明治期	紙本着色	一幅	個人蔵	
116	根本雪峨	宇治川先陣図	幕末期－明治期	絹本着色	双幅		後期
117	根本雪峨	林和靖図	幕末期－明治期	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	前期
120	根本雪峨	青砥藤綱図 (中島宜門賛)	明治五 (1872) 年	絹本着色	一幅	懸樋勉氏蔵	
121	森岡梁海	山水図	明治期	紙本着色	一幅	鳥取大学附属図書館	
122	西尾岱峨	山水図	明治期－大正期	絹本着色	一幅	個人蔵	
123	藤岡神山	武者図	明治期	紙本着色	双幅	個人蔵	
124	藤岡神山	関羽図	明治期	紙本着色	一幅	彩霞堂	
125	河田翠涯	萬歳・日月松竹梅鶴亀図	明治期	絹本着色	三幅	個人蔵	
126	遠藤董	日本赤十字社徽章之図	明治期－昭和期	絹本着色	一幅	鳥取赤十字病院	
127	中住道雲	郭子儀祝儀之図	大正六 (1917) 年	絹本着色	一幅	鳥取県立博物館	
128	河村芳舟	百福図	明治三十六 (1903) 年	絹本着色	一幅	林原美術館	
史料	根本幽峨	覚	安政六 (1859) 年－ 慶応二 (1866) 年頃		一枚	鳥取県立博物館	

4 教育普及活動

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
01 移動博物館、出前展示	計8件					332	
	自然	計8件					332
		鳥取の昆虫	米子市立和田小学校	9月13日(火)～ 9月16日(金)		71	
		レッドデータブックととりの生きもの	北栄みらい伝承館	9月6日(火)～ 9月14日(水)		-	
		レッドデータブックととりの生きもの	米子市立和田小学校	9月13日(火)～ 9月16日(金)		126	
		レッドデータブックととりの生きもの	鳥取砂丘コナン空港 1階コナンホール	11月25日(土)		-	
		レッドデータブックととりの生きもの	倉吉養護学校	11月30日(木)～ 12月4日(月)		-	
		レッドデータブックととりの生きもの	倉吉農業高等学校	2月8日(木)～ 2月21日(水)		135	
	人文	郷土のうつりかわり	鳥取市立稲葉山小学校	1月9日(火)～ 1月29日(月)		-	
ととりの祭り・行事		八頭町立船岡小学校	1月11日(木)～ 1月25日(木)		-		
02 移動美術館	計1件					313	
美術	みるからはじまる「対話型鑑賞」のススメ	日南町美術館	9月1日(土)～ 9月24日(日)		313		
03-1 学芸員派遣 (教職員向け講師・指導助言)	計6件					94	
	自然	計6件					94
		令和5年度鳥取市さじアストロパーク管理運営委員会	鳥取市さじアストロパーク	7月11日(火)		15	
		天然記念物唐川カキツバタ群落岩美町唐川湿原・岩美町役場整備検討委員会	岩美町唐川湿原・岩美町役場	10月5日(木)		16	
		米子城跡の植生管理に関する現地指導	米子城跡公園	11月24日(金)		5	
	令和5年度山陰海岸国立公園インターブランディングをふまえたストーリー検討業務における「山陰海岸国立公園の自然環境との関りと利活用に関するヒアリング」	県博(オンライン)	12月22日(金)		4		
	人文	令和5年度鳥取県民話サークル連合会資質アップ研修会(講義「口承と記録とのあいだ、野間宗蔵(義学)の(因幡診集之中)「民家通詞」を読む」、語りの交流会指導助言)	鳥取県立倉吉体育文化会館教養室2	11月22日(水)		14	
学習支援	東部小教研(生活部会)研修会	博物館講堂、博物館展示室	10月25日(水)		40		
03 学芸員派遣	計99件					3,252	
自然	計62件					1,660	
	科学学習「袋川周辺の植物調査・雑草の魅力」	青翔開智中学校・高等学校	4月24日(月)		53		
	美保地区公民館昆虫観察講座	美保地区公民館	5月2日(火)	30	27		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
03 学芸員派遣	自然	ハマナス保全学習会「海浜植物とハマナス保護」	琴浦町あぐりポート 琴浦情報センター会議室・別所地区ハマナス自生地	5月21日(日)		21
		稲葉山小昆虫観察講座	稲葉山小学校	5月22日(月)		38
		青谷学	青谷高等学校ほか	5月24日(水)	15	15
		プレイパークいわみ「南滝の自然観察&山野草調理」	岩美町小田 南滝	5月27日(土)		15
		オカヒジキもどってこいこいプロジェクト	岩美町牧谷熊井浜	5月28日(日)		31
		野外観察会「山陰海岸ジオハイキング浦富海岸植物観察コース」	山陰海岸国立公園遊歩道(鴨ヶ磯～城原海岸)	6月4日(日)		16
		レッドデータブックとつとりの生き物	米子市立和田小学校	6月8日(木)		32
		動物標本をさわろう	博物館会議室	6月10日(土)		14
		R5年度第1回いわみ学・歴史の道ウォーク「山陰道蒲生峠越」の自然観察	旧蒲生峠越	6月13日(火)	20	18
		動物の体のしくみ	青翔開智中学校・高等学校	6月19日(月)		50
		青谷学	青谷高等学校ほか	6月21日(水)		15
		見て触って城山ツアー	湊山公園米子城跡	6月25日(日)		32
		湖南地域の植物が生育する環境や条件について考える観察会	鳥取市金沢防己尾城跡公園駐車場	7月6日(木)		18
		～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワークⅢ at 松上その2」	鳥取市松上神社	7月7日(金)		13
		中国5県自然観察指導員交流会に向けての擬宝珠山自然観察会	江府町鏡ヶ成	7月9日(日)		14
		化石レプリカをつくろう!	鳥取市立中央図書館	7月26日(水)	20	25
		化石レプリカをつくろう!	鳥取市立用瀬図書館	7月28日(金)	20	20
		きしわだ自然資料館友の会 合宿	氷ノ山	7月29日(土)		20
		夏休み向け小学生講座「身近な植物について観察のポイントを知る」	鳥取市立湖山西地区公民館	7月31日(月)		8
		鳥のヒミツ	鳥取県立図書館	8月10日(木)		24
		三朝神社社叢の樹種構成の確認、管理等についての協議	三朝町三朝神社	8月10日(木)		3
		化石レプリカをつくろう!	鳥取市立遷喬地区公民館	8月10日(木)	10	13
		川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見千代川川原	8月11日(金)	15	15
		岩石なんでも同定団	鳥取大学	8月19日(土)		40
		ミニバタフライガーデンで蝶々の観察	東郷湖羽合臨海公園 浅津公園 バタフライガーデン	8月26日(土)		10
		化石レプリカをつくろう!	鳥取砂丘こどもの国	8月26日(土)		150
		青谷学	青谷高等学校ほか	9月6日(水)		15

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
03 学芸員派遣	自然	中国5県自然観察指導員交流会2023	奥大山休暇村（日野郡江府町鏡ヶ成）	9月8日(金)～9月10日(土)		54
		青谷学	青谷高等学校ほか	9月20日(水)		15
		絶滅危惧種と危険生物	西円通寺児童館	9月23日(土)		7
		化石調査	八頭郡若桜町つく米周辺	10月1日(日)	20	22
		出合いの森トンボレース2023	出合いの森	10月1日(日)		22
		理数科課題研究外部講師授業「ふしきな生きもの変形菌」	島根県立大田高等学校（島根県大田市大田町）	10月3日(火)		7
		恐竜の`歯、	当館1階自然常設展示室	10月5日(木)		6
		生き物観察会	とっとり出合いの森	10月15日(日)		11
		青谷学	青谷高等学校ほか	10月18日(水)		15
		フィールドワーク学習「鳥取駅周辺に生息する水棲生物・菌類の観察」	鳥取鉄道記念物公園周辺（鳥取市扇町）	11月1日(水)	30	32
		鳥取県の化石	鳥取市気高町浜村	11月2日(木)	10	10
		おちばの中の虫さがし！	とっとり出合いの森	11月5日(日)		9
		湖山小学校 PTC「化石レプリカをつくろう！&砂つぶトレジャーハンティング！」	湖山小学校	11月11日(土)		78
		牧野富太郎博士も大好きケンボナシを探せ！若桜鬼ヶ城	若桜鉄道若桜駅～若桜鬼ヶ城	11月19日(日)		6
		植物の陸上進出	鳥取大学	11月21日(火)		80
		6年生理科「大地のつくりと変化」	米子市立住吉小学校	11月22日(水)		60
		生物の進化と多様性	鳥取県立博物館2階会議室、自然常設展示室	12月5日(火)		49
		十神林道自然観察会	鳥取市久松山（十神林道～山頂）	12月9日(土)		13
		猪の生態、解剖、食文化について学ぶ	自由学舎ハーモニイシドレ	12月14日(木)		10
		青翔開智 Museum 企画展「進化を探る」	青翔開智中学校・高等学校	12月18日(月)		48
		宮ノ下化石	鳥取市立国府中学校	12月21日(木)		49
		鉱物の実験	鳥取市立宝木小学校	12月22日(金)		3
		姫路科学館「自然系ジュニア学芸員講座」テーマ：土壌動物	姫路科学館（姫路市青山）	1月14日(日)	15	12
		みんなでおしゃべり6（山陰海岸ジオパーク関連イベント）	鳥取大学	1月19日(金)	25	25
		湖山池の野鳥の観察	湖山池青島	1月20日(土)		6
		観て触って城山ツアー	米子市湊山公園米子城跡	1月21日(日)		18
		冬の野鳥観察	湖山池情報プラザ・青島	1月30日(火)		14
		土の中の微生物の観察	鳥取市立青谷中学校	2月2日(金)		28
		鳥取県の化石	米子市立和田小学校	2月21日(水)		35

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	実施日	定員	実績	
03 学芸員派遣	自然	わくわく自然体感 久松山～二ノ丸の自然観察	県立博物館～鳥取城二の丸跡	3月 3日(日)		51	
		自然観察指導員講習会 No.606 岡山県・玉野市	岡山県渋川青年の家(玉野市)	3月 9日(土)	50	64	
		鳥取県の化石	鳥取市立青谷中学校	3月15日(金)		30	
		春の野草観察会	かちべ伝承館	3月23日(土)		6	
	人文	計 21 件					757
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月 1日(土)、2日(日)		39	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月 6日(土)、7日(日)	40	40	
		近世鳥取城の火災と復興	河原町コミュニティセンター	5月11日(木)	60	50	
		『灘手郷土史』を読む一昔の風俗・習慣を中心に―	灘手コミュニティセンター	5月19日(金)		13	
		倉吉の郷土玩具 県立博物館の資料から	打吹回廊(倉吉市明治町)	5月26日(金)		15	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月 3日(土)、4日(日)	42	35	
		総合学習「鳥取県の祭り」	美保小学校	6月22日(木)	100	100	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月 1日(土)、2日(日)		30	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月 5日(土)、6日(日)	42	32	
		甲冑の構造	鳥取中央育英高校	8月18日(金)	7	7	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月 2日(土)、3日(日)		42	
		鳥取県再置の山縣有朋復命書を読む	ハワイアロハホール	9月28日(木)	60	70	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月 7日(土)、8日(日)		25	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月 4日(土)、5日(日)		35	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月 2日(土)、3日(日)		36	
古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月 6日(土)、7日(日)		40			
ゲストティーチャー「鳥取県の祭り」	八頭町立船岡小学校	1月25日(木)	24	24			

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
03 学芸員派遣	人文	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月 3日(土)、4日(日)		40	
		ワークショップ「昔の遊び 風あげ」	鳥取市立宝木小学校	2月21日(水)	9	9	
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月 2日(土)、3日(日)		40	
		鳥取藩の参勤交代と美保南地区	美保南地区公民館	3月24日(日)		35	
	美術	計 15 件					816
		コレクション宅配便	鳥取看護大学	5月11日(木)		82	
		コレクション宅配便	みなとテラス	5月21日(日)		70	
		コレクション宅配便	鳥取短期大学	6月13日(火)		27	
		コレクション宅配便	宮下地区公民館	6月15日(木)		10	
		コレクション宅配便	奥大山江府学園	7月 7日(金)		16	
		コレクション宅配便	境港市立第2中学校	7月11日(火)		93	
		コレクション宅配便	郡家西小学校	7月19日(水)		53	
		ワークショップ「スタンプであそぼ」	中浜公民館	8月 8日(火)		36	
		ワークショップ	余子公民館	8月10日(木)		9	
		ワークショップ	春日公民館	8月18日(金)		-	
		コレクション宅配便	岸本中学校	9月21日(木)		64	
		コレクション宅配便	和田小学校	10月31日(火)	91	91	
		Walk View を使った美術鑑賞	岩美高校	1月24日(水)		9	
		コレクション宅配便	若葉台小学校	1月30日(火)		206	
		コレクション宅配便	青翔開智高等学校	1月31日(水)		50	
	学習支援	計 1 件					19
		親子新聞教室	博物館会議室・展示室	5月11日(木)		19	
	04 教員の日	計 1 回					75
	教員のための博物館の日 2023 in 鳥取県立博物館 85	博物館会議室	8月19日(土)		75		
05 普及講座	計 85 件 (うち 3 件中止)					2,976	
自然	計 27 件 (うち 3 件中止)					826	
	《自然講座》ティラノト——ク!	大山総合体育館	4月15日(土)		50		
	《野外観察会》鉱物をさがそう! in 上地鉱山跡	鳥取市国府町上地	4月30日(日)	20	32		
	《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月20日(土)	20	21		
	《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会 in 船上山	船上山	5月28日(日)	30	32		
	《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫をさがそう!～	博物館会議室&博物館周辺	6月 4日(日)	40	40		
	《野外観察会》探して調べる、久松山の変形菌	博物館会議室&博物館周辺	7月 2日(日)	12	13		
	《野外観察会》夜の昆虫観察	倉吉博物館	7月 8日(土)	20	中止		
	《天体観望会》夏の星を見る会	博物館多目的広場	7月22日(土)		60		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	自然	《自然講座》砂つぶトレジャーハンティング！	博物館会議室	7月23日(日)	40	36	
		《自然講座》昆虫の標本をつくろう！	博物館会議室	7月30日(日)	40	33	
		《自然講座》標本を調べる会	第3特別展示室	8月5日(土)		13	
		《自然講座》昆虫の体のつくりをしらべよう！	博物館会議室	8月6日(日)	40	35	
		《ギャラリートーク》レッドデータブックととりの生き物	北栄みらい伝承館	8月12日(土)		15	
		《自然講座》鉱物結晶をつくってみよう★	博物館会議室	8月13日(日)	40	36	
		《自然講座》チリメンモンスターをさがそう！	博物館会議室	8月20日(日)	40	39	
		《自然講座》ふわふわ！キラキラ！鳥の羽を楽しもう	博物館会議室	8月27日(日)	20	17	
		《野外観察会》化石をさがせ！in 多里	日野郡日南町多里	9月24日(日)	20	16	
		《国際シンポジウム》「エゾオオカミとタスマニアタイガー～日豪の絶滅動物から考える人と自然の新しい関係～」	鳥取県立博物館講堂、アデレード大学(オンライン)	10月6日(金)	150	130	
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山町大山寺地区	10月7日(土)	20	27	
		《天体観望会》秋の星を見る会	多目的広場	10月14日(土)	50	中止	
		《野外観察会》鉱物をさがそう！in 百谷鉱山	鳥取市百谷	10月22日(日)	20	30	
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！	打吹山	10月29日(日)	20	8	
		《自然講座》描いてみよう！サイエンス生物画	博物館会議室	11月3日(金)	20	16	
		《自然講座》あっと、ときめくコケ観察会	倉吉市関金町山守集学校(旧山守小学校)	11月11日(土)	24	20	
		《シンポジウム》「辰巳峠」は昆虫化石の宝庫！	博物館講堂	12月2日(土)	250	90	
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	湖山池	12月10日(日)	20	17	
	《自然講座》化石キャンドルをつくろう！	博物館会議室	12月24日(日)	20	中止		
	人文	計 29 件					751
			《歴史講座》「幕末の大廊下席大名—安政四年の鳥取藩を題材として—」	博物館会議室	4月8日(土)		24
			《歴史講座》「南条元統の基礎的研究」	博物館会議室	5月13日(土)		30
			《歴史講座》伯耆往来をあるく 東山公園～陰田	米子市	5月21日(日)	20	20
			《歴史講座》「天狗党の争乱と鳥取藩～京都留守居安達清一郎を中心として～」	博物館会議室	6月10日(土)		24

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	人文	《歴史講座》「法勝寺川中流域を中心とした弥生時代社会の特質」	博物館会議室	7月 8日(土)		14
		《歴史講座》ふすまの下のお宝をさがそう	博物館会議室	8月11日(金)	10	14
		《歴史講座》「因州鳥取藩蔵屋敷武士と町人のおつきあい—大坂発着時のモノの	博物館会議室	8月12日(土)		20
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月20日(日)	20	31
		《歴史講座》「消えた南条氏—関ヶ原の戦い(1600)以前、文禄の役の帰陣後	博物館会議室	9月 9日(土)		34
		《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月 7日(土)	40	32
		《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月 8日(日)	40	37
		《歴史講座》「要蔵デコ盛衰史—鳥取の郷土玩具をめぐる文化人の交流」	博物館会議室	10月14日(土)		20
		《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月14日(土)	40	30
		《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月15日(日)	40	41
		《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月28日(土)	40	36
		《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月29日(日)	40	33
		《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	11月 4日(土)	40	40
		《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	11月 5日(日)	40	35
		《歴史講座》「中世後期日野山名氏の動向」	博物館会議室	11月11日(土)		34
		《歴史講座》古戦場・山城・莊園をあるく—法勝寺と尼子・三沢氏—	南部町法勝寺周辺	11月11日(日)	20	15
		《歴史講座》「明治26年の水害について」	博物館会議室	12月 9日(土)		16
		《歴史講座》東伯耆の大庄屋について	博物館会議室	12月17日(日)		20
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月24日(日)	20	30
		《歴史講座》「地域資料の継承について—県東部の家資料の一事例—」	博物館会議室	1月13日(土)		15
		《歴史講座》古文書のかたち～読まないでわかる文書の世界～	博物館会議室	1月14日(日)	20	12
		《講演会》「近世山陰の実録体小説をめぐる」	博物館講堂	2月10日(土)		45
《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月18日(日)	20	20		
《歴史講座》「鳥取市の力士塚」	博物館会議室	3月 9日(土)		20		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	人文	《民俗講座》ワークショップ「凧をつくろう」	西円通寺児童館	3月9日(土)		9
	美術	計24件				831
		《ワークショップ》らくがきばんざい!春編	博物館前庭	4月30日(日)		26
		《アートシアター》ストーカー	博物館講堂	5月13日(土)	100	40
		《アートシアター》ストーカー	博物館講堂	5月14日(日)	100	30
		《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(工芸編)	博物館会議室	5月28日(日)	20	8
		《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(素描編)	博物館会議室	6月24日(土)		4
		《アートシアター》見えるもの、その先に、ヒルマ・アフ・クリントの世界	博物館講堂	8月26日(土)	100	15
		《アートシアター》見えるもの、その先に、ヒルマ・アフ・クリントの世界	博物館講堂	8月27日(日)	100	28
		《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(近世絵画編)	博物館会議室	9月16日(土)		12
		《ワークショップ》らくがきばんざい!秋編	博物館前庭	9月24日(日)		93
		《アートイベント》オープニング・アーティスト・トーク	博物館講堂	11月26日(日)	200	95
		《アートイベント》高山明による《マクドナルドラジオ大学》イントロダクション	博物館講堂	11月26日(日)	30	31
		《アートシアター》バウハウス 原形と神話	博物館講堂	12月9日(土)	100	8
		《アートシアター》バウハウス 原形と神話	博物館講堂	12月10日(日)	100	7
		《アートイベント》アーティスト・トーク	博物館講堂	12月17日(日)	200	71
		《アートイベント》トークイベント「ヤギの目、ヤギ先輩と語る」	博物館展示室	12月23日(土)	50	59
		《アートシアター》HOKUSAI	博物館講堂	1月13日(土)	100	19
		《アートシアター》HOKUSAI	博物館講堂	1月14日(日)	100	9
		《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(現代美術編)	博物館会議室	1月21日(日)		6
		《ギャラリートーク》根本幽峨展ギャラリートーク	博物館展示室	2月10日(土)		50
		《ワークショップ》体験!体感?日本美術のミカタ for ビギナーズ	博物館会議室, 博物館展示室	2月23日(金)	20	18
		《講演会》特別講演会Ⅰ「鳥取画壇よもやま話—鳥取藩絵師・根本幽峨誕生の背景」	博物館講堂	2月24日(土)	250	97
	《講演会》特別講演会Ⅱ「根本幽峨の画業—狩野派に学び藩絵師としてはばたく」	博物館講堂	3月9日(土)	250	53	

区 分	部 門	テ ー マ	場 所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	美術	《ギャラリートーク》根本幽峨 展ギャラリートーク	博物館展示室	3月16日(土)		40	
		《ワークショップ》体験！体感？ 日本美術のミカタ for ビギナーズ	博物館会議室・展示 室	3月16日(土)	20	12	
	学習支 援	計5件					568
		《講演会》「のぞいてみよう！ア インシュタインの頭の中」	博物館講堂	7月 1日(土)		60	
		《天体観測会》ミニプラネタリ ウムがやってくる	博物館展示室	7月15日(土)		81	
		《天体観測会》ミニプラネタリ ウムがやってくる	博物館展示室	7月16日(日)		82	
		《天体観測会》ミニプラネタリ ウムがやってくる	博物館展示室	7月17日(月)		95	
《ワークショップ》体験！サイ エンスショー「光の三原色 RGB のヒミツをさぐれ！」	博物館講堂	3月16日(土)		250			

5 博物館交流事業

〈中国河北博物院との交流〉

平成 10 年 6 月に友好交流館として協定書を締結して以来、研修等の人的交流、企画展の開催などの友好交流を推進し、鳥取県と河北省の国際交流の一端を担っている。

令和 2 年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い交流が中断している。

〈韓国国立春川博物館との交流〉

平成 14 年度の春川博物館開館を契機に両館の相互訪問が始まり、平成 16 年度に交流内容について基本合意に至ったが、その後の政治情勢の影響で交流が中断した。

平成 20 年 3 月に春川博物館から交流再開についての具体的な提案を受け、同年 5 月に、平成 16 年の基本合意の内容で交流を進めたい旨回答したところ、平成 21 年 9 月に春川博物館から訪問団が来館され、再び交流に向けて協議を進めることとなり、平成 22 年 12 月に春川博物館から訪問団を受け入れた際に交流協定を締結した。

令和 2 年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い交流中止となっていたが、令和 5 年度 11 月、春川博物館からの訪問があり意見交換を行った。

〈ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館との交流〉

平成 21 年 9 月、知事の「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」での訪露の際、ロシア側の提案を受け、交流に向けて情報交換等を進めることとなった。11 月にはアルセーニエフ博物館職員等の訪問を受け、交流に向けて協議を進めることとなり、平成 22 年 9 月には当館職員がアルセーニエフ博物館を訪問し、友好交流及び協力に関する協定を締結した。

令和 2 年度以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い交流が中断している。ウクライナへの軍事侵攻が継続しているため、再開の目途はたっていない。

6 ボランティア活動

●広報ボランティア「ポスター貼ります隊」

当博物館の展覧会のPRのため、ポスターを店舗、事務所、自宅などの壁面や窓等に掲出。

期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日（随時受付）

登録者数：240人（273か所）

（令和6年3月31日現在）

地 区	人 数	内 訳
県 東 部	163人	鳥取市：142 岩美郡：3 八頭郡：18（若桜・智頭・八頭）
県 中 部	72人	倉吉市：18 東伯郡：54（湯梨浜・琴浦・北栄）
県 西 部	4人	米子市：3 境港市：1 西伯郡：0
県 外	1人	兵庫県：1 岡山県：0

●古文書解読ボランティア

博物館が所蔵する「鳥取藩政資料」のうち「町奉行御用日記」、「御目付日記」を解読。会員各自が各1か月分を分担、コピーを受取り、自宅で解読、パソコン入力を行う。

期 間：登録した日（申込みした日）～令和6年3月31日

登録者数：43人

例 会：毎月第1土曜日午前9時30分から正午まで、当館会議室

毎月第1日曜日午前10時から正午まで、倉吉歴史民俗資料館研修室

毎月第1日曜日午後2時30分から4時30分まで、米子市旧庁舎会議室

内容はいずれも、「古文書解読基礎講座」と解読原稿の読み合わせ。

例会開催日	参加者	古文書解読基礎講座内容
4月1日(土)・2日(日)	39名	藩主列伝 池田綱清
5月6日(土)・7日(日)	40名	鳥取藩の職人1 鉄砲職人 上
6月3日(土)・4日(日)	35名	幕末の鳥取藩 ～周旋方～
7月1日(土)・2日(日)	30名	鳥取藩の職人1 鉄砲職人 中
8月5日(土)・6日(日)	32名	諸国よりの商人・宗教者たち
9月2日(土)・3日(日)	42名	鳥取藩の職人1 鉄砲職人 下
10月7日(土)・8日(日)	25名	鳥取県の再置
11月4日(土)・8日(日)	35名	鳥取藩の職人2 馬具職人
12月2日(土)・3日(日)	36名	鳥取藩の職人3 鋳物師
1月6日(土)・7日(日)	40名	鳥取藩の職人4 鍵関係
2月3日(土)・4日(日)	40名	鳥取藩の職人5 具足師 上
3月2日(土)・3日(日)	40名	鳥取藩の職人5 具足師 下

7 県民との連携・地域への貢献

(1) 協力等対象団体の承認

令和5年度の新規の承認なし

(2) 協力等の実績

ア 鳥取民俗懇話会

(ア) 総会・講演会

月 日 令和5年4月8日（土）

会 場 さざんか会館 アクティブ鳥取

概 要 総会では事務局から令和4年度の事業報告・会計報告をし、承認された。続いて、令和5年度の事業計画と予算を提案し、承認された。この後、公開講座「七草を語る一植物の民俗」（講師 清末忠人さん）を聴講した。

(イ) 例 会

令和5年5月14日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：福代宏会員による「『自家業日記』（1～3月）を読む」の発表を聴く。

令和5年6月4日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：福代宏会員による「『自家業日記』（4, 5月）を読む」の発表を聴く。

令和5年7月3日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：福代宏会員による「『自家業日記』（6～8月）を読む」の発表を聴く。

令和5年8月6日（日）／会場：松江テルサ会議室／概要：山陰民俗学会例会に参加。

令和5年9月3日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：福代宏会員による「『自家業日記』（9～11月）を読む」の発表を聴く。

令和5年10月1日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：大田勝也会員による「幕末期、薩摩に行った日野郡鉄山師」の発表を聴く。

令和5年11月5日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：福代宏会員による「『自家業日記』（12月その他）を読む」の発表を聴く。

令和5年12月3日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：内田克彦会員による「『鳥取まちなかぶらり』を楽しんで」の発表を聴く。

令和6年2月4日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：大田勝也会員による「鳥取藩の油縄漁について」の発表を聴く。

令和6年3月3日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：大田勝也さんによる「貝殻節で知られた伊平貝の沿革」の発表を聴く。

イ いわみガイドクラブ

(ア) オカヒジキもどってこいこいプロジェクト

①月 日 令和5年5月28日（日）

②会 場 岩美町熊井浜

③概 要 在来種のおかひじきと生育場所が競合する外来種のおにハマダイコンを抜き取り、おかひじきを呼び戻す環境保全プロジェクトを実施。

④共 催 くまやの自然を守る会、環境省近畿地方事務所浦富自然保護官事務所

ウ 自然観察指導員鳥取連絡会

(ア) 自然観察会

月 日	会 場	概 要
5月14日(日)	倉吉市打吹山	野外観察会「自然観察さいしょの一步」の下見 共催：鳥取県立博物館、倉吉博物館
5月20日(土)	倉吉市打吹山	野外観察会「自然観察さいしょの一步」 共催：鳥取県立博物館、倉吉博物館
6月25日(日)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
7月9日(日)	江府町鏡ヶ成 擬宝珠山	中国5県交流会下見観察会、希少湿原植物等 確認
8月20日(日)	南部町上中谷観音滝	かつては信仰対象であったが登山道が失われた滝を訪れた。ヒバサンショウウオを確認。
9月30日(土)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
11月19日(日)	若桜駅前～鬼が城	落葉時に見つけやすくなるケンボナシの調査 し位置を特定した
12月9日(土)	倉吉市山根 松上神社	社叢林の観察会 ホクリクムヨウラン、コク ラン、ロクショウグサレキン等確認
1月21日(土)	米子市湊山公園	一般から参加者を募った定点の自然観察会 共催：米子市文化振興課
3月23日(土)	かちべ伝承館	ヤーテンパー2024

(イ) 自然観察指導員5県交流会

- ①月 日 令和5年9月16日(土)～17日(日)
- ②会 場 大山隠岐国立公園、休暇村奥大山
- ③概 要 自然観察会のほか講師を招いて湿原保全のあり方、自然保護憲章の制定までを研修

(ウ) 自然観察指導員鳥取・島根交流会

- ①月 日 令和5年11月11日(土)～12日(日)
- ②会 場 島根県：鬼の舌振るい・岩伏山
- ③概 要 ビオトープ管理の実際、五感を使う自然観察会の実践

(エ) 総 会

- ①月 日 令和5年12月9日(土)
- ②会 場 鳥取県立博物館

(オ) 資料収集への協力

ウキウキゴケ、ヤマハナゴケ

エ 鳥取地域史研究会

(ア) 会誌の編集・発行

『鳥取地域史研究』26号の刊行(2024年2月)

(イ) 記念講演会

- ①日 時 令和6年2月10日
- ②会 場 鳥取県立博物館講堂
- ③講 師 田中 則雄 氏(島根大学)
- ④演 題 近世山陰の実録体小説をめぐって

(ウ) 月例会(会場はすべて鳥取県立博物館)

- ①日 時 令和5年4月8日(土)
報 告 西澤 幸則(鳥取大学大学院)「幕末の大廊下席大名
—安政四年の鳥取藩を題材として—」
- ②日 時 令和5年5月13日(土)
報 告 真壁 幸司(奈良大学大学院)「南条元統の基礎的研究」
- ③日 時 令和5年6月10日(土)
報 告 来見田 博基(県立博物館)「天狗党の争乱と鳥取藩」
- ④日 時 令和5年7月8日(土)
報 告 京嶋 覚(当会会員)「法勝寺川中流域を中心とした弥生時代社会の特質」
- ⑤日 時 令和5年8月12日(土)
報 告 須賀 博樹(当会会員)「因州鳥取藩蔵屋敷武士と町人のおつきあい」
- ⑥日 時 令和5年9月9日(土)
報 告 米谷 均(早稲田大学)「消えた南条氏—関ヶ原の戦い(1600)以前、文禄の役の
帰陣後(1593)に除封となるか—」
- ⑦日 時 令和5年10月14日(土)
報 告 山岸 遼太郎(金沢ふるさと偉人館)「要蔵デコ盛衰史—鳥取の郷土玩具をめぐる
文化人の交流」
- ⑧日 時 令和5年11月11日(土)
報 告 伊藤 大貴(古代出雲歴史博物館)「中世後期日野山名氏の動向」
- ⑨日 時 令和5年12月9日(土)
報 告 藤澤 匡樹(県立公文書館)「明治26年の水害について」
- ⑩日 時 令和6年1月13日(土)
報 告 佐藤 紘一(県立図書館)「地域資料の継承について—県東部の家資料の一事例—」
- ⑪日 時 令和6年3月9日(土)
報 告 奥村 寧子(あおや郷土館)「鳥取市の力士塚」

オ 鳥取県生物学会

(ア) 会誌の編集・発行

『山陰自然史研究』19号の発行

(イ) 令和5年度《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会 in 船上山

- ①月 日 令和5年5月28日(日)
- ②会 場 船上山(琴浦町)
- ③概 要 参加者32名。一般参加者と鳥取県生物学会の会員が一緒に行う観察会。元鳥取大学の日置氏により火入れと草原生態系の解説をいただいた。タニウツギやヤマボウシなどの花が見ごろであった他、サイハイランやアサギマダラ、小型サンショウウオなど、様々な生物を観察できた。

(ウ) 令和5年度生物観察会

- ①月 日 令和5年10月28日(土)
- ②会 場 白賀溪谷(岡山県鏡野町)
- ③概 要 参加者15名

(エ) 令和5年度研究発表会・講演会

- ①月 日 令和5年12月2日(土)
- ②会 場 鳥取県立博物館 講堂

- ③概要 一般講演7題
公開シンポジウム「『辰巳峠』は昆虫化石の宝庫！」
※鳥取地学会、鳥取県立博物館との共催
※パネリスト：田邊 佳紀*、清水 道代**、鶴 智之*
(*鳥取県立博物館、**放送大学)

カ 鳥取地学会

(ア) 研究報告書等の編集・発行

鳥取地学会誌第27号発行 令和5年6月発行

(イ) 第48回 現地研修会

- ①月 日 令和5年5月21日(日)
②会 場 日野郡日南町～鳥根県奥出雲町
③概 要 「若松鉱山産業遺構とたたら鉄穴流しの地形改変地」

(ウ) 第28回総会

- ①月 日 令和5年6月3日(土)
②会 場 鳥取県立博物館2階会議室
③概 要 ・2022年度事業および会計報告・会計監査報告
・2022年度事業案および予算案について

(エ) 記念講演会(一般公開・聴講無料)

- ①月 日 令和5年6月3日(土)
②会 場 鳥取県立博物館2階会議室
③概 要 講師：野口 竜也 氏(鳥取大学工学部 准教授)
演題：鹿野・吉岡断層の地下構造

(オ) 研究発表会(一般公開・聴講無料)

- ①月 日 令和5年6月3日(土)
②会 場 鳥取県立博物館2階会議室
③概 要 鳥取県の地形・地質に関する研究発表12件(ポスター発表2件、口頭発表10件)

(カ) 第48回 現地研修会

- ①月 日 令和5年11月11日(土)
②会 場 新温泉町久谷地滑り・三谷残土処分場、竹野町猫崎半島
③概 要 「新第三紀中新世北但層群と照来層群をめぐる」

(キ) 年末講演会(公開シンポジウム、鳥取県立博物館・鳥取県生物学会との共催)

- ①月 日 令和5年12月2日(土)
②会 場 鳥取県立博物館2階講堂
③概 要 講師：田邊 佳紀(鳥取県立博物館)
清水 道代 氏(放送大学)
鶴 智之(鳥取県立博物館)
演題：「『辰巳峠』は昆虫化石の宝庫！」

キ 鳥取歴史振興会

(ア) 薩長因備シンポジウム「明治維新大激論リターン」の開催

日 時 6月23日(日) 10～13時
場 所 鳥取県立博物館講堂 参加者：鳥取県民100人

概 要 NHK 大河ドラマ西郷どん時代考証の原口泉氏の基調講演。原口氏、原田良子さんとのパネルディスカッションを行い、明治維新が薩長因備の力でなされたことを昨年に引き続きアピールした。

(イ) **映画維新の魁第 10 話戊辰の魁上映会 in 鳥取藩 32 万石お城まつり**

日 時 9月29日(日) 10時30分～12時

場 所 鳥取県立博物館会議室 参加者：20人

概 要 お城まつりイベントの一環として、山国隊の活躍を映画化した映画「維新の魁エピソード10 戊辰の魁～鳥取藩十三番隊山国隊～」を上映した。

8 その他の事業

(1) 資料の貸出

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
自然	鳥獣類（アカゲラほか）	14	剥製	R5. 4. 1～ R6. 3.31	氷ノ山自然ふれあい館“響の森”	常設展示
	地学・生物資料（トクナガムカシブンブクほか）	88	化石剥製 レプリカ 樹脂封入	R5. 4. 1～ R6. 3.31	山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館	常設展示
	哺乳類頭骨標本（ニホンジカほか）	14	頭骨標本	R5. 6.23～ R5. 7. 7	青翔開智中学・高等学校	理科の授業で使用
	化石標本（ゴルゴサウルス頭骨化石複製ほか）	17	実物化石 化石複製 復元模型	R5. 6. 9～ R5. 9.29	萩博物館	夏季特別展「萩・古生物キングダム」での展示
	哺乳類骨格標本（タヌキほか）	10	交連骨格標本、頭骨標本	R5. 7.11～ R5. 8.23	あおや郷土館	展覧会「アニマルBone！！—約2,000年前の青谷の動物たち—」での展示
	恐竜化石複製（ヴェロキラプトルほか）	3	化石複製	R5. 7.20～ R5. 9.10	姫路科学館	特別展「HOT! 恐竜発掘最前線」での展示
	ダイオウイカ腕	1	プラスチック ーション標本	R5.11.18～ R6. 1.14	きしわだ自然資料館	特別展「動物のあし一足元から知る生き物の暮らし」での展示
人文	碧玉製勾玉など	3件 17点		R5. 4. 1～ R5. 5.17	鳥根県立古代出雲歴史博物館	常設展示室で展示するため
	岸本幸子氏ノースリーブなど	5点		R5. 4. 1～ R5.10.31	公益財団法人鳥取県スポーツ協会	スポーツスクエア展示「鳥取の陸上」に展示するため
	「鳥取県立科学博物館」館旗	1点		R5. 4. 1～ R6. 1.30	国指定重要文化財 仁風閣	仁風閣常設展示への出陳のため
	因幡国庁出土墨書土器（「厨」）など	43点		R5. 4. 1～ R6. 3.31	因幡万葉歴史館	常設展示室での公開および調査研究のため
	直浪遺跡、青島遺跡出土品	コンテナ 18箱		R5. 4. 1～ R6. 3.31	鳥取大学地域学部考古学研究室	鳥取大学が実施してきた直浪遺跡出土品整理の参考とするため
	池田家履歴略記など	5点		R5. 7. 1～ R5. 9.30	鳥取市歴史博物館	企画展「鳥取城のあゆみ～天神山城から鳥取城へ～」へ出陳するため
	定期渡船開設広告（明治39年旧3月）など	9件		R5. 7.12～ R5. 9.22	鳥取県立図書館	特別資料展「鳥取と新聞—新聞が伝えるさと—」展へ出陳するため

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
人文	鳥取駅時刻表看板など	20点		R5. 8.22 ~ R5.11. 9	米子市立山陰歴史館	企画展「レッツゴー！山陰本線～日本で一番長い在来線～」出陳のため
	鳥取城破損御修覆願図など	10点		R5. 9. ~ R5.11.	鳥取市歴史博物館	企画展「鳥取城のあゆみ～城から公園へ～」へ出陳するため
	因伯蘭生糸共進会證など	12点		R5.12.23 ~ R6. 2.18	北栄みらい伝承館	企画展示「昔の生活道具～養蚕に使用された道具を中心に～」に展示するため
	麒麟獅子頭など	21点		R6. 2.29 ~ R6. 7. 3	国立民族学博物館	特別展「日本の仮面―芸能と祭りの世界」における展示等への利用のため
美術	菅橋彦 「阪都四ツ橋」他	4	絹本・著色他	R5. 4.15 ~ R5. 6.11	東京ステーションギャラリー	「大阪の日本画」東京展に出品のため
	佐伯祐三 「オーヴェールの教会」	1	油彩・キャンバス	R5. 4.15 ~ R5. 6.25	大阪中之島美術館	「佐伯祐三 自画像としての風景」大阪展に出品のため
	前田寛治 「西洋婦人像」他	2	油彩・キャンバス	R5. 9. 9 ~ R5.10.15	倉吉博物館	「郷土の洋画家・前田寛治展」に出品のため

9 学芸員の業績（令和5年度：2023年4月～2024年3月）

業績は、原則、以下の基準に従って分類・掲載した。記載事項については、すべて各学芸員個人の申告による。

■印刷物

【著書・論文】…専門的著書、学会誌やそれに準ずる出版物に公表された原著論文。

【報告書・図録等】…報告書や展覧会図録等において、本人が編集等の中心的役割を担当したもの。

【短報・目録・その他】…上記に該当しない著書、短報、研究ノート、目録等。

【普及的著作】…新聞掲載コラム等、普及的著作物。

※掲載紙（紙）名は、斜体で掲載。

■研究発表：学会・研究会における口頭発表、ポスター発表及びそれに準ずるもの。

■博物館事業・その他：

【展示】…展覧会等の開催において、本人が中心的役割を果たしたもの。

【普及的事業】…学芸員講座やその他の普及的活動で、本人が中心的役割を果たしたもの。

尾崎 信一郎 OSAKI, Shinichiro

副館長

担当：現代美術

■印刷物

【報告書・図録等】

尾崎信一郎（2023）「箱と開かれ」『博物館研究』日本博物館協会

尾崎信一郎（2023）「花と金、そして山水へ」『山部泰司』展カタログ 華鳥大塚美術館

尾崎信一郎（2023）「風景としての美術 抽象表現主義からミニマル・アートへ」『はるかなる「時」のかなたに』カタログ 三元社

尾崎信一郎（2023）「AIはペインタリネスの夢を見るか」『ペインタリネス』展リーフレット ギャラリー白

尾崎信一郎（2024）「原口典之あるいは転位する重量」『原口典之』展フライヤー 美術格納庫 M

【講演】

2024年 2月28日 「1950年代の絵画 線描絵画とアンフォルメルを中心に」岡崎市美術博物館

【シンポジウム・対談】

2023年 7月 8日 「対談 中井浩史+尾崎信一郎 かたちの脈動再び」ギャラリー2 kw

2023年 7月17日 「鼎談 山部泰司+尾崎信一郎+上蘭四郎」華鳥大塚美術館

2023年 9月 2日 「岩美現代美術展ギャラリートーク 柴田知佳子」岩美中央公民館

2023年 9月 3日 「松谷武判を知る」芦屋市立美術博物館

2023年10月28日 「具体研究の未来」大阪大学中之島センター

2023年12月16日 「はじまる。これからの美術館でできることー赤ちゃんのためのアート鑑賞パラダイスから考える」鳥取県立博物館講堂

2024年 1月 4日 「現代書を語る」千代田区立日比谷図書館

2024年 3月 2日 「美術館・展覧会・美術史はなんのためにあるのか」茨城大学図書館ライブラリーホール
業績（令和5年度：2023年4月～2024年3月）

川上 靖 KAWAKAMI, Yasushi

博士（農学）

学芸課長

担当：学芸課総括 専門：自然史・博物館学

■印刷物

【短報・目録・その他】

川上 靖・本庄孝行（2024）昆虫の生態を基盤にした博物館の総合的有害生物管理（IPM）の実際。鳥取県立博物館研究報告 61：1-21.

【普及的著作】

川上 靖（2023）国際シンポジウム「エゾオオカミとタスマニアタイガー～日豪の絶滅動物から考える人と自然の新しい関係～」鳥取県立博物館ニュース 36：8.

川上 靖（2023）鳥取県立博物館だより：日豪で生まれた絶滅動物の物語。日本海新聞（鳥取），2023/9/28.

川上 靖（2024）鳥取県立博物館だより：博物館をどう利用するか：小学校理科「昆虫の体のつくり」の学習方法。日本海新聞（鳥取），2024/3/21.

■研究発表

【講演】

川上 靖 (2023) 市民参加型の昆虫調査の意義とその方法：フキバッタを使った調査を例に. 京都府立大学新自然史科学創生センターセミナー「シンポジウム：生きものマップによる新・自然史科学の可能性－山林から海浜まで－」, 京都府立大学稲盛記念会館, 2023年8月21日.

■博物館事業・その他

【普及的事業（講師担当のみ）】

2023年10月 6日 《コーディネーター》国際シンポジウム「エゾオオカミとタスマニアタイガー～日豪の絶滅動物から考える人と自然の新しい関係～ Tasmanian Tiger Meets Hokkaido Wolf: Australia & Japan beyond Eco-anxiety」. 場所：アデレード大学（オンライン）&鳥取県立博物館講堂（鳥取市）.

【その他】

2023年度（任期：2024年6月30日まで）希少野生動植物種保存推進員（環境省）.

2023年度 山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局「学術部会」委員.

2023年度 鳥取県高等学校文化連盟写真専門部講師・審査員（鳥取県高等学校文化連盟）.

2023年度 鳥取県美術展覧会（写真部門）審査員

業績（令和5年度：2023年4月～2024年3月）

一澤 圭 ICHISAWA, Kei

博士（学術）

主幹学芸員

学芸課自然担当 担当：動物

■印刷物

【著書・論文】

勝村悠里・中森泰三・一澤 圭 (2024) トビムシ目の日本固有種リスト作成の試み. *Edaphologia* 114: 17-28.

【短報・目録・その他】

角田啓斗・一澤 圭・豊田賢治 (2023) 隠岐諸島島後に漂着したオットセイの記録. *山陰自然史研究* 19: 7-9.

一澤 圭・渡邊克典・菅森義晃 (2024) 鳥取県で初記録の外来陸産貝類オオクビキレガイ. *鳥取県立博物館研究報告* 61: 41-43.

【普及的著作】

一澤 圭 (2023) 鳥取県立博物館だより：外来種オオクビキレガイ 4月、県内で初確認. *日本海新聞*（鳥取）, 2023/6/15.

一澤 圭 (2023) 鳥取県立博物館だより：人間・アインシュタインの魅力. *日本海新聞*（鳥取）, 2023/8/3.

一澤 圭 (2023) 鳥取県立博物館だより：時代を生き抜いた鳥 ヒヨドリの興味深い側面. *日本海新聞*（鳥取）, 2023/11/16.

■博物館事業・その他

【普及的事業（講師担当のみ）】

2023年 5月28日 《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会 in 船上山. 船上山（琴浦町）. [講師役の一部を担当]

2023年 6月 8日 《学芸員派遣》米子市立和田小学校「5・6年生 レッドデータブックの生きもの」. 米子市立和田小学校（米子市）.

2023年 6月19日 《学芸員派遣》青翔開智中学校「動物の体」. 青翔開智中学校・高等学校 生物・化学実験室（鳥取市）.

2023年 8月10日 《学芸員派遣》鳥取県立図書館「鳥のヒミツ」. 鳥取県立図書館 大研修室（鳥取市）.

2023年 8月27日 《自然講座》ふわふわ！キラキラ！鳥の羽を楽しもう. 鳥取県立博物館 会議室.

2023年 9月20日 《学芸員派遣》鳥取県立青谷高校「2年生 青谷学：日置谷の森と森林土壌の生きもの」. 利川神社・清宗院（鳥取市青谷町）.

2023年 9月23日 《学芸員派遣》西円通寺児童館「鳥取県の絶滅危惧種・危険な生き物」. 西円通寺児童館（鳥取市）.

2023年10月15日 《学芸員派遣》どんぐりの森「生き物観察会」. とっとり出合いの森（鳥取市）.

2023年10月29日 《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！ 打吹公園（倉吉市）.

2023年11月 5日 《学芸員派遣》とっとり出合いの森「おちばの中の虫さがし！」. とっとり出合いの森（鳥取市）.

2023年12月10日 《野外観察会》はじめてのバードウォッチング. 湖山池青鳥（鳥取市）.

2023年12月14日 《学芸員派遣》牧場フリースクールまなび～馬「猪の生態」. 自由学舎ハーモニシドレ（鳥取市）.

2023年12月18日 《学芸員派遣》青翔開智中学校「3年生 青翔開智 Museum 企画展『進化を探る』」ポスター発表の講評. 青翔開智中学校・高等学校 プレゼンルーム（鳥取市）.

2024年 1月14日 《学芸員派遣》姫路科学館「ジュニア学芸員 土壌動物についての講義・実習」. 姫路科学館（兵庫県姫路市）.
2024年 1月20日 《学芸員派遣》「湖山池の野鳥観察の観察」. 湖山池情報プラザ・湖山池青島（鳥取市）.
2024年 1月30日 《学芸員派遣》鳥取ルーテル幼稚園「冬の野鳥観察」. 湖山池情報プラザ・湖山池青島（鳥取市）.
2024年 2月 2日 《学芸員派遣》鳥取市立青谷中学校「3年生理科 土の中の微生物の観察」. 鳥取市立青谷中学校 多目的室（鳥取市）.

【その他】

2020年 9月～ 特別天然記念物オオサンショウウオ保護方針検討会（鳥取県文化財局）委員.
2021年12月～ 特別天然記念物オオサンショウウオ調査委員会（鳥取県文化財局）委員.
2022年 5月～ 日本土壌動物学会評議員.
2023年10月13日 第66回「日本学生科学賞」鳥取県審査 審査員. 読売新聞社鳥取支局（鳥取市）.
業績（令和5年度：2023年4月～2024年3月）

田邊 佳紀 TANABE, Yoshiki

博士（理学）

主任学芸員

学芸課自然担当 担当：地学

■印刷物

【普及的著作】

田邊佳紀(2023-2024) (連載)何でも発見、たのしい観察:日本海新聞日曜版(鳥取). 2023/4-2024/3(10回).
田邊佳紀(2023) 鳥取県立博物館だより: 藍銅鉱—日本絵画の「青」の材料—. 日本海新聞(鳥取), 2023/4/13.
田邊佳紀(2023) 鳥取県立博物館だより: 水銀. 日本海新聞(鳥取), 2023/9/7.
田邊佳紀(2023) 鳥取県立博物館だより: ベグマタイト. 日本海新聞(鳥取), 2023/12/28.
田邊佳紀(2023) イナバムカシアブラゼミ. 博物館協会ニュース, Vol. 10, No. 58. p.31.

【その他著作】

鳥取地学会化石部(執筆者:田邊佳紀・清水道代)(2022) 2022年度(令和4年度)化石部活動報告. 鳥取地学会誌, 27, 35-38.

■研究発表

田邊佳紀・伊藤康晴・渡邊克典・清水道代(2023) 街で見られる化石資料—鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の石灰岩—(予報). 鳥取地学会第28回総会・講演会・研究発表会, 鳥取県立博物館, 鳥取市, 2023年6月3日.(口頭発表)
中野知隆・澤本晴・縄田清太・楠原奏音・伊藤 駿(以上5名、鳥取西高等学校自然科学部)・田邊佳紀(鳥取県立博物館)(2023) 貝化石による鳥取平野の古環境の復元. 鳥取地学会第28回総会・講演会・研究発表会, 鳥取県立博物館, 鳥取市, 2023年6月3日.(口頭発表)
Tanabe Y., M. Nakatsukasa, Y. Kunimatsu and H. Nakaya(2023) Finding one of the oldest Abudhabia (Muridae, Rodentia) from the Nakali Formation, northern Kenya. 2nd Asian Paleontological congress (APC 2). Tokyo Univ., Tokyo, 2023/08/04. (Poster)
田邊佳紀(2023) 辰巳峠の地形・地質. 公開シンポジウム「『辰巳峠』は昆虫化石の宝庫!」, 主催:鳥取県立博物館・鳥取県生物学会・鳥取地学会, 鳥取県立博物館, 鳥取市, 2023年12月2日.(口頭発表)

■博物館事業・その他

【展示】

2023年 6月20日から 9月11日 「天然岩絵具」. 鳥取県立博物館常設展示室「自然の窓」.
2023年 7月20日から 9月 7日 「アンモ展!ミニ!」. 鳥取県立博物館常設展示室.
2023年12月 2日から常設 「辰巳峠コーナー」のリニューアル. 鳥取県立博物館常設展示室.

【普及的事業】

2023年 4月15日 《講師》ティラノトーク! ティラノサウルスレース大山2023(主催:日本ティラノサウルス保存会)内の出展ブース. 大山総合体育館.
2023年 4月30日 《講師》鳥取県立博物館令和5年度野外観察会「鉱物をさがそう! in 上地」. 鳥取市国府町上地 鉱山跡地.
2023年 5月24日 《講師》青谷学. 鳥取県立青谷高等学校.
2023年 5月31日 《講師》5年生「大地の絵具で絵をかこう」. 琴浦町立浦安小学校.
2023年 7月23日 《講師》鳥取県立博物館令和5年度自然講座「砂つぶトレジャーハンティング!」. 鳥取県立博物館2階会議室.
2023年 7月26日 《講師》恐竜の化石レプリカをつくろう!鳥取市中央図書館, 多目的ホール.

- 2023年 7月28日 《講師》恐竜の化石レプリカをつくろう！鳥取市立用瀬図書館。
 2023年 7月29日から30日 《講師》きしわだ自然資料館 友の会合宿。主催：岸和田市立きしわだ自然資料館。
 鳥取市国府町上地鉦山跡（鉦物採集）～八頭郡若桜町巻米（化石採集）～氷ノ山自然ふれあい館響の森（化石の同定会）。
 2023年 8月10日 《講師》恐竜の化石レプリカをつくろう！遷喬地区公民館。
 2023年 8月11日 《講師》ジオを発見！親子で自由研究 石ころ標本をつくろう！。主催：お城山展望台「河原城」。鳥取市河原町和奈見 千代川川原（岩石採集）～八東公民館（岩石の同定会）。
 2023年 8月15日 《講師》鳥取県立博物館令和5年度自然講座「鉦物結晶をつくってみよう★」。鳥取県立博物館2階会議室。
 2023年 8月19日 《講師》岩石何でも同定団。主催：鳥取大学。鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ。
 2023年 8月26日 《講師》化石のレプリカ作り体験。鳥取砂丘こどもの国主催。砂丘こどもの園内。
 2023年10月 1日 《講師》【親子自然研究クラブ】化石調査。鳥取県立氷ノ山ふれあい自然館 響の森主催。八頭郡若桜町つく米周辺。
 2023年10月 5日 《講師》恐竜の歯。鳥取県立鳥取西高等学校校外学習。鳥取県立博物館1階常設展示室。
 2023年11月 2日 《講師》鳥取の化石。鳥取市立気高図書館主催。同会議室。
 2023年11月11日 《講師》化石レプリカをつくろう！&砂つぶトレジャーハンティング！。湖山小学校 PTA 主催。同校生活科室・家庭科室。
 2023年12月 5日 《講師》生物の進化と多様性。青翔開智中学校主催。鳥取県立博物館1階自然常設展示室。2階会議室。
 2023年12月21日 《講師》宮ノ下の地質、化石。鳥取市立国府中学校。
 2023年12月22日 《講師》鉦物の実験。鳥取市立宝木小学校。
 2024年 1月19日 《講師》みんなでおしゃべり6（山陰海岸ジオパーク関連イベント）。鳥取県。鳥取大学主催。鳥取大学
 2024年 2月24日 《講師》鳥取県の化石。米子市立和田小学校。
 2024年 3月15日 《講師》鳥取県の化石。鳥取市立青谷中学校。

【その他】

- 2023年度 鳥取県立博物館研究報告編集長
 2023年度 鳥取地学会誌編集委員。
 2023年度 鳥取市子ども科学館運営委員会委員。

業績（令和4年度：2023年4月～2024年3月）

鶴 智之 TSURU, Tomoyuki

博士（農学）

学芸員

学芸課自然担当 担当：昆虫

■印刷物

【単報・目録・その他】

- 鶴 智之（2023） マツヘリカメムシを榊水高原にて多数確認。ゆらぎあ（鳥取），（41）：35-36。
 鶴 智之（2023） 鳥取市湖山池南東部でギフチョウを記録。ゆらぎあ（鳥取），（41）：43。
 鶴 智之（2023） クモガタヒョウモンを船上山で採集。ゆらぎあ（鳥取），（41）：47-48。
 鶴 智之（2023） ジャコウアゲハを鳥取駅前で採集。ゆらぎあ（鳥取），（41）：48。
 鶴 智之（2023） マツヘリカメムシを日南町において確認。ゆらぎあ（鳥取），（41）：51。

【普及的著作】

- 鶴 智之（2023） 鳥取県立博物館だより：かわいい？怖い？クマバチのひみつ。日本海新聞（鳥取），2023/5/18。
 鶴 智之（2023） 鳥取県立博物館だより：砂丘の巨大アリジゴク。日本海新聞（鳥取），2023/6/8。
 鶴 智之（2023） 鳥取県立博物館だより：足はどこから出ている？。日本海新聞（鳥取），2023/7/20。

■研究発表・講演

【講演】

- 鶴 智之（2024） ハナノミ科甲虫研究の今。山陰むしの会 第50回総会 講演会（鳥根県松江市），2024/3/20。（招待講演）
 鶴 智之（2023） 辰巳峠の昆虫化石。公開シンポジウム「『辰巳峠』は昆虫化石の宝庫！」。主催：鳥取県立博物館・鳥取県生物学会・鳥取地学会（鳥取市），2023/12/2。（口頭発表）

■博物館事業・その他

【展示】

- 2023/9/12～2024/2/5 「知ってるようで知らない赤とんぼの世界」。鳥取県立博物館常設展示室「自然の窓」。

【普及的事業】

- 2023 / 5 / 2 《講師》昆虫観察講座. 鳥取市美保地区公民館 (鳥取市吉成).
- 2023 / 5 / 20 《野外観察会》自然観察最初的一步 in 打吹山 [講師の一部を担当]. 打吹山 (倉吉市).
- 2023 / 5 / 22 《講師》昆虫観察講座. 鳥取市立稲葉山小学校 (鳥取市卯垣).
- 2023 / 5 / 28 《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 船上山 [講師の一部を担当]. 船上山 (東伯郡琴浦町).
- 2023 / 6 / 4 《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫をさがそう!～. 鳥取県立博物館会議室, 久松公園.
- 2023 / 6 / 7 ~ 6 / 15 《出前展示》鳥取県立博物館の昆虫標本. 米子市立和田小学校 (米子市).
- 2023 / 6 / 8 《講師》昆虫の体のしくみ (3年生授業). 米子市立和田小学校 (米子市).
- 2023 / 6 / 20 ~ 6 / 27 《出前展示》鳥取県立博物館の昆虫標本. 智頭町立智頭小学校 (八頭郡智頭町).
- 2023 / 7 / 3 ~ 7 / 14 《出前展示》鳥取県立博物館の昆虫標本. 北栄町立北条小学校 (東伯郡北栄町).
- 2023 / 7 / 30 《自然講座》昆虫の標本をつくろう!. 鳥取県立博物館会議室.
- 2023 / 8 / 6 《自然講座》昆虫の体のつくりをしらべよう!. 鳥取県立博物館会議室.
- 2023 / 8 / 26 《講師》蝶々の観察とミニバタフライガーデンづくり. 東郷湖羽合臨海公園浅津公園(湯梨浜町).
- 2023 / 10 / 1 《講師》トンボ観察会「トンボとりレース2023」. とっとり出合いの森 (鳥取市桂見).
- 2023 / 10 / 18 《講師》青谷学「青谷に生息するトンボ」. 鳥取県立青谷高等学校 (鳥取市青谷).
- 2023 / 11 / 3 《自然講座》描いてみよう!サイエンス生物画. 鳥取県立博物館会議室.
- 2023 / 11 / 15 ~ 11 / 22 《出前展示》鳥取県立博物館の昆虫標本. 鳥取市立大正小学校 (鳥取市).
- 2024 / 1 / 25 《講師》東翔フォーラム進路講演会「博物館のお仕事」. 鳥取市立東中学校 (鳥取市).

【その他】

- 2023年度 日本甲虫学会 欧文誌編集委員.
- 2023年度 日本昆虫学会 自然保護委員会委員.

清末 幸久 KIYOSUE, Yukihisa

学芸員

学芸課 自然・植物

■印刷物

【著書・論文】

鶴崎展巨・清末幸久・濱野浩美 (2024) 史跡米子城跡と鳥取市樗谿のキシノウエトタテグモ (トタテグモ科). 鳥取県立博物館研究報告 61: 23-27.

【普及的著作】

- 清末幸久 (2023) 鳥取県立博物館だより: 殻に覆われた海藻 サンゴモのなかま. 日本海新聞 (鳥取), 2023 / 8 / 24
- 清末幸久 (2023) 鳥取県立博物館だより: 人々が植えて増やしたヒガンバナ. 日本海新聞 (鳥取), 2023 / 9 / 21
- 清末幸久 (2022) 鳥取県立博物館だより: 厳しい環境に生きるコケ. 日本海新聞 (鳥取), 2023 / 10 / 26

■博物館事業・その他

【展示】

- 2023年~6月26日 「鳥取県のタンポポ」鳥取県立博物館自然常設展示室小コーナー
- 2023年6月27日~11月20日 新着資料紹介「巨大キノコ オオミヤマトンビマイ」鳥取県立博物館自然常設展示室小コーナー
- 2023年11月21日~12月25日 「クリスマスを彩る植物たち」鳥取県立博物館自然常設展示室小コーナー
- 2023年12月26日~2024年3月24日 「春の七草」鳥取県立博物館自然常設展示室小コーナー
- 2024年2月6日~ 「雨粒を利用する菌類・変形菌類」鳥取県立博物館自然常設展示室自然の窓
- 2024年3月25日~ 「飢餓から人々を救った有毒植物」鳥取県立博物館自然常設展示室小コーナー

【普及的事業 (講師担当のみ)】

- 2023年4月24日 《学芸員派遣》科学学習「袋川周辺の植物調査・雑草の魅力」. 青翔開智中学校・高等学校. 袋川親水公園 (鳥取市国府町宮下)・青翔開智中学校・高等学校 (鳥取市国府町新通り).
- 2023年4月28日 《学芸員派遣》米子城跡整備に係る樹木管理、貴重植物についての現地指導. 米子市文化振興課. 湊山公園米子城跡 (米子市久米町).
- 2023年5月20日 《自然講座》自然観察さいしょの一步. 鳥取県立博物館・自然観察指導員鳥取連絡会・倉吉博物館. 打吹山 (倉吉市)
- 2023年5月21日 《学芸員派遣》ハマナス講座. 赤碕海岸ハマナス見学会と保護活動. 次世代につなぐボランティア・ハマナス保護の会. 琴浦町道の駅ポート赤碕・情報コーナー (東伯郡琴浦町別所)
- 2023年5月27日 《学芸員派遣》令和5年度プレイパークいわみ「南滝の自然観察&食べられる野草」. 岩美町

- 中央公民館. 南滝 (岩美町小田)・岩美町中央公民館 (岩美町浦富)
- 2023年5月28日 《学芸員派遣》第9回オカヒジキ戻ってこいこいプロジェクト@熊井浜. いわみガイドクラブ、くまの自然を守る会、環境省近畿地方事務所浦富自然保護官事務所. 熊井浜 (岩美町牧谷)
- 2023年6月4日 《学芸員派遣》ジオハイキング ―浦富海岸の植物―. 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館. 浦富海岸 (岩美町浦富)
- 2023年6月13日 《学芸員派遣》令和5年度第1回いわみ学「山陰道蒲生峠越」. 岩美町中央公民館. 蒲生活性化施設一寸法師の館 (岩美町蒲生)・旧蒲生峠 (岩美町蒲生)
- 2022年6月23日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー. 自然観察指導員鳥取連絡会・米子市文化振興課. 湊山公園米子城跡 (米子市久米町).
- 2022年7月2日 《自然講座》野外観察会「探して調べる、久松山の変形菌」. 鳥取県立博物館. 鳥取県立博物館会議室・久松山山麓 (鳥取市東町)
- 2022年7月6日 《学芸員派遣》地域の植物観察会. 湖南地区公民館分館大郷会館. 防己尾城跡公園 (鳥取市金沢)
- 2022年7月7日 《学芸員派遣》明治地区公民館植物学習講座～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワークⅢ at 松上その2」. 明治地区公民館. 松上神社 (鳥取市松上)
- 2022年7月9日 《学芸員派遣》中国5県自然観察指導員交流会準備観察会. 自然観察指導員鳥取連絡会. 鏡ヶ成高原 (江府町御机鏡ヶ成)
- 2022年8月10日 《学芸員派遣》三朝神社社叢の樹種構成の確認、管理等についての協議. 三朝神社. 三朝神社 (三朝町三朝)
- 2022年9月13日 《学芸員派遣》青谷学「青谷町長和瀬海岸の植生調査 ―エコトーンの植物を調べる―」. 鳥取県立青谷高等学校. 長和瀬海岸 (鳥取市青谷町長和瀬).
- 2022年9月16～17日 《学芸員派遣》中国5県自然観察指導員交流会 (湿原の保全と自然保護憲章). 自然観察指導員鳥取連絡会. 鏡ヶ成高原 (江府町御机鏡ヶ成)
- 2022年10月3日 《学芸員派遣》理数科課題研究における粘菌についての学習および実習. 鳥根県立大田高等学校. 鳥根県立大田高等学校理科室・学校林 (鳥根県大田市大田町)
- 2022年10月7日 《自然講座》きのこを調べる会. 鳥取県立博物館・鳥取県立大山自然歴史館. 大山寺地区 (大山町大山)
- 2022年11月1日 《学芸員派遣》科学学習「鳥取駅前に生息する菌類」. 青翔開智中学校・高等学校. 鳥取鉄道記念物公園周辺 (鳥取市扇町).
- 2022年11月1日 《学芸員派遣》牧野博士も大好きケンポナシを探せ. 自然観察指導員鳥取連絡会. 若桜鬼ヶ城 (若桜町三倉)
- 2022年11月11日 《自然講座》野外観察会「あっと、ときめくコケ観察会」. 鳥取県立博物館. 山守集学校および周辺 (倉吉市関金町堀)
- 2022年12月22日 《学芸員派遣》令和5年度山陰海岸国立公園インナーブラウディングをふまえたストーリー検討業務における「山陰海岸国立公園の自然環境の関りと利活用に関するヒアリング」. 環境省近畿地方環境事務所国立公園課竹野自然保護官事務所・浦富自然保護官事務所. オンライン (鳥取県立博物館)
- 2023年1月21日 《学芸員派遣》見て触って城山自然ツアー. 自然観察指導員鳥取連絡会・米子市文化振興課. 湊山公園米子城跡 (米子市久米町).
- 2023年3月10～11日 《学芸員派遣》自然観察指導員講習会. (公財)日本自然保護協会・自然観察指導員岡山連絡会. 岡山県渋川青年の家 (岡山県玉野市渋川)
- 2023年3月23日 《学芸員派遣》ヤーテンパー2024. 自然観察指導員鳥取連絡会. かちべ伝承館 (鳥取市青谷町鳴滝).

【その他】

- 自然公園指導員 (環境省) 1984年5月～
- 鳥取県自然観察指導員 (鳥取県) 1991年～
- 自然観察指導員 ((公財)日本自然保護協会) 2002年～
- 鳥取県外来種検討委員会委員 (鳥取県生活環境部) 2006年～
- 希少野生動植物種保存推進員 (環境省) 2015年7月～
- 鳥取県生物多様性戦略策定委員 (鳥取県生活環境部緑豊かな自然課) 2019年～
- 鳥取市さじアストロパーク管理運営委員 2023年5月～

茶谷 満 CHAYA, Mitsuru

専門員兼主任学芸員

学芸課 学習支援担当

■印刷物

【普及的著作】

- 茶谷 満 (2023) 鳥取県立博物館だより：好奇心を刺激しよう 来月から企画展. 日本海新聞 (鳥取), 2023 / 6 / 29.
- 茶谷 満 (2023) 鳥取県立博物館だより：企画展「アインシュタイン展」 宇宙の不思議を知ろう. 日本海新

聞（鳥取），2023 / 7 / 13 .

茶谷 満（2024）鳥取県立博物館だより：多世代に学びを提供 法改正後の博物館像 . 日本海新聞（鳥取），2024 / 3 / 28 .

茶谷 満（2024）博物館と学校を「つなぐ」—博学連携イベント“教員のための博物館の日”. 鳥取県立博物館ニュース No. 37（鳥取），2024 / 3 / 27 .

■博物館事業・その他

【展示】

2023年 7月 1日～ 8月27日 企画展「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」. 鳥取県立博物館第1・2特別展示室 .

【普及的事業】

2023年 5月 《e-ラーニング》令和5年度社会教育主事講習 [A] 「博物館から学校へ 鳥取県立博物館の学習支援事業」. 国立社会教育実践研究センター（東京都）.

2023年11月 《e-ラーニング》令和5年度社会教育主事講習 [B] 「博物館から学校へ 鳥取県立博物館の学習支援事業」. 国立社会教育実践研究センター（東京都）.

2024年 2月 3日 《講師》いしかわデジタルアーカイブ パネルディスカッション . 石川県立図書館（石川県）. 2023年 8月19日 《講師》「親子新聞教室」. 読売新聞共催 鳥取県立博物館2階会議室 .

2024年 2月21日 《学芸員派遣》「昔のあそび 凧あげ」. 鳥取市立宝木小学校 .

2024年 3月 9日 《学芸員派遣》「凧をつくろう」. 鳥取市西円通寺児童館 .

福代 宏 FUKUSHIRO, Hiroshi

学芸員

学芸課 人文担当：民俗学

■印刷物

【普及的著作】

福代 宏（2023）博物館だより：クラカメ！日本海新聞（鳥取），2023 / 8 / 17 .

博物館だより：「年徳さん」と「大歳の預かり物」日本海新聞（鳥取），2023 / 12 / 21 .

博物館だより：閩の民俗 日本海新聞（鳥取），2024 / 2 / 22 .

【短報・目録・その他】

福代 宏（2023）資料紹介『因州記』の年中行事（鳥取民俗懇話会会報13），2024 / 2 / 26

■博物館事業・その他

【展示】

2023年 7月11日～2023年 9月10日 常設展示室歴史の窓「クラカメ！沖正カメラコレクション」. 鳥取県立博物館歴史・民俗展示室

【普及的事業】

2023年 8月20日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」. 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室

2023年12月24日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」. 鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室

2023年 5月19日 《学芸員派遣》「『灘手郷土史』を読む」. 灘手コミュニティセンター

2023年 5月26日 《学芸員派遣》「倉吉の郷土玩具」. 打吹回廊

2023年 6月22日 《学芸員派遣》「鳥取県の祭り」. 鳥取市立美保小学校

2023年 1月25日 《学芸員派遣》「鳥取県の祭り」. 八頭町立船岡小学校

来見田 博基 KURUMIDA, Hiroki

学芸員

学芸課人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【普及的著作】

来見田博基（2023）博物館だより：「寺社方日記データベースの公開」 日本海新聞（鳥取） 2023 / 7 / 27

来見田博基（2024）とっとりお城探訪：「藩主甲冑142年ぶりの里帰り展」日本海新聞（鳥取） 2024 / 1 / 27

来見田博基（2024）博物館だより：「おかえり！トノサマアーマー～藩主甲冑里帰り展～」 日本海新聞（鳥取） 2024 / 2 / 15

来見田博基（2023）コラム「武士は太ると辞任する」鳥取県立博物館ニュース36号，2023 / 9 / 27

来見田博基（2024）開催告知「鳥取藩池田家・姫君の婚礼道具」鳥取県立博物館ニュース37号，2024 / 3 / 26

【短報・目録・その他】

来見田博基（2024）「第4章文献調査の成果 第1節古代～中世の智頭往来志戸坂峠越」、「同章 第2節近世の智頭往来志戸坂峠越」、「同章 第5節関係資料古代・中世・近世」「同章 第6節附図」、「第5章総括 第2節文献調査について古代・中世・近世」（西粟倉村埋蔵文化財発掘調査報告1『智頭往来志戸坂峠越（歴史の道）村内遺跡保存活用総合調査』西粟倉村教育委員会2024/3/15

■博物館事業・その他

【展示】

2023年 9月12日（火）～11月12日（日） 常設展示室歴史の窓「勾玉の世界展関連企画 一宝石をまとった鳥取藩の宝刀」 県立博物館 歴史民俗常設展示室
2024年 1月23日（火）～3月3日（日） 常設展示室歴史の窓「おかえり！トノサマアーマー ～藩主甲冑里帰り展～」 県立博物館 歴史民俗常設展示室

【普及的事業】

2023年 4月、6月、8月第1土・日曜日 古文書解読ボランティア月例会 県立博物館会議室、倉吉博物館（倉吉市）、旧米子市庁舎（米子市）
2023年 6月10日（土） 歴史講座「天狗党の争乱と鳥取藩～京都留守居安達清一郎を中心として～」 県立博物館会議室（鳥取地域史研究会との共催事業）
2023年 7月 8日（土） 伯耆文化研究会7月例会「『家老日記』データベースを活用した地域研究」米子市立図書館（米子市）
2023年10月26日（木） 出前講演「引っ越し大名物語～亀井政矩のお国替えと32万石鳥取藩の始まり～」 気高町コミュニティーセンター（鳥取市）
2024年 2月17日（土） 因伯名刀フォーラム特別編「甲冑～武士の芸術の魅力に迫る～」鳥取県立博物館 講堂 パネリスト
2024年 2月18日（日） 歴史講座「江戸時代の古文書を楽しむ」 県立博物館 会議室
2024年 3月24日（日） 美保南地区町区長OB懇話会研修会「鳥取藩の参勤交代と美保南地区」美保南地区公民館（鳥取市）

【その他】

2023年度 鳥取災害アーカイブズ研究会 委員
2023年度 池田家墓所保存委員会 委員
2023年度 大雲院資料調査委員会 委員
2023年度 西粟倉村智頭往来志戸坂峠越の国史跡指定のための保存調査委員会 委員

大嶋 陽一 OOSHIMA, Yoichi

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【報告書・コラム】

大嶋陽一（2024） 茶文化の変遷. 鳥取県庭園調査報告書. 鳥取県地域振興部文化財局.
大嶋陽一（2024） 幕末の鳥取藩絵師たち. 生誕200年根本幽峨展図録. 鳥取県立博物館.

【普及的著作】

大嶋陽一（2023） 鳥取県立博物館だより：歴史講座「伯耆往来をあるく」最終回. 日本海新聞（鳥取），2023/04/24.
大嶋陽一（2023） 鳥取県立博物館だより：新発見！藩主が使った御菩薩焼. 日本海新聞（鳥取），2023/12/07.
大嶋陽一（2024） 鳥取県立博物館だより：近世の実録体小説 事実と虚構のはざままで. 日本海新聞（鳥取），2024/01/25.
大嶋陽一（2024） 鳥取県立博物館ニュース37：鳥取藩の特注品 御菩薩焼と仁清手. 鳥取県立博物館.

■博物館事業・その他

【展示】

2023年11月14日～2024年1月21日歴史の窓「新発見鳥取藩旧蔵のやきもの」. 鳥取県立博物館歴史民俗常設展示室

【普及的事業】

2023年 4月11日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師. 倉吉博物館.
2023年 4月21日 歴史講座「伯耆往来をあるく 東山公園～陰田」. 米子市内.
2023年 5月 9日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師. 倉吉博物館.
2023年 5月 6,7日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」. 鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館.
2023年 5月11日 鳥取市河原町成人大学「近世鳥取城の火災と復興」. 河原町コミュニティーセンター.

2023年 6月13日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年 7月 1, 2日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2023年 7月11日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年 8月 8日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年 9月12日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年 9月28日 湯梨浜文化大学「鳥取県再置の山縣有朋復命書を読む」・ハワイアロハホール大ホール。
 2023年10月 6, 7日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2023年10月10日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年11月 4, 8日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2023年11月11日 北栄みらい伝承館講演会「正墙適処と研志塾」・北栄町中央公民館講堂。
 2023年11月14日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年12月 2, 3日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2023年12月12日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2023年12月17日 歴史講座「東伯耆の大庄屋」・鳥取県立博物館会議室。
 2024年 1月 6, 7日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2024年 2月 3, 4日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2024年 2月13日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2024年 2月24日 琴浦町古文書講座①・まなびタウン東伯。
 2024年 3月 2, 3日 古文書ボランティア「古文書解読基礎講座」・鳥取県立博物館, 倉吉博物館, 山陰歴史館。
 2024年 3月12日 倉吉博物館古文書整理ワークショップ講師・倉吉博物館。
 2024年 3月16日 琴浦町古文書講座②・まなびタウン東伯。

【その他】

2023年 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平石垣等保存修理・整備検討委員
 2023年 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館評議員
 2023年 倉吉市文化財保護審議委員
 2023年 鳥取県庭園調査委員会委員

小山 浩和 KOYAMA, Hirokazu

専門員兼主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：考古

■印刷物

【普及的著作】

小山浩和 (2023) 博物館だより：「勾玉の世界」展まもなく開幕！、日本海新聞(鳥取)2024/10/5
 小山浩和 (2023) 博物館だより：勾玉のはじまり、日本海新聞(鳥取)2023/1/5
 小山浩和 (2023) 博物館だより：初の里帰りを果たした2点、日本海新聞(鳥取)2024/11/9

【図録】

小山浩和〔編著〕(2023)『勾玉の世界』鳥取県立博物館

■博物館事業・その他

【展示】

2023年10月 7日～2023年11月12日 企画展「勾玉の世界」展 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室
 2023年 2月28日～2023年 5月 7日 歴史の窓「鳥取県出土の皇朝十二銭」・鳥取県立博物館1階歴史・民俗展示室

【普及的事業】

2023/10/8・15・29・11/5 勾玉づくり

山本 隆一郎 YAMAMOTO, Ryuichiro

学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史(中世史)

■印刷物

【普及的著作】

山本隆一郎(2023) 博物館だより：初公開！箕上山(みのがみやま)で戦国時代に用いられた水鉢・日本海新聞(鳥取), 2023/2/2.
 山本隆一郎(2023) 博物館だより：戦国武士の再就職―天下統一と大量解雇・登用―. 日本海新聞(鳥取), 2023/6/1.
 山本隆一郎(2023) 博物館だより：室町幕府の仕事始め―元日から仕事の伯耆守護―. 日本海新聞(鳥取), 2024/1/4.

■博物館事業・その他

【展示】

鳥取県立博物館歴史民俗展示室 歴史の窓「スタッフ大募集！—加須屋家文書にみる戦国武士の再就職—」
2023/5/9～7/9

■その他

【単著論文】

資料紹介「室町期因幡吉岡氏と龍福寺所蔵文亀三年銘石製水鉢について」(『鳥取地域史研究』 26
2024年2月)

【共著論文】

鹿野泰寛・青山彩香・山本隆一朗 「Hyoro-zeme in the battle for Tottori castle (1581) : the first description of refeeding syndrome in Japan [天正9年(1581年)鳥取城の戦いにおける「兵糧攻め」：日本におけるリフィーディング症候群の最初の記述]」(『The American Journal of the Medical Sciences』 September 08, 2023)

【研究発表】

日本古文書学会研究発表「九州における足利直冬軍事関係文書の研究—「馳参」と「於国致忠節」—」2023年
9月24日 於：対馬市交流センター

三浦 努 MIURA, Tsutomu

課長

美術振興課長 担当：近現代美術・工芸

■印刷物

【普及的著作】

- 三浦 努 (2023) 博物館だより：「大きさ」について、あらためて考える. 日本海新聞 (鳥取), 2023/4/6.
三浦 努 (2023) 博物館だより：芸術は長く、人生は・・・日本海新聞 (鳥取), 2023/5/11.
三浦 努 (2023) 博物館だより：もっと近くで見たい！ちょっと特別なアートセミナー. 日本海新聞 (鳥取), 2023/5/25.
三浦 努 (2023) 自分だけの世界 つかみ取る「坂本章 青瓷展」に寄せて. 日本海新聞 (鳥取), 2023/9/24.
三浦 努 (2023) 逆説のやきもの「前田昭博 白瓷展」に寄せて. 日本海新聞 (鳥取), 2023/11/4.
三浦 努 (2023) 美ありて：生き物文様 豪華に力強く「腰巻/肩掛け」岡村吉右衛門コレクション. 朝日新聞鳥取版, 2023/12/19.
三浦 努 (2024) 博物館だより：新たなミュージアム組織の共同企画展 美術家の思考を表す素描. 日本海新聞 (鳥取), 2024/1/11.
三浦 努 (2023) 「企画展 アートって、なに？」. 鳥取県立博物館ニュース 2024.NO.37 (鳥取県立博物館)

赤井 あずみ AKAI, Azumi

主任学芸員

美術振興課 美術担当 担当：近現代美術・写真

■印刷物

【図録・作品集】

- 赤井あずみ (2023) 「池本喜巳写真集『On Display』に寄せて」. pp. 4 .In : On Display. Case Publishing, 148 pp.
赤井あずみ (2024) 坂本和也 IN BLOOM. pp. 4 .In : IN BLOOM. nichido contemporary art, 54 pp.
赤井あずみ (2024) 佐々瞬. pp. 46 .In : VOCA 展2024 現代美術の展望—新しい平面の作家たち. 「VOCA」展実行委員会、公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館, 94 pp.

【普及的著作】

- 赤井あずみ (2023) キュレーターズノート「記憶とアーカイブにまつわるいくつかの話—AHA !との協働プロジェクトを経験して」. artscape, 2023.5.15.
赤井あずみ (2023) 「池本喜巳写真展『記憶の扉』に寄せて」. 日本海新聞 (鳥取), 2023.5.18.
赤井あずみ (2023) 博物館だより「アートを通じた学び 26日から「ミュージアムとの創造的対話」」. 日本海新聞 (鳥取), 2023.11.23.
赤井あずみ (2023) 博物館だより「マクドナルドへ学びに行こう！ミュージアムとの創造的対話」. 日本海新聞 (鳥取), 2023.11.30.
赤井あずみ (2023) 博物館だより「作品と鑑賞者との距離 参加型アートにチャレンジ」. 日本海新聞 (鳥取), 2023.12.14.

■博物館事業・その他

【展示】

2024年11月26日～12月28日 企画展「ミュージアムとの創造的対話04 ラーニング／シェアリング 共有から未来は開くか?」. 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室、エントランスホール、前庭、鳥取県内のマクドナルド店舗.

【普及的事業】

- 2023年 4月 8日 《講師》池本喜巳展「記憶のとびら」ギャラリートーク. 入江泰吉記念奈良市写真美術館
2023年 6月12日 《講師》現代鳥取学：鳥取の美術（写真編）. 鳥取短期大学
2023年 6月24日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム「長ーい祭りの準備プロジェクト」第3回ミーティング. HATSUGA スタジオ
2023年 7月31日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム 長ーい祭りの準備プロジェクト プレイベント「屋台、山を越える。吉岡温泉～浜村温泉 屋台の人力運搬大作戦」. 吉岡温泉～浜村温泉
2023年 8月19日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム「長ーい祭りの準備プロジェクト」第4回ミーティング. HATSUGA スタジオ
2023年 9月18日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム「長ーい祭りの準備プロジェクト」第5回ミーティング. HATSUGA スタジオ
2023年10月22日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム「長ーい祭りの準備プロジェクト」第6回企画会議. HATSUGA スタジオ
2023年11月18日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム「長ーい祭りの準備プロジェクト」第7回企画会議. HATSUGA スタジオ
2023年11月 6日 企画展ミュージアムとの創造的対話04「ラーニング／シェアリング ー共有から未来は開くか?」関連事業 アーティスト・トーク（小沢剛、高山明）. 鳥取県立博物館 講堂
2023年12月 2日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト「しあわせのかたち」松本篤 公開プレゼンテーション. HATSUGA スタジオ
2023年12月17日 企画展ミュージアムとの創造的対話04「ラーニング／シェアリング ー共有から未来は開くか?」関連事業 アーティスト・トーク（リクリット・ティラヴァニ）. 鳥取県立博物館 講堂
2023年12月23日 企画展ミュージアムとの創造的対話04「ラーニング／シェアリング ー共有から未来は開くか?」関連事業 トーク・イベント「ヤギの目、ヤギ先輩と語る」. 鳥取県立博物館 第2特別展示室
2024年 1月10日 《講師》「企画のつくりかたを学ぶ・話す ～アートプロジェクトの視点から～」. 丸亀市市民交流活動センターマルタス
2024年 1月20日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ「長ーい 祭りの準備プロジェクト」ミーティング+ワークショップ. HATSUGA スタジオ
2024年 1月21日 アート・セミナー「館蔵品を読み解く（現代美術編）」. 鳥取県立博物館 会議室
2024年 1月27日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト「しあわせのかたち」イベントシリーズ vol.1『ウェルビーイングのつくりかた』を読む. HATSUGA スタジオ
2024年 2月11日 《講師》久門剛史「Dear Future Person,」. 京都市立芸術大学作品展 同時開催企画キュレーターズ・ミーティング. 京都市立芸術大学 C-101 講義室 1
2024年 2月17日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ「長ーい 祭りの準備プロジェクト」ミーティング+ワークショップ. HATSUGA スタジオ
2024年 2月25日 AHA！アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト「しあわせのかたちーもうひとつの植物図鑑」（仮）ワークショップ 植木鉢をお譲りください！ 第1回 | 鉢の受付日. HATSUGA スタジオ
2024年 2月29日 アートの種まきプロジェクト：HATSUGA スタジオ 地域連携プログラム アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト「しあわせのかたち」イベントシリーズ vol.2『ウェルビーイングのつくりかた』を読む. HATSUGA スタジオ
2024年 3月 2日 《講師》アート・プロジェクトトーク「アート・プロジェクトと街の関わり方」. 今治市立中央図書館 3階視聴覚室
2024年 3月17日 長ーい祭りの準備プロジェクト シルクスクリーンプリント & 小屋台づくりワークショップ. HATSUGA スタジオ

【その他】

2023年度 アート・プロジェクト「HOSPITALE」キュレーター／プログラムディレクター
VOCA 展2024推薦委員
鳥取県文化奨励賞専門審査員（美術）

業績（令和5年度：2023年4月～2024年3月）

■印刷物

【普及的著作】

友岡真秀(2023)「博物館だより：美術家の生の声は紙の上にある…？」日本海新聞(鳥取), 2023/6/22.

■博物館事業・その他

【展示】

2024年 1月21日～2024年 2月18日 令和5年度鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展 米子市美術館開館40周年記念コレクション企画展共催「DRAWING ADDICT!!—ハマる素描」, 米子市美術館第1展示室.

【普及的事業】

2023年 6月24日 アートセミナー「館蔵品を読み解く：素描編」：鳥取県立博物館会議室(一般)

山本 亮 YAMAMOTO, Tooru

専門員

美術振興課 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

山本亮(2023) 博物館だより 気ままに遊べて感覚を育む玩具 日本海新聞(鳥取) 2023/4/20

山本亮(2023) 博物館だより 充実した鑑賞体験 記憶に残る作品との出会い 日本海新聞(鳥取) 2023/5/4

山本亮(2024) 博物館だより「美術館ができるまで」タイムプラスを楽しむ 建設記録ムービー制作 日本海新聞(鳥取) 2024/2/1

山本亮(2023)「美ありて」歓喜の絵画 福留章太《アントロポス》朝日新聞(鳥取) 2023/10/20

■博物館事業・その他

【展示】

2023年 9月 1日～ 9月24日 [移動美術館 日南展]「“みる”からはじまる「対話型鑑賞」のススメ」 日南町美術館

【普及的事業】

2023年 4月27日 [ワークショップ] 木ようびは、木のおもちゃの日。HATSUGA スタジオ

2023年 4月30日 [ワークショップ] らくがきばんざい！春編 鳥取県立博物館 前庭

2023年 5月14日 [ワークショップ] らくがきばんざい！ in 鳥取県立美術館上棟記念イベント 鳥取県立美術館建設地内

2023年 5月21日 [ワークショップ・展示] コレクション宅配便 みなとテラス

2023年 6月10, 11日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！倉吉未来中心(食のみやこフェスティバル会場内)

2023年 6月17日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！鳥取県立博物館 会議室

2023年 7月 8～11日 [ワークショップ、展示] HATSUGA スタジオ ブラック・ライト・ナイト(先行ワークショップ：光る絵の具でつくろう+) HATSUGA スタジオ

2023年 7月13日 [ワークショップ] 不思議な絵の具で描いてみよう！ 倉吉養護学校

2023年 8月 5日 [レクチャー] 夏休み小学生宿題応援イベント「美術館ってどんなところ？」 鳥取県立美術館建設地内

2023年 8月 8日 [ワークショップ] ステンドカラーシートであそぼう 中浜公民館

2023年 8月10日 [ワークショップ] スタンプポンポン 余子公民館

2023年 9月 7日 [ワークショップ] 不思議な絵の具で描いてみよう！ 逢坂小学校

2023年 9月 9日 [ワークショップ] とっとり県民の日特別企画 ぶりろなバッグをつくろう イオン鳥取北店

2023年 9月24日 [ワークショップ] らくがきばんざい！秋編 鳥取県立博物館 前庭

2023年10月15日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！ わったいな(いなば農産物フェスタ会場内)

2023年10月22日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！ 打吹回廊(福高祭2023会場内)

2023年11月 5日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！ 鳥取県立美術館建設地内(美術館開館500日前イベント会場内)

2023年11月11日 [ワークショップ] プリロのミニチュアをつくろう！ 倉吉未来中心(あいサポート・アートとっとり祭イベント会場内)

2023年12月15日 [レクチャー] 彫刻って〇〇！ 鳥取養護学校

- 2023年12月17日〔ワークショップ〕光にかざして楽しもう！ 米子コンベンションセンター BIGSHIP（シン・子育て王国とっとりフェス会場内）
- 2023年10月 - 12月〔バス招待事業〕県内小学校14校、18件、869名 鳥取県立博物館 展示室他
- 2024年 1月30日〔ワークショップ・展示〕コレクション宅配便 若葉台小学校
- 2024年 2月 4日〔ワークショップ〕ぶろろなバッグをつくろう とりぎん文化会館（令和新時代とっとり元気フェス会場内）
- 2024年 2月13日〔学芸員派遣〕進路学習「社会人に学ぶ」講師 倉吉市立河北中学校
- 2024年 2月23日〔ワークショップ〕ミニ掛軸屏をつくろう 鳥取県立博物館 会議室、展示室
- 2024年 2月24日〔レクチャー〕0からはじめるドキュメンタリー映像のつくり方 HATSUGA スタジオ
- 2024年 3月 9日〔ワークショップ〕窓を彩ろう 岩美町立東コミュニティーセンター
- 2024年 3月16日〔ワークショップ〕ミニ屏風をつくろう 鳥取県立博物館 会議室、展示室

【その他】

- 2023年10月13日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me! 09』の発行
- 2024年 3月30日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me! 10』の発行
- 2024年 3月30日 鳥取県立美術館建設記録ムービー「美術館ができるまで」制作

佐藤 真菜 SATO, Mana

専門員兼学芸員

美術館整備局 美術館整備課 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

- 佐藤真菜（2023）博物館だより「乳児・幼児と一緒に鑑賞・展覧会シリーズ：美術をめぐる場をつくる」日本海新聞（鳥取）2023/7/6
- 佐藤真菜（2023）博物館だより「正解のないアートの世界だからこそ自由で楽しい-『朝鑑賞』のススメ」日本海新聞（鳥取）2023/8/31
- 佐藤真菜（2023）博物館だより「赤ちゃんのための作品鑑賞会」日本海新聞（鳥取）2023/11/2
- 朝日新聞（2023）美ありて「空間・時間 絵具に込める」2023/9/1
- 教育美術（2024）教美アートギャラリー「所蔵作品紹介と作品鑑賞」Jan. 2024 No. 979

■博物館事業

【普及的展示】

- 令和5年度 鳥取県立博物館 美術部門 シリーズ・美術をめぐる場をつくるⅤ「赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダイス」会期：2023年10月15日～11月12日 鳥取県立博物館 第3特別展示室

【普及的事業】

- 2023年 4月 8日〔ワークショップ〕「プリロボックスをつくろう！」上灘公民館
- 2023年 4月23日〔ファシリテーター養成研修1〕「オリエンテーション」鳥取県立博物館 講堂
- 2023年 4月27日〔講義〕鳥取短期大学 幼児教育学科 1年 鳥取短期大学 A館
- 2023年 5月11日〔コレクション宅配便〕鳥取看護大学 鳥取短期大学アリーナ
- 2023年 5月14日〔ワークショップ〕上棟記念イベント「紙コップ20000個でアート」鳥取県立美術館
- 2023年 5月21日〔コレクション宅配便〕境港市市民交流センター みなとテラス
- 2023年 5月31日〔自然分野×美術分野 コラボ授業〕「泥でアート」琴浦町立浦安小学校
- 2023年 6月 7日〔校内授業研究会 指導助言〕「泥でアート」琴浦町立浦安小学校
- 2023年 6月 8日〔学芸員派遣〕「対話鑑賞を楽しもう」琴浦町立浦安小学校
- 2023年 6月15日〔校内職員研修会 講師〕「対話鑑賞について」琴浦町立浦安小学校
- 2023年 6月13日〔コレクション宅配便〕鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学アリーナ
- 2023年 6月18日〔ファシリテーター養成研修2〕「作品を鑑賞するとは」鳥取県立博物館 講堂
- 2023年 6月20日〔講義〕「対話鑑賞とは・傾聴について」鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学
- 2023年 6月22日〔鑑賞授業〕中学校1年生に対する Walk View を使った対話鑑賞 青翔開智中学校
- 2023年 6月20日〔講義〕「対話鑑賞ファシリテーション実践」鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学
- 2023年 7月 2日〔ワークショップ〕学芸員派遣「通信制課程 人権教育講演会関連」鳥取緑風高等学校
- 2023年 7月 4日〔通信制課程 人権教育講演会〕「視覚に障がいのある方と一緒に作品鑑賞を楽しむ」鳥取緑風2023年7月6日、11月7日〔アーティストとつくろう！〕「お茶碗づくりに挑戦！」八頭町立智頭小学校
- 2023年 7月 7日〔コレクション宅配便〕奥大山江府学園8年生 奥大山江府学園日野川校舎
- 2023年 7月10日〔図画工作科校内授業研修会 指導助言〕鳥取大学附属小学校
- 2023年 7月 7日〔コレクション宅配便〕境港市立第二中学校
- 2023年 7月21日〔教員研修〕「境港市小学校教育研究会図画工作部会 対話鑑賞研修」境港市立余子小学校
- 2023年 8月 3日〔教員の日〕「朝鑑賞・対話鑑賞とは」鳥取県立博物館

2023年 8月 6日 [ファシリテーター養成研修3]「対話型鑑賞の理論と実践」 鳥取県立博物館
 2023年 8月10日 [ワークショップ]「ステンドカラーシートを使って」境港市立余子公民館
 2023年 8月18日 [ワークショップ]「オリジナルエコバックをつくろう！」米子市立春日公民館
 2023年 8月23日 [教員研修] 図画工作科実技研修 県立米子養護学校
 2023年 9月14日 [対話鑑賞ファシリテーション] 日南町美術館
 2023年 9月21日 [コレクション宅配便] 伯耆町立岸本中学校
 2023年10月 7日 [ファシリテーター養成研修4]「ナラティブな対話で育てる関係性」鳥取短期大学
 2023年10月 7日 [ファシリテーター養成研修5]「直前研修」鳥取県立博物館
 2023年10月17日 [職員研修・ワークショップ] 綾部市立八田中学校
 2023年10月29日 [汽水域アートシェアリング2023トリノフォーラム] トークセッション 鳥取県立図書館
 2023年10月31日 [コレクション宅配便] 米子市立和田小学校
 2023年11月 2日 [レクチャー&ワークショップ]「体験授業会 美術科」倉吉交流プラザ・県立美術館
 2023年11月 8日 [中部地区小学校教育研究会図工部会 指導助言]「オブジェに変身！」琴浦町立浦安小学校
 2023年11月 9日 [教員研修 講師] 鳥取県中学校教育研究会美術部会 東部地区教員研修会 鳥取県立博物館
 2023年11月21日 [教員研修 講師] 鳥取県高等学校教育研究協議会美術・工芸部職員研修会講師 倉吉総合産
 業高等学校
 2023年12月12日 [ワークショップ]「廃棄ポスターで龍をつくろう！」鳥取市教育センターすなはま
 2023年12月16日 [トークイベント]「赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダイス」鳥取県立博物館
 2023年12月17日 [ワークショップ] 子育て王国関連「しおりをつくろう！」米子市コンベンションセンター
 2023年12月 9日 [県指導主事研修 講師]「対話鑑賞・朝鑑賞とは」中部総合事務所
 2023年12月20日、2024年 3月 8日 [アーティストとつくろう!][お茶碗づくりに挑戦!] 岩美町立岩美小学校
 2024年 1月19日 [コレクション宅配便] 若者ミーティング 中部総合事務所
 2024年 1月27日 [ワークショップ]「紙コップ20000個でアート！」境港市市民交流センター みなとテラス
 2024年 1月30日 [コレクション宅配便] 鳥取市立若葉台小学校
 2024年 1月31日 [コレクション宅配便] 青翔開智
 2024年 2月 5日 [校内授業研究会 指導助言]「音づくりフレンズ」琴浦町立浦安小学校
 2024年 1月24日 [Walk View で対話鑑賞授業]「絵の中に入ってみよう！」第1学年 岩美高等学校
 2024年 2月11日 [朝鑑賞シンポジウム] 鳥取県立博物館 講堂
 2024年 2月21日 [校内授業研究会 指導助言]「対話鑑賞」米子市立後藤ヶ丘中学校
 2024年 2月24日 [福祉研究会 ポスター発表] 鳥取看護大学
 2023年10月 -12月 [バス招待事業] 県内小学校14校、18件、869名 鳥取県立博物館 展示室他

【その他】

2023年 4月・9月 文化芸術活動支援補助金審査 県庁
 2023年 8月 4日 東部子ども造形展審査・講評 福部未来学園
 2023年10月 5日 鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画審査 鳥取県庁
 2023年10月24日 鳥取県未来科学の夢絵画展審査 鳥取県産業振興機構
 2023年 4月～2024年 3月 鳥取大学附属小学校 図画工作科 共同研究 指導助言等

外村 文 TONOMURA, Aya

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著書】

外村文 (2023) 博物館だより「五感を使う造形遊び」日本海新聞 (鳥取) 2023/8/10
 外村文 (2023) 博物館だより「みんなでつくる展覧会」日本海新聞 (鳥取) 2023/10/12
 外村文 (2023) 博物館だより「多様性を認め合う一朝鑑賞を考えるシンポ」日本海新聞 (鳥取) 2024/2/29

■博物館事業・その他

【普及的事業】

2023年 5月11日 [コレクション宅配便] 鳥取看護大学 1年 鳥取短期大学アリーナ
 2023年 5月21日 [コレクション宅配便] 境港市市民交流センター みなとテラス
 2023年 5月31日 [自然分野×美術分野 コラボ授業]「泥でアート」琴浦町立浦安小学校
 2023年 6月 7日 [校内授業研究会 指導助言]「泥でアート」琴浦町立浦安小学校
 2023年 6月 8日 [学芸員派遣]「対話鑑賞を楽しもう！」琴浦町立浦安小学校 3年、4年
 2023年 6月13日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学 国際交流学科 1年 鳥取短期大学アリーナ
 2023年 6月18日 [ファシリテーター養成講座①] 鳥取県立博物館
 2023年 6月20日 [学芸員派遣] 鳥取短期大学 国際交流学科 1年
 2023年 6月22日 [Walk View で対話鑑賞授業]「絵の中に入ってみよう！」第1学年 青翔開智中学校

- 2023年 6月27日 [学芸員派遣] 鳥取短期大学 国際交流学科 1年
 2023年 7月 7日 [コレクション宅配便] 奥大山江府学園 8年生 奥大山江府学園日野川校舎
 2023年 7月11日 [コレクション宅配便] 第2学年 境港市立第二中学校
 2023年 7月19日 [コレクション宅配便] 第3学年 八頭町立郡家西小学校
 2023年 8月 1日 [教員研修] 西伯郡・日野郡小学校教育研究会 (図画工作科研修) 大山町立名和小学校
 2023年 8月 6日 [ファシリテーター養成講座③] 鳥取県立博物館
 2023年 8月 8日 [学芸員派遣] 「スタンプであそぼ！」 境港市中浜公民館
 2023年 8月18日 [学芸員派遣] 「オリジナルエコバックをつくろう！」 米子市春日公民館
 2023年 8月23日 [教員研修] 図画工作科実技研修 県立米子養護学校
 2023年 9月 7日 [学芸員派遣] 「みんなで描こう！大きな画面」 鳥取市立逢坂小学校
 2023年 9月14日 [学芸員派遣] 「対話鑑賞を楽しもう！」 日南町美術館
 2023年 9月21日 [コレクション宅配便] 第3学年 伯耆町立岸本中学校
 2023年 9月29日 [コレクション宅配便] 米子市永江地区公民館
 2023年10月 7日 [ファシリテーター養成講座④] 鳥取短期大学
 2023年10月16日 [ファシリテーター養成講座⑤-1 (バス招待事業直前研修)] 鳥取県立博物館
 2023年10月19, 20日 [展覧会関連企画: 赤ちゃんと楽しむ作品鑑賞-はじめの一步] 鳥取県立博物館 展示室
 2023年10月31日 [コレクション宅配便] 全校児童 米子市立和田小学校
 2023年11月 8日 [中部地区小学校教育研究会図工部会 指導助言] 「オブジェに変身！」 琴浦町立浦安小学校
 2023年11月26日 [ファシリテーター養成講座⑤-2 (バス招待事業直前研修)] 鳥取県立博物館
 2022年11月28日 [教員研修] 【全教科/対話による深い学び】「なぜ今、ミュージアムで新しい学びなの？
 ~ミュージアム思考をとおして考える“生きる意味を創造する学び”とは~」 鳥取県立博物館 展示室他
 2023年10月 - 12月 [バス招待事業] 県内小学校14校、18件、869名 鳥取県立博物館 展示室他
 2023年12月19日 [研修講座] 鳥取県指導主事等研修会 (対話鑑賞) 中部総合事務所
 2024年 1月19日 [コレクション宅配便] 中部総合事務所若者ミーティング
 2024年 1月24日 [Walk View で対話鑑賞授業] 「絵の中に入ってみよう！」 第1学年 岩美高等学校
 2024年 1月27日 [ワークショップ] 「紙コップでアート！」 境港市市民交流センター みなとテラス
 2024年 1月30日 [コレクション宅配便] 全校児童 鳥取市立若葉台小学校
 2024年 1月31日 [コレクション宅配便] 第1学年 青翔開智高等学校
 2024年 2月 5日 [校内授業研究会 指導助言] 「音づくりフレンズ」 琴浦町立浦安小学校
 2024年 3月 9日 [ワークショップ] 「窓を彩ろう!!」 岩美東地区公民館

山田 修平 YAMADA, Shuhei

学芸員

美術振興課 調査担当 担当：近世美術・近代日本画

■印刷物

【著書・論文】

- 山田修平編 (2024) 『鳥取県立博物館令和5年度企画展 生誕200年 根本幽峨 一近世鳥取画壇の黄金時代最後の華一』 (展覧会図録), 鳥取県立博物館, 2024.
 山田修平 (2024) 「概説 根本幽峨」『鳥取県立博物館令和5年度企画展 生誕200年 根本幽峨 一近世鳥取画壇の黄金時代最後の華一』 (展覧会図録), 鳥取県立博物館, 2024. pp. 16 - 26.

【短報・目録・その他】

- 山田修平 (2024) 作品解説 二四・二六・四五・六七 『鳥取市文化財調査報告書37 大雲院資料調査報告書【二】 美術工芸編 (第一冊 絵画作品の部・彫刻作品の部)』, 鳥取市教育委員会
 山田修平 (2024) 「視点：近世鳥取画壇の『黄金時代』最後期を飾る画家・根本幽峨」『美術の窓』 No. 486, 生活の友社

【普及的著作】

- 山田修平 (2023) 「美ありて：爽やかな初夏・江戸の粹『紫陽花に小禽図』沖一峨」朝日新聞 (鳥取) 2023/6/20
 山田修平 (2023) 「博物館だより：根本幽峨の作品を『読む』」日本海新聞 (鳥取) 2023/9/14
 山田修平 (2023) 「企画展:生誕 200 年 根本幽峨 NEMOTO Yūga 一近世鳥取画壇の『黄金時代』最後の華一」 鳥取県立博物館ニュース, No. 35
 山田修平 (2024) 「博物館だより：壮麗にして絢爛・若き日の YUGA ワールド『根本幽峨展』10日から開幕」 日本海新聞 (鳥取), 2024/2/8
 山田修平 (2024) 「美ありて：古典を参照・独自の作品に『琴棋書画図』 根本幽峨」朝日新聞 (鳥取) 2024/2/20
 山田修平 (2024) 「博物館だより：江戸を懐かしんで『生誕200年 根本幽峨』展」日本海新聞 (鳥取) 2024/3/7

山田修平（2024）「企画展『生誕200年 根本幽峨』鑑賞ガイド」鳥取県立博物館

■博物館事業

【展示】

2023年 4月15日～ 5月14日 令和5年度 鳥取県立博物館 美術部門テーマ展「Sense of Size —大きさという視点からアートを読み解くと—」. 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室.

2024年 2月10日～ 3月20日 令和5年度企画展「生誕200年 根本幽峨 —近世鳥取画壇の黄金時代最後の華—」. 鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室.

【普及的事業】

2023年 9月16日 アートセミナー「館蔵品を読み解く：近世絵画編 根本幽峨の作品を読み解く」：鳥取県立博物館会議室

2024年 2月10日 根本幽峨展関連プログラム ギャラリートークⅠ：鳥取県立博物館特別展示室1・2・3

2024年 2月23日 根本幽峨展関連プログラム ワークショップⅡ「体験！体感？日本美術のミカタ for ビギナーズ①《内裏雛図》でミニ掛軸を作る編」：鳥取県立博物館会議室

2024年 2月24日 根本幽峨展関連プログラム 特別講演会Ⅰ 講師／山下真由美「鳥取画壇よもやま話—鳥取藩絵師・根本幽峨誕生の背景—」：鳥取県立博物館講堂

2024年 3月 9日 根本幽峨展関連プログラム 特別講演会Ⅱ 講師／門脇むつみ「根本幽峨の画業—狩野派に学び藩絵師としてはばたく—」：鳥取県立博物館講堂

2024年 3月16日 根本幽峨展関連プログラム ギャラリートークⅡ：鳥取県立博物館特別展示室1・2・3

2024年 3月16日 根本幽峨展関連プログラム ワークショップⅡ「体験！体感？日本美術のミカタ for ビギナーズ②《楼閣山水図屏風》でミニ屏風を作る編」：鳥取県立博物館会議室

■研究発表・その他

2024年 1月20日 「根本幽峨の画業と修業期の絵画学習」美術史学会西支部例会

2023年度 大雲院資料調査委員会 委員

◎ 附 録

1 沿 革

昭和22年4月1日	鳥取県立公民館規程の制定により鳥取県立鳥取図書館内に鳥取県立公民館が併置され、図書部、科学部、集会部がおかれる。 科学部は「科学研究館」として運営。
昭和24年7月1日	鳥取県立公民館規程が廃止され、鳥取県立科学館設置条例に基づき「鳥取県立科学館」が設置される。
昭和24年7月23日	仁風閣に移転。物理、電気、化学、地学、生物の5部門からなる指導研究室を設置。
昭和27年7月1日	昭和27年7月博物館法の施行により、同法に基づく博物館相当施設として文部大臣の指定を受ける。
昭和29年7月1日	登録博物館となる。
昭和29年7月1日	鳥取県立科学博物館規程の制定により「鳥取県立科学博物館」と改称。
昭和30年5月	考古指導研究室設置。
昭和30年7月	教育研究所等の転出により仁風閣を全館使用。
昭和31年7月1日	鳥取県立科学博物館に庶務係及び指導調査係を設置。
昭和38年3月31日	理工学部門（物理、電気、化学）の廃止。
昭和38年4月1日	民俗部門の設置により生物、地学、考古、民俗の4部門となる。
昭和39年9月6日	文化センター建設調査費を計上し、施設構想を検討。
昭和43年9月10日	文化センター敷地について、鳥取市公設運動場と二の丸公園を充てることで知事と鳥取市長が合意。
昭和44年4月2日	文化施設の建設促進のため、県に鳥取県立文化施設促進協議会を設置。
昭和44年5月30日	株式会社日建設計に建設構想図の作成を依頼。
昭和45年9月15日	鳥取県立博物館の実施設計完了。
昭和45年10月20日	建設工事着工（建設費総額 11億2,904万6千円）。
昭和46年4月1日	鳥取県立科学博物館に美術係を設置。
昭和47年4月1日	鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改称、組織も、管理課（庶務係、設備係）、学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
昭和47年4月1日	西本真一 県立鳥取東高等学校長が 館長に就任。
昭和47年5月31日	建設工事竣工。
昭和47年10月1日	鳥取県立博物館竣工式、開館式挙行。
昭和48年	仁風閣を鳥取市に委譲。
昭和50年4月1日	木代彰 県教育長が館長に就任。
昭和51年12月14日	西尾優 県教育長が館長事務取扱。
昭和52年4月1日	前田壽男 県教育次長が館長に就任。
昭和56年4月1日	山根幸恵 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年4月1日	河田晃 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
昭和58年4月1日	学芸課の係を再編成し、自然係、美術係、人文係とする。
昭和58年4月1日	考古・民俗展示室を歴史・民俗展示室に改編。
昭和60年4月1日	松本兵衛 県立鳥取図書館長が館長に就任。
昭和60年6月11日	近代美術展示室を開設。
昭和60年11月3日	皇太子殿下・同妃殿下が、第21回全国身体障害者スポーツ大会行啓の際当館を御視察。
昭和61年6月8日	中国河北省友好訪日団（河北省長ほか5名）来館視察。
昭和62年4月1日	長石肇 県教育次長が館長に就任。
平成4年4月1日	國岡靖夫 県立倉吉東高等学校長が館長に就任。
平成5年11月15日	文化課に県立美術館基本構想検討委員会を設置。
平成6年6月8日	鳥取県立博物館改修計画策定委員会を設置。

平成8年3月28日	鳥取県立博物館の改修について教育長へ提言。
平成9年4月1日	西垣幸信 県立鳥取盲学校長が館長に就任。
平成10年6月16日	中国河北省博物館友好交流団(李吉樹館長ほか4名)が来館。 鳥取県立博物館において、河北省博物館と「友好交流館締結協定書」に調印。
平成10年8月7日～11日	第22回全国高等学校総合文化祭(美術・工芸部門)開催。
平成11年2月8日	熱源機器改修工事完成(平成10年6月着工)。
平成12年9月12日	中国河北省博物館友好交流団(李宏傑副館長ほか5名)が来館。
平成13年4月1日	渡瀬由章 県立鳥取農業高等学校長が館長に就任。
平成13年10月4日	バリアフリー工事着工。
平成14年4月1日	機構改革により美術振興課設置。(文化課・美術館整備調査室及び学芸課美術係の組織再編)
平成14年4月10日	バリアフリー工事完成。
平成14年10月13日～27日	第17回国民文化祭・とっとり2002「美術展(日本画・洋画)」開催。
平成14年11月2日	開館30周年記念事業実施。
平成15年3月16日	高円宮妃殿下が故高円宮さま「素顔の一瞬」(仁風閣)鳥取展の際御来館、御視察。
平成15年4月1日	谷口博繁 国民文化祭推進局長が館長に就任。
平成16年4月1日	管理課を総務課に改称。
平成17年4月1日	本庁化となる。併せて、学芸課、美術振興課の係を廃し、担当制となる。
平成18年4月1日	三田清人 文化観光局長が館長に就任。
平成18年4月1日	山陰海岸学習館及び遠山正瑛資料室が新たに附置される。
平成19年7月	久松山、建物及びお堀をイメージしたロゴ・マークを作成。
平成19年9月	空調設備改修工事・アスベスト撤去工事着工。
平成20年3月	アスベスト撤去工事完成。
平成21年4月1日	森谷邦彦 県立県民文化会館館長が館長に就任。
平成21年4月1日	開館時間延長を始める。
平成21年10月	山陰海岸学習館リニューアル整備の着工。
平成22年1月	空調設備改修工事完成。
平成22年4月1日	運転監視及び設備保全業務の外部委託開始に伴い、設備係を2名削減する。
平成22年4月24日	山陰海岸学習館リニューアルオープン。
平成22年9月12日	ロシアアルセーニエフ名称沿海地方博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成22年12月10日	韓国江原道国立春川博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成23年7月	博物館カフェリニューアルオープン。(株式会社グラン・クリュ工房(カフェ・ダール・ミュゼ))
平成23年12月1日	韓国江原道国立春川博物館と「職員相互派遣に関する合意書」を締結。
平成24年3月	山陰海岸学習館屋外トイレ棟増築。 山陰海岸学習館ハートフル駐車場の屋根及び玄関までの通路上屋設置。
平成24年4月1日	山内有明 県立鳥取工業高等学校長が館長に就任。
平成25年1月14日	山陰海岸学習館で3D映像「大地と海の物語」上映開始。
平成25年2月2日	開館40周年記念事業実施。
平成25年10月9日	秋篠宮同妃両殿下が平成25年度全国都市緑化祭の際山陰海岸学習館御来館、御視察。
平成26年1月	山陰海岸学習館屋外倉庫新築。
平成26年3月4日	山陰海岸学習館で3D映像「神秘と生命(いのち)の物語」上映開始。
平成26年3月17日	「山陰海岸学習館の在り方について」の報告書を教育長に提言。
平成26年4月1日	大場尚志 東京本部長が館長に就任。
平成26年6月	山陰海岸学習館EV充電器設置。
平成26年6月27日	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会を設置。
平成26年11月1日～2日	秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下が第14回全国障がい者芸術・文化祭とっ

	とり大会の際御来館
平成26年12月	山陰海岸学習館屋上防水他工事完成。
平成27年3月	鳥取県立博物館劣化診断・改修計画策定業務完了。
平成27年3月26日	「山陰海岸学習館の機能充実に向けた対策基本計画」策定
平成27年4月7日	「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」を教育長に提言。
平成27年6月26日	博物館等地方独立行政法人制度研究会を設置。
平成27年7月1日	総務課に「美術館整備推進担当」を設置。
平成27年7月17日	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会を設置。
平成28年2月2日	山陰海岸学習館でダイオウイカ標本の展示公開。
平成28年2月17日	鳥取県立美術館整備基本構想における建設候補地について、鳥取県立美術館候補地評価等専門委員による現地調査及び条件適合性の評価を開始。
平成28年3月29日	「山陰海岸学習館の展示更新等の計画」策定。
平成28年4月1日	山陰海岸学習館を生活環境部に移管。山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館として、新生岩美町立渚交流館と一体的な運営を開始。
平成28年4月1日	行政財産使用許可期間満了によるカフェ事業者公募により、株式会社グラン・クリュ食工房（カフェ・ダール・ミュゼ）が引き続き選定され、営業開始。
平成28年10月	美術館整備に関する県民意識調査を実施。
平成28年12月	外壁等改修工事完成。
平成29年1月	美術館の建設場所に関する県民意識調査を実施。
平成29年3月3日	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本構想を決定。
平成29年3月	県議会において、建設場所（倉吉市営ラグビー場）を含む基本構想を基にした基本計画策定及びPFI手法導入可能性調査等の実施経費予算が議決。
平成29年4月1日	田中規靖 県教育委員会次長が館長に就任。
平成29年4月1日	総務課美術館整備推進担当を総務課から切り離し、「美術館整備準備室」を設置。
平成29年8月	鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会を設置。
平成30年3月	鳥取県立美術館整備基本計画（中間まとめ）を策定。
平成30年7月	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本計画を策定。
平成30年9月14日	鳥取県立博物館開館50周年記念事業検討プロジェクトチーム設置。
平成30年11月20日	鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（美術館整備運営事業）を設置。
平成31年3月19日	鳥取県立美術館（仮称）整備運営事業実施方針の策定、公表。
令和元年7月4日	鳥取県立美術館の設置等に関する条例の制定。
令和元年7月17日	鳥取県立美術館整備運営事業の特定事業の選定、公表。
令和2年3月	鳥取県立美術館整備運営事業者との事業契約の締結及び指定管理者の指定。
令和2年3月31日	美術館整備準備室を廃止。
令和2年4月1日	（倉吉未来中心内に美術館整備局美術館整備課を新設）
令和3年4月1日	尾崎信一郎 副館長が館長に就任。
令和3年4月1日	行政財産使用許可期間満了によるカフェ事業者公募により、株式会社グラン・クリュ食工房（カフェ・ダール・ミュゼ）が引き続き選定され、営業開始。
令和3年12月26日	文化財保護法第53条の規定に基づく公開承認施設として承認。
令和4年	開館50周年を迎える。開館50周年記念事業実施。
令和4年4月1日	漆原芳彦 美術館整備局次長が館長に就任。
令和4年8月28日	企画展「ティラノサウルス展」が、企画展の入場者数の新記録（52,297人）を達成。（8月28日閉幕時には64,139人に到達）
令和4年10月16日	開館以来の常設展入場者数200万人達成。
令和5年4月1日	博物館法の一部改正施行。
令和5年4月1日	博物館の登録に関する規則（県）の一部改正施行。
令和5年8月1日	総務課に改修担当を設置。
令和5年9月20日	博物館法の一部改正に伴う登録博物館として再登録。

2 施設の概要

(1) 鳥取県立博物館

〈規模〉

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、一部3階

面積 敷地面積 14,228㎡

建築面積 3,576㎡

延床面積 9,699㎡

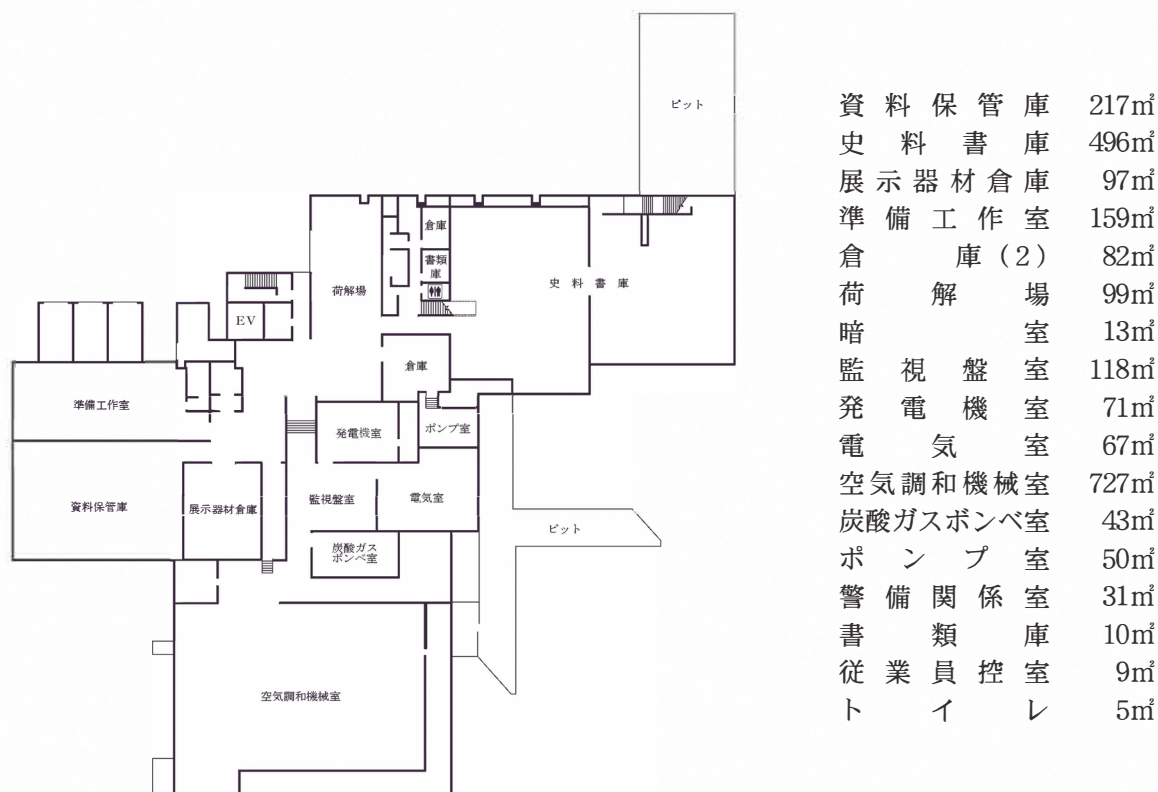
地階 2,668㎡ 1階 3,623㎡ 2階 2,606㎡ 3階 706㎡

屋上階 58㎡ 屋外倉庫(別棟) 38㎡

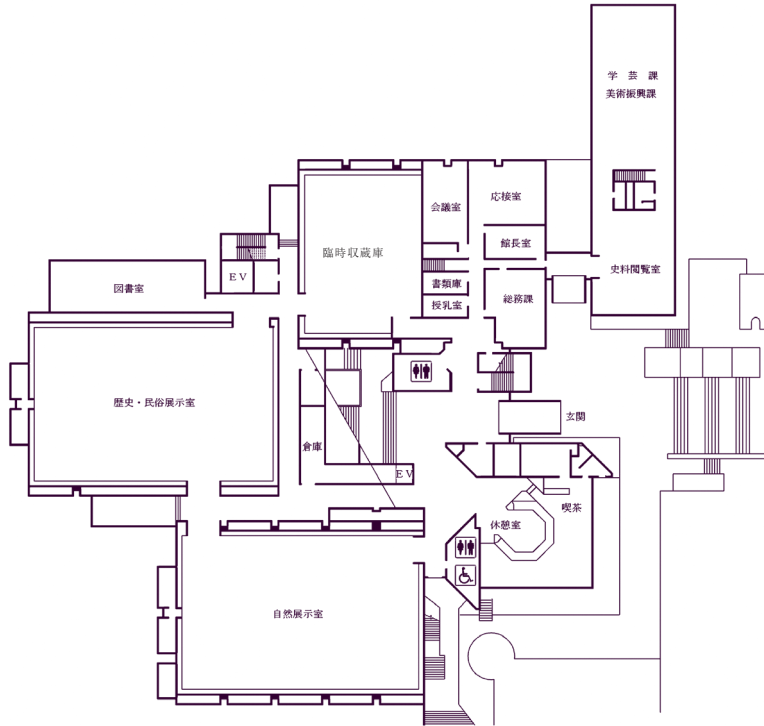
〈主要設備〉

- ① 空気調和設備(温湿度調整)
- ② 収蔵庫、常設・特別展示室、炭酸ガス消火設備 50kgボンベ 112本
- ③ 予備発電設備 6,600V・250KVA
- ④ エレベーター設備 人荷用:定員 59名、積載荷重 3,900kg、1基
乗用:定員 11名、積載荷重 750kg、1基

地階平面図

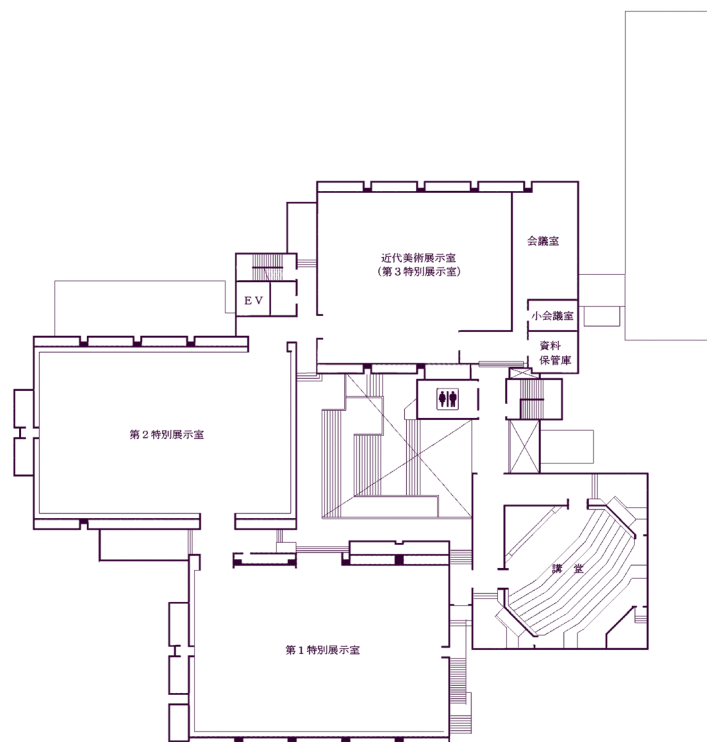


1階平面図



自然展示室	515㎡
歴史・民俗展示室	515㎡
臨時収蔵庫	260㎡
喫茶・休憩室	182㎡
休憩室(2)	66㎡
応接室	60㎡
館長室	26㎡
総務課	68㎡
学芸・美術振興課	170㎡
史料閲覧室	111㎡
図書室	108㎡
会議室	50㎡
書類庫	10㎡
授乳室	14㎡
倉庫(階段下)	110㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
トイレ(2)	49㎡

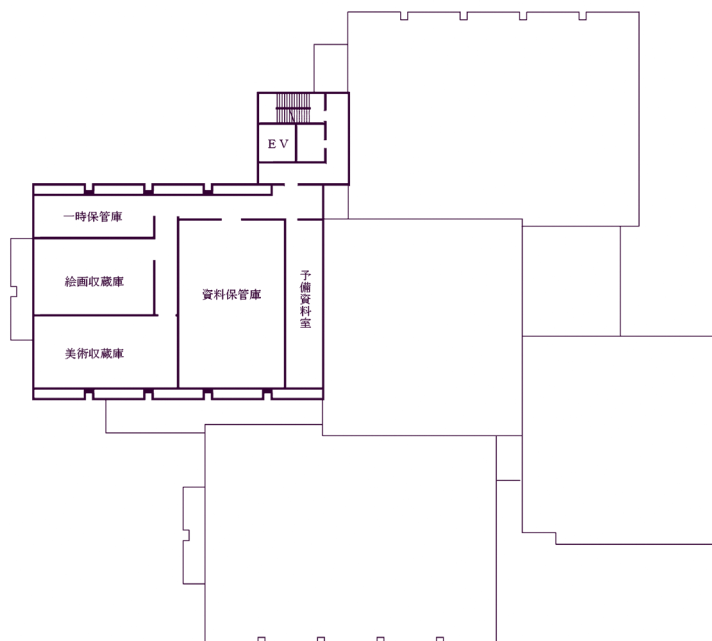
2階平面図



第1特別展示室	515㎡
第2特別展示室	515㎡
近代美術展示室 (第3特別展示室)	374㎡
講堂・映写室	206㎡
会議室・小会議室	107㎡
資料保管庫	22㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
休憩室(2)	66㎡
トイレ	30㎡

3階平面図

収 蔵 庫 258㎡
資 料 保 管 庫 172㎡
予 備 資 料 室 60㎡



3 昭和47年度～令和5年度利用統計

年度	区分	常設展			特別展			別展			普及活動		研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開館日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室	
昭和47年度 (148日)	個人	16,804	4,231	44,662	65,697	開館記念	22										
	団体	23,831	4,714	6,947	35,492	郷土美術名作展 (10.1～10.22)					1,686	83	32,954	1,431			
	計	40,635	8,945	51,609	101,189												
昭和48年度 (306日)	個人	10,083	2,109	23,891	36,083	第4回 日展 (4.7～4.29)	23	9,072	6,148	15,126	30,346						
	団体	14,289	214	5,137	19,640	日本伝統工芸秀作展 (5.8～5.21)	14	964	309	3,953	5,226						
	計	24,372	2,323	29,028	55,723	郷土の美術展 } 世界の蝶展 } (9.30～10.21) 計	22	5,792	1,464	4,751	12,007	1,700	608	58,311	4,009		
昭和49年度 (307日)	個人	8,858	1,539	21,225	31,622	前田寛治とその仲間展 (4.28～5.19)	22	2,804	1,631	3,666	8,101						
	団体	12,967	582	5,283	18,832	人類の進化と旧石器展 (7.28～8.26)	30	4,341	831	5,018	10,190						
	計	21,825	2,121	26,508	50,454	日本近世の美術工芸展 (10.13～11.4) 計	23	3,360	1,732	5,747	10,839	2,855	621	56,738	3,603		
昭和50年度 (310日)	個人	8,594	1,430	22,815	32,839	郷土名刀展 (5.11～6.1)	22	745	255	3,092	4,092						
	団体	11,246	1,287	5,362	17,895	鳥取の明治風俗展 (8.2～8.31)	30	2,783	407	4,951	8,141						
	計	19,840	2,717	28,177	50,734	鉄斎展 (10.18～11.9) 計	23	2,902	1,171	5,774	9,847	2,975	755	23,212	2,904		
昭和51年度 (311日)	個人	7,097	1,088	18,097	26,282	世界の貝展 (4.16～5.30)	45	11,047	1,932	10,369	23,348						
	団体	10,102	274	7,157	17,533	松方コレクション展 (10.9～11.7)	30	15,804	10,202	26,290	52,296	2,231	618	83,822	4,803		
	計	17,199	1,362	25,254	43,815			26,851	12,134	36,659	75,644						

年度	区分	常設展			特展		別展				普及活動		研究相談	小計	許可利用		合計	
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室		講堂・会議室
昭和52年度 (314日)	個人	6,633	1,072	21,001	28,706	21	第8回日展 (4.29～5.19) 文化庁買上	6,219	2,557	13,035	21,811	人	人	人	人	人	人	
	団体	9,983	1,443	5,606	17,032	22	優秀美術作品展 (8.6～8.26)	1,338	339	3,454	5,131	973	984	1,481	101,701	7,594	5,425	13,019
	計	16,616	2,515	26,607	45,738	30	失われた生物展 (10.8～11.6)	16,233	1,604	7,746	25,583	4,500	52,525					
昭和53年度 (312日)	個人	6,885	1,062	22,959	30,906	23	近代日本画名作展 (4.29～5.21)	4,064	1,519	6,585	12,168							
	団体	11,454	1,974	6,629	20,057	29	世界の現代陶芸展 (7.20～8.17)	782	360	2,091	3,233	2,008	1,150	1,425	82,664	37,614	6,600	44,214
	計	18,339	3,036	29,588	50,963	30	縄文の文化展 (10.7～11.5)	6,793	1,085	3,839	11,717	2,964	27,118					
昭和54年度 (312日)	個人	6,676	924	25,049	32,649	23	山陰の仏教美術展 (4.28～5.20)	2,741	671	5,636	9,048							
	団体	10,412	1,331	7,607	19,350	23	科学者レオナルド・ダ・ビンチ展 (8.4～8.26)	4,459	656	5,380	10,495							
	計	17,088	2,255	32,656	51,999	15	日本海100万年展 (10.6～11.4)	8,744	775	4,624	14,143	2,576	545	1,482	94,044	65,403	7,918	73,321
昭和55年度 (309日)	個人	7,768	919	22,776	31,463	30	日本の人形文化展 (4.26～5.25)	2,504	442	3,980	6,926							
	団体	10,135	2,927	4,970	18,032	23	第11回日展 (6.14～7.6)	2,390	742	9,170	12,302	850	456	1,412	77,969	32,357	4,729	37,086
	計	17,903	3,846	27,746	49,495	22	関西洋画の名作展 (10.18～11.9)	2,970	495	3,063	6,528	1,679	25,756					
昭和56年度 (309日)	個人	10,674	959	26,525	38,158	23	近世の衣裳美展 (4.25～5.17)	960	537	3,566	5,063							
	団体	13,210	1,885	5,831	20,926	16	鳥取県1000年展 (9.12～9.27・10.4～ 10.11・10.21～10.28)	(7,393) 20,346	(352) 552	(7,696) 12,049	(15,441) 32,947							
	計	23,884	2,844	32,356	59,084	21	日本の美展 (10.25～11.15)	4,315	961	4,246	9,522	800	1,012	1,591	110,019	30,606	4,000	34,606

年度	区分	常設展			特展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講堂	会議室	
昭和57年度 (297日)	個人	7,142	625	20,152	27,919	生きてゐる化石展 (4.28～5.23)	26	10,117	583	7,731	18,431	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	7,078	1,058	4,180	12,316	藩政時代の写生画と文人画展 (8.7～8.29)	23	655	70	3,542	4,267	879	551	73,884	5,850	32,610	106,494		
	計	14,220	1,683	24,332	40,235	内外美術名作展 (10.1～10.17)	17	14,177	1,147	15,543	30,867								
						計													
昭和58年度 (298日)	個人	4,641	450	15,817	20,908	世界の児童画展 (4.29～5.29)	27	7,120	130	3,106	10,356								
	団体	7,914	1,332	3,783	13,029	地球のふしぎ展 (7.16～8.21)	32	3,966	218	3,921	8,105	559	3,656 (3,110)	936	63,316 (3,110)	20,186	5,980	26,166	89,482 (3,110)
	計	12,555	1,782	19,600	33,937	辻晋堂展 (9.23～10.23)	27	14,015	763	9,450	24,228								
						計													
昭和59年度 (306日)	個人	5,134	578	17,227	22,939	はにわ展 (4.28～5.27)	27	7,519	292	3,266	11,077								
	団体	5,878	646	3,953	10,477	京の染展 (7.7～7.29)	20	231	278	1,592	2,101	848	2,785 (2,115)	1,057	59,884 (2,115)	11,636	6,435	18,071	77,955 (2,115)
	計	11,012	1,224	21,180	33,416	近代日本美術の巨匠展 (10.6～11.4)	26	3,997	284	4,319	8,600								
						計													
昭和60年度 (301日)	個人	4,957	642	21,486	27,085	神々の美術展 (4.27～5.26)	27	1,412	197	3,206	4,815								
	団体	5,594	853	4,344	10,791	昆虫の世界展 (7.26～8.25)	27	6,238	146	6,083	12,467	935	2,820 (2,562)	1,117	60,030 (2,562)	28,773	5,240	34,013	94,043 (2,562)
	計	10,551	1,495	25,830	37,876	計		7,650	343	9,289	17,282								
						計													
昭和61年度 (303日)	個人	5,550	621	22,631	28,802	山陰の大名展 (4.26～5.25)	27	4,035	465	7,386	11,886								
	団体	6,166	939	5,332	12,437	日本近代洋画の歩み展 (10.7～11.3)	26	2,961	756	4,724	8,441	1,449	4,501 (4,170)	1,211	68,727 (4,170)	35,379 (2,462)	6,020	41,399 (2,462)	110,126 (6,632)
	計	11,716	1,560	27,963	41,239	計		6,996	1,221	12,110	20,327								
						計													

年度	区分	常設展			特展		別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室	
昭和62年度 (305日)	個人	4,960	562	23,181	28,703	27	狩野派の名宝展 (4.25～5.24)	1,568	611	6,695	8,874	人	人	人	人	人	114,205 (5,720)
	団体	7,335	954	9,091	17,380	26	恐竜と鳥獣の歴史展 (8.1～8.30)	8,306	258	9,813	18,377	1,766	1,064 (761)	21,757 (4,959)	8,936	30,693 (4,959)	
	計	12,295	1,516	32,272	46,083	18	開港への序曲展 (9.6～9.23)	2,393	142	3,612	6,147						
昭和63年度 (301日)	個人	7,976	750	30,344	39,070	26	近代版画のあけぼの展 (4.23～5.22)	1,579	42	2,166	3,787	人	人	人	人	人	115,547 (8,023)
	団体	5,583	841	8,091	14,515	28	くらしを支える匠の世界展 (10.7～11.6)	3,126	120	3,140	6,386	1,347	6,228 (6,071)	33,827 (1,952)	9,178	43,005 (1,952)	
	計	13,559	1,591	38,435	53,585		計	4,705	162	5,306	10,173						
平成元年度 (306日)	個人	5,303	702	27,696	33,701	28	山陰の海展 (7.28～8.27)	2,954	155	4,757	7,866	人	人	人	人	人	122,326 (16,498)
	団体	8,720	807	9,123	18,650	27	現代美術の創造者たち展 (10.10～11.9)	2,142	87	2,728	4,957	1,263	14,942 (14,834)	28,743 (1,664)	11,010	39,753 (1,664)	
	計	14,023	1,509	36,819	52,351		計	5,096	242	7,485	12,823						
平成2年度 (304日)	個人	5,011	700	25,818	31,529	21	濱田台児展 (4.28～5.20)	615	77	3,626	4,318	人	人	人	人	人	122,169 (10,365)
	団体	6,002	677	6,722	13,401	28	車弥呼の時代をさぐる展 (7.27～8.26)	2,886	244	5,743	8,873	1,592	7,462 (7,265)	36,522 (3,100)	9,224	45,746 (3,100)	
	計	11,013	1,377	32,540	44,930	27	石橋美術館名品展 (10.5～11.4)	2,445	129	5,547	8,121						
平成3年度 (305日)	個人	4,534	702	27,667	32,903	28	マンモスと人類の時代展 (7.26～8.25)	7,495	356	10,470	18,321	人	人	人	人	人	134,800 (5,888)
	団体	6,790	1,106	7,139	15,035	28	谷文晁とその周辺の画家たち展 (10.5～11.4)	1,306	13	3,278	4,597	1,354	6,161 (5,888)	45,397	9,744	55,141	
	計	11,324	1,808	34,806	47,938		計	8,801	369	13,748	22,918						

年度	区分	常設展			特別展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講義室	計	
平成4年度 (298日)	個人	4,832	627	27,314	人	まつり・獅子と龍 (7.24～8.23)	28	1,096	90	2,847	4,033	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	5,757	992	6,020	人	近代の日本画 (10.9～11.8)	28	1,096	35	3,882	5,013	1,238	3,698 (3,550)	45,683	8,910	54,593	60,684 (3,550)	115,277 (3,550)	
	計	10,589	1,619	33,334	人	計		2,192	125	6,729	9,046								
平成5年度 (303日)	個人	4,836	679	26,943	人	大海獣 (7.30～8.29)	28	3,858	233	6,625	10,716								
	団体	6,276	628	5,710	人	工芸美術の華 (10.9～11.8)	28	665	12	2,257	2,934	1,101	5,616 (5,415)	43,970	6,905	50,875	66,463 (5,415)	117,338 (5,415)	
	計	11,112	1,307	32,653	人	計		4,523	245	8,882	13,650								
平成6年度 (307日)	個人	3,343	477	20,296	人	水木しげると日本の妖怪 (4.23～5.22)	28	3,816	241	8,558	12,615								
	団体	7,193	224	4,701	人	明治維新と鳥取 (10.7～11.6)	28	2,418	43	3,913	6,374	829	2,305 (2,180)	31,633	4,767	36,400	59,219 (2,180)	95,619 (2,180)	
	計	10,536	701	24,997	人	計		6,234	284	12,471	18,989								
平成7年度 (305日)	個人	3,010	480	20,626	人	生命40億年のあゆみ (7.28～8.27)	28	4,669	204	6,929	11,802								
	団体	3,607	364	4,582	人	生涯100年記念・里見勝蔵 (10.6～11.5)	28	74	40	1,546	1,660	931	1,626 (1,466)	28,764	4,425	33,189	50,068 (1,466)	83,257 (1,466)	
	計	6,617	844	25,208	人	計		4,743	244	8,475	13,462								
平成8年度 (311日)	個人	3,646	431	20,677	人	大國主と大黒天 (4.26～5.26)	28	3,05	31	3,210	3,546								
	団体	4,532	792	2,541	人	中西国の画家たち展 (6.8～6.30)	20	54	94	1,967	2,115	1,393 (1,115)	7,774 (7,607)	25,915	3,694	29,609	56,720 (1,115) (7,607)	86,329 (1,115) (7,607)	
	計	8,178	1,223	23,218	人	前田寛治 (9.29～11.4)	32	342	34	3,692	4,068								
						計	1,060	222	12,912	14,194									

年度	区分	常設展			県展	特 別			展 覧			普及活動		研究 相談	小 計	許 可 利 用		合 計		
		小・中学生	高校生	一般		開館 日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講堂・ 会議室			
平成9年度 (318日)	個人					救おう！日本の野生生物 (7.24～8.24)	1,686	97	3,052	31										
	団体	2,889	430	19,934	(第41回)	柴石・応挙と土方稲嶺展 (9.28～10.26)	47	27	4,176	26			1,541 [205]	9,109 (8,767)	837	61,364 [205] (8,767)	48,595	3,423	52,018	
	計	3,495	219	2,273	5,441	開館25周年記念 栄光の近世ヨーロッパ絵画展 (11.9～12.7)	2,182	239	12,775	26										113,382 [205] (8,767)
平成10年度 (305日)	個人					天 狗 と 山 伏 (10.3～11.3)	733	233	3,260	29										
	団体	4,824	499	19,948	(第42回)	戦後日本画の歩み (11.14～12.13)	164	148	3,171	27			1,385 [149]	4,918 (4,717)	1,021	54,257 [149] (4,717)	36,098	3,445	39,543	
	計	3,663	1,416	2,962	5,912	計	897	381	6,431											93,800 [149] (4,717)
平成11年度 (308日)	個人					かむ・さす・かぶれる (7.23～8.22)	4,673	132	8,324	30										
	団体	2,829	301	17,234	(第43回)	民芸運動と岡村吉右衛門 (10.1～10.31)	25	12	2,157	28			1,337 [278]	15,007 (14,762)	1,138	65,188 [278] (14,762)	42,667	4,110	46,777	
	計	3,370	703	2,827	5,119	計	4,698	144	10,481											111,965 [278] (14,762)
平成12年度 (312日)	個人					む き ば ん だ (7.25～8.23)	1,351	140	4,690	29										
	団体	2,971	313	15,778	(第44回)	現代中国の美術 (11.3～12.3)	71	140	2,889	27			2,878 [198]	13,039 (12,838)	902	57,945 [198] (12,838)	29,526	3,471	32,997	
	計	3,136	958	3,540	5,149	計	1,422	280	7,579											90,942 [198] (12,838)
平成13年度 (312日)	個人					トリピー森の大冒険 (7.25～8.22)	1,642	51	3,342	28										
	団体	4,322	704	27,622	(第45回)	現代美術への招待 (10.2～11.2)	382	101	3,101	29			2,073 [180]	11,773 (11,566)	621	67,631 [180] (11,566)	49,917	3,321	53,238	
	計	2,976	651	3,411	4,859	計	2,024	152	6,443											120,869 [180] (11,566)
		7,298	1,355	31,033																

区分 年度	常設					特 別					展 覧					普及活動		研究 相談	小 計	許可利用		合 計
	幼児	小・中 学	高 校	学 生	一 般	計	幼児	小・中 学	高 校	学 生	一 般	計	館内	館外	展示室	講 堂 ・ 会 議 室						
平成14年度 (322日)	個人					人					人				人		人			人		
	団体	4,829	908		20,886	26,623	275	261			3,082	3,618	2,348		36,793	3,029			76,315	39,822	116,137	
	計	1,621	850		3,132	5,603	950	256			6,274	7,480	(1,745)	7,382					(1,745)	(5,832)	(5,832)	
平成15年度 (323日)	個人	1,464	2,813	473	18,277	23,027	7,009	477		11,365	24,087											
	団体	0	2,357	179	2,783	5,319	1,023	18		3,323	4,393	2,292	11,521		41,211	4,095			626	79,715	125,021	
	計	1,464	5,170	652	21,060	28,346	8,032	198		3,019	3,532	17,707	(1,745)	(5,832)					(1,745)	(5,832)	(5,832)	
平成16年度 (333日)	個人	1,911	3,955	426	18,893	25,185	3,914	512		9,357	15,151											
	団体	0	3,127	627	2,161	5,915	113	569		6,054	8,048	3,145	4,820		29,639	2,822			918	67,855	100,316	
	計	1,911	7,082	1,053	21,054	31,100	4,027	1,081		15,411	23,199	(463)	(4,240)						(463)	(4,240)	(4,240)	
平成17年度 (338日)	個人	1,045	2,489	559	17,614	21,707	8,604	422		13,404	27,111											
	団体	317	2,306	726	2,119	5,468	68	960		2,601	4,719	2,271	24,926		27,738	3,408			1,127	94,888	126,014	
	計	1,362	4,795	1,285	19,733	27,735	8,672	1,402		18,327	35,003	(465)	(24,298)						(465)	(24,298)	(24,298)	
平成18年度 (334日)	個人	3,906	7,034	580	17,932	30,403	61	97		2,153	2,371											
	団体	335	2,648	699	1,569	5,324	145	169		6,367	7,609	1,656	24,276		26,682	2,047			472	79,208	107,937	
	計	4,241	9,682	1,279	19,501	35,727	220	725		10,235	12,956	(160)	(23,731)						(160)	(23,731)	(23,731)	

年度	区分	常設展				県展	特別展				普及活動			研究相談		許可利用		合計			
		幼児	小・中学生	高校生	学生		一般	計	幼児	小・中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	小計		展示室	講堂・会議室	
平成19年度 (280日)	個人	2079	3832	568	590	14,308	21,377		35	403	108	64	1,138	1,748							
	団体	435	1,780	101	40	1,183	3,539	(第51回) 3,847	2,101	4,074	375	311	5,900	12,761							
	計	2,514	5,612	669	630	15,491	24,916		2,101	4,074	375	311	5,900	12,761							
									107	1,080	1,217	278	5,170	7,852	2,093 [376]	38,759 (19,590)	577	24,920	1,272	26,192	124,794 [376] (19,590)
平成20年度 (334日)	個人	3,251	6,115	1,119	965	18,024	29,474		90	173	197	160	3,583	4,203							
	団体	86	2,188	413	16	740	3,443	(第52回) 3,686	4,073	7,730	382	340	9,991	22,516							
	計	3,337	8,303	1,532	981	18,764	32,917		34	757	92	100	3,820	4,803							
									60	271	935	289	2,143	3,698	2,322 [614]	7,598 (971)	404	29,924	1,701	31,625	114,483 [614] (971)
平成21年度 (332日)	個人	1,370	3,031	566	918	16,855	22,740		4,264	8,949	1,612	906	20,200	35,931							
	団体	246	2,105	532	163	652	3,698		88	554	459	193	5,064	6,358							
	計	1,616	5,136	1,098	1,081	17,507	26,438		88	638	520	445	3,996	5,687							
									922	3,472	723	259	3,695	9,071	2,551 [761]	8,702 (2,184)	416	38,331	1,800	40,131	105,557 [761] (2,184)
								1,240	5,327	1,825	1,017	17,910	27,319								

区分 年度	常設展				特別展				普及活動				許可利用		合計																							
	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外		研究 相談	小計	展示室	講堂 会議室	計																		
平成22年度 (336日)	個人	1,990	4,276	622	789	16,551	24,228	36	60	132	156	3,346	3,730			人	人	人	人																			
	団体	191	1,476	114	36	844	2,661	1,235	3,529	532	414	5,382	11,092			人	人	人	人																			
	計	2,181	5,752	736	825	17,395	26,889	49	447	30	102	2,053	2,681	3,452	295	57,990	47,808	1,648	49,456																			
																[432]				107,446																		
																				[432]																		
平成23年度 (338日)	個人	3,039	5,639	586	779	19,305	29,348	51	709	61	147	2,998	3,966			人	人	人	人																			
	団体	327	2,706	182	111	1,854	5,180	2,489	4,985	611	498	7,899	16,482			人	人	人	人																			
	計	3,366	8,345	768	890	21,159	34,528	69	463	16	59	1,144	1,751	10,191	236	75,637	22,169	2,200	24,369																			
																[414]				100,006																		
																				[414]																		
平成24年度 (334日)	個人	2,541	4,975	856	1,371	24,819	34,562	165	674	81	218	6,970	8,108			人	人	人	人																			
	団体	343	2,946	467	67	1,472	5,295	2,222	5,028	703	1,126	11,011	20,090			人	人	人	人																			
	計	2,884	7,921	1,323	1,438	26,291	39,857	26	419	206	94	2,171	2,916	2,852	182	82,687	22,806	1,609	24,415																			
																[462]				107,102																		
																				[462]																		
平成25年度 (354日)	個人	2,138	3,532	547	700	19,018	25,935	916	2,226	262	322	4,032	7,758			人	人	人	人																			
	団体	479	1,899	276	40	2,304	4,998	88	472	256	160	8,065	9,041			人	人	人	人																			
	計	2,617	5,431	823	740	21,322	30,933	60	262	37	74	2,677	3,110	4,397	350	63,756	33,354	1,302	34,656																			
																[207]				98,412																		
																				[207]																		

区分 年度	常設展				特 別 展				普及活動			許可利用		合計	
	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	展示室		講堂 会議室
平成26年度 (331日)	個人	2,344	3,988	592	1,239	19,169	60	325	295	217	3,147	4,044	人	人	人
	団体	176	2,524	523	28	1,327	169	230	95	59	2,353	2,906	人	人	人
	計	2,520	6,512	1,115	1,267	20,496	1,468	3,198	265	633	6,162	11,726	66,504 [481]	1,541	15,734
平成27年度 (336日)	個人	5,486	8,541	889	1,095	32,320	92	432	584	157	5,439	6,704	人	人	人
	団体	156	1,799	564	57	1,288	6,198	8,978	525	550	14,253	30,504	人	人	人
	計	5,642	10,340	1,453	1,152	33,608	29	412	52	135	3,556	4,184	27,277 [757]	24,809	27,306 [757]
平成28年度 (331日)	個人	2,208	4,431	504	714	19,406	54	168	67	265	2,932	3,486	人	人	人
	団体	173	1,987	281	218	1,660	1,602	4,259	172	-	7,327	13,360	人	人	人
	計	2,381	6,418	785	932	21,066	87	747	407	192	2,889	4,322	66,311 [443]	998	23,431
平成29年度 (330日)	個人	3,044	4,294	751	932	20,628	78	208	59	173	5,519	6,037	人	人	人
	団体	236	1,778	294	38	1,769	2,276	3,493	233	392	6,124	12,518	人	人	人
	計	3,280	6,072	1,045	970	22,397	63	598	29	-	3,315	4,005	74,564 [627]	1,740	24,476

区分 年度	常設展				特別展				普及活動				許可利用		合計																			
	幼児		小学生		中学生		高校生		一般		計		館内			館外		小計	展示室	講堂 会議室	計													
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体		個人	団体					個人	団体											
平成30年度 (328日)	個人 1,927	団体 206	個人 3,376	団体 2,133	個人 658	団体 32	個人 1,911	団体 3,941	個人 37	団体 1,717	個人 80	団体 3,773	個人 53	団体 239	個人 2,423	団体 6,144	個人 2,593	団体 11,873	個人 2,717	団体 5,358	個人 2,711	団体 36,253	個人 38,964	団体 56,670	個人 [799]	団体 436	個人 56,670	団体 [799]	個人 38,964	団体 95,634	個人 [799]	団体 [799]	個人	団体
令和元年度 (329日)	個人 1,822	団体 330	個人 3,646	団体 2,152	個人 745	団体 45	個人 2,096	団体 4,509	個人 237	団体 993	個人 474	団体 2,287	個人 153	団体 303	個人 5,105	団体 8,841	個人 5,105	団体 8,841	個人 2,927	団体 5,466	個人 2,607	団体 12,811	個人 15,418	団体 65,068	個人 [546]	団体 351	個人 65,068	団体 [546]	個人 15,418	団体 80,486	個人 [546]	団体 [546]	個人	団体
令和2年度 (305日)	個人 2,299	団体 168	個人 4,227	団体 2,467	個人 950	団体 31	個人 2,114	団体 3,520	個人 145	団体 1,074	個人 349	団体 2,256	個人 275	団体 5	個人 6,845	団体 10,455	個人 6,845	団体 10,455	個人 2,790	団体 [261]	個人 500	団体 13,544	個人 14,044	団体 77,286	個人 [261]	団体 215	個人 77,286	団体 [261]	個人 14,044	団体 91,330	個人 [261]	団体 [261]	個人	団体
令和3年度 (321日)	個人 3,055	団体 189	個人 4,627	団体 3,244	個人 818	団体 2	個人 16,167	団体 4,286	個人 47	団体 2,165	個人 270	団体 3,438	個人 422	団体 -	個人 7,376	団体 13,401	個人 7,376	団体 13,401	個人 1,790	団体 [273]	個人 1,512	団体 29,978	個人 31,490	団体 61,452	個人 [273]	団体 155	個人 61,452	団体 [273]	個人 31,490	団体 92,942	個人 [273]	団体 [273]	個人	団体

年度	区分	常設展					特 別 展					普及活動			許可利用		合計		
		小中学生		高校生		学生		幼児		小学生		中学生		高校生		小計		研究 相談	
		幼児	小中学生	高校生	学生	一般	計	計	一般	学生	一般	計	館内	館外	展示室				講堂 会議室
令和4年度 (323日)	個人	5,926	7,235	570	722	14,765	29,218	43	262	49	-	4,351	4,705						
	団体	302	2,256	121	0	1,931	4,610	14,813	16,054	926	-	32,346	64,139						
	計	6,228	9,491	691	722	16,696	33,828	307	1,498	156	290	5,239	7,490	1,464 (1,532)	2,918	9,712	1,651	11,363	128,258 (1,532)
令和5年度 (324日)	個人	3,314	5,276	657	948	13,719	23,914	2,974	7,852	449	508	11,948	23,731						
	団体	234	1,144	166	36	3,467	5,047	170	468	43	122	3,037	3,840						
	計	3,548	6,420	823	984	17,186	28,961	122	1,142	95	-	1,383	2,742	2,841 (2,28)	3,973	11,065	2,574	13,639	83,077 (2,28)

- (1) 普及活動・館内欄の〔 〕は、常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、同欄においては外数、館外欄の()は巡回展入場者数で内数
(2) 許可利用・展示室欄の()は共催展入場者数で内数
(3) 平成19年度から「特別展」を「企画展」に名称変更
(4) 令和2年度企画展「こんには変形菌」の学生5名は学校団体による入場者数であり、その他の学生は一般へ計上
(5) 平成28年度から令和3年度までの企画展に係る、高校生・学生の「-」は一般へ計上
(6) 令和4年度企画展「三蔵法師が伝えたもの」「ティラノサウルス展」「安岡信義」に係る、学生の「-」は一般へ計上
(7) 令和5年度企画展「ミュージアムとの創造的対話04」「根本幽峨」に係る、学生の「-」は一般へ計上

4 昭和47年度～平成18年度催物展（企画展）開催状況

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
S47	鳥取県の民俗年中行事写真展	S48. 3. 3～S48. 3.25	第2展示室	
48	博物館美術資料館蔵品展	S48. 7.31～S48. 8.19	第3展示室	
49	日 本 の 野 鳥 展	S49. 5.21～S49. 6. 9	〃	
	大 工 道 具 展	S50. 3.15～S50. 3.30	〃	
50	日 本 の 野 鳥 展	S50. 4.26～S50. 5. 9	〃	
	美 術 収 蔵 品 展	S50. 6.17～S50. 7.13	〃	
	空から見た郷土写真展	S50. 9.13～S50. 9.24	第2展示室	
	島 田 元 旦 展	S51. 2.24～S51. 3.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 絵 図 展	S51. 3.27～S51. 4.11	〃	
51	郷土に伝わる仏画展	S51. 6.22～S51. 7.11	〃	
	博物館資料鉤物展	S51. 7.27～S51. 8.18	〃	
	発掘展因伯の古代を掘る	S51. 8.24～S51. 9.12	〃	
	失われた漁具展	S51.11.14～S51.11.28	〃	
	公募科学写真展	S52. 3.13～S52. 3.27	第2展示室	
52	日本列島の野鳥展	S52. 5.28～S52. 6.19	第3展示室	
	冬 の 民 具 展	S52.11.12～S52.11.27	〃	
53	山陰海岸の生物展	S53. 5.27～S53. 6.18	〃	
	美術資料館蔵品展	S53. 6.22～S53. 7. 9	第1展示室 第3展示室	
	秋 の キ ノ コ 展	S53.11.11～S53.12. 3	第3展示室	
	民俗行事写真展	S54. 3.10～S54. 3.25	〃	
54	発掘資料展 一秋里遺跡を掘る一	S54. 6. 1～S54. 6.15	〃	
	古文書展と古地図展	S54. 6.23～S54. 7. 8	〃	
	石谷美術コレクション展	S55. 1. 8～S55. 1.27	第1展示室 第2展示室 第3展示室	
	空からみた郷土写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第2展示室	
	アインシュタイン 生誕100年記念写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第3展示室	京都ドイツ文化センター共 催、鳥取大学協賛
	古文書展～因・伯の木綿～	S55. 7.13～S55. 7.20	〃	
55	自然資料展	S55. 8. 2～S55. 8.31	〃	
	旧鳥取駅資料展	S56. 3. 7～S56. 3.22	〃	
56	シカゴ・ランドフォールプレス版画展 ～現代アメリカの版画～	S56. 6.16～S56. 6.28	〃	
57	自然資料展	S57. 7.17～S57. 7.31	〃	
	館蔵美術資料展	S57.11. 3～S57.11.23	第1展示室	
	鳥 取 城	S58. 3.20～S58. 4. 3	第3展示室	
58	前 田 寛 治 ～油彩と素描～	S58. 4. 9～S58. 6.26	〃	
	堀 家 資 料 ～儒家堀家をめぐる人々～	S58.11. 1～S58.11.20	〃	
59	生 駒 標 本 展	S59. 8. 7～S59. 8.30	〃	
	空から見た郷土写真展	S60. 3. 1～S60. 3.17	第2展示室	
60	近世のやきものとぬりもの展	S60. 6.18～S60. 6.30	第1展示室	
	中 島 菜 刀 展	S60. 9. 3～S60. 9.16	第1展示室 第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
61	自 然 資 料 展	S61. 8. 1 ~ S61. 8.28	第2展示室	
62	因 伯 の 古 地 図 展	S62. 3.28 ~ S62. 4.19	第1展示室	
	考 古 資 料 展 ～発掘された古代の情報～	S62.10.21 ~ S62.11.15	第3展示室	
	尾 崎 悌 之 助 遺 作 展	S62.10.31 ~ S62.11.11	第1展示室 第2展示室	
63	自 然 標 本 展 ～夏休みに学ぶ自然のいろいろ～	S63. 7.27 ~ S63. 8.21	第2展示室	
	君 野 コ レ ク シ ョ ン 展	S63. 8. 7 ~ S63. 8.21	第1展示室 第3展示室	
	第31回日本伝統工芸中国支部展	S63. 9.18 ~ S63. 9.25	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	絵 馬 と 信 仰 ～鳥取県の絵馬～	S63.11.15 ~ S63.12. 4	〃	
H1	橋 本 興 家 版 画 展	H 1. 3.11 ~ H 1. 4.16	第1展示室 第3展示室	
	オ ラ ン ダ 現 代 美 術 展	H 1. 4.23 ~ H 1. 5. 7	第2展示室	オランダ・トットリ現代 美術交流展実行委員会ほか 共催
	因・伯と但馬の襖絵	H 1. 7. 8 ~ H 1. 7.30	第3展示室	
	空から見た郷土のすがた展	H 1.11.16 ~ H 1.12.13	第2展示室	
2	第33回日本伝統工芸中国支部展	H 2. 9.22 ~ H 2. 9.30	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	川と池の自然のくらし	H 2.11.23 ~ H 2.12.16	第2展示室	
3	山 地 の 自 然 の く ら し	H 3.12. 4 ~ H 4. 1.19	〃	
4	身 近 な 鳥・珍 しい 鳥	H 4. 5. 2 ~ H 4. 5.17	第1展示室	
	池 田 光 仲 展	H 4. 7. 1 ~ H 4. 7.12	第3展示室	
	第35回日本伝統工芸中国支部展	H 4. 7. 2 ~ H 4. 7. 8	第1展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	海 岸 地 域 の 自 然 と く ら し	H 4.11.19 ~ H 4.12.13	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 I ～江戸時代の絵画～	H 5. 2.13 ~ H 5. 3. 7	〃	
5	夭折の画家・前田寛治と 異色の彫刻家・辻晉堂	H 5. 4.25 ~ H 5. 5.30	第1展示室 第2展示室	
	画 家 伊 谷 賢 蔵 と 尾 崎 悌 之 助	H 5.12.16 ~ H 6. 1.23	第1展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 II ～考古資料・工芸資料の美～	H 6. 2.15 ~ H 6. 3.13	〃	
6	空から見た郷土のすがた	H 6. 6.14 ~ H 6. 7. 3	第2展示室	
	鳥 たち の 世 界	H 6. 7.22 ~ H 6. 8.21	第1展示室	
	山 本 兼 文 遺 作 展 ～描き・彫り・刻み続けた半世紀～	H 6. 8. 2 ~ H 6. 8.15	第2展示室 第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 III ～書と人物～	H 7. 2.14 ~ H 7. 3.12	第1展示室	
7	～信仰の造形～郷土に伝わる仏画展～	H 7. 4.22 ~ H 7. 5.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 地 図	H 7. 4.28 ~ H 7. 5.21	第1展示室	
	戦 後 5 0 年・戦 争 と 美 術	H 7. 7.20 ~ H 7. 8.20	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 総 合 展	H 8. 2.10 ~ H 8. 3.10	第1展示室	
8	山 陰 海 岸 と カ ニ ～カニと一緒に記念写真～	H 8. 7.19 ~ H 8. 8.25	第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘要
9	鳥取東照宮の宝物	H 9. 3.27～H 9. 4.20	第1展示室	
	絵図と郷土でみる鳥取城	H10. 2.13～H10. 3.15	〃	
10	岡村吉右衛門コレクション展 — アジアの染織 —	H10. 4.18～H10. 5.17	〃	
	ロストワールド 太古の生きもの	H10. 7. 2～H10. 8. 1	〃	
11	空から見た郷土のすがた	H11. 4.16～H11. 5.16	第2展示室	
	鳥取県民の明治・大正・昭和	H11.11.12～H11.12.23	第1展示室	
	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
12	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
	ふしぎ大陸 南極展	H12. 4.21～H12. 5.21	第2展示室	
	城下町鳥取の絵図	H12. 9. 9～H12.10.26	第3展示室	
13	絵はがきで綴る鳥取	H13. 4.27～H13. 5.27	第2展示室	入場者数 15,089名
	ピカソ銅版画展	H13.11.16～H13.12. 9	〃	
14	すばる望遠鏡 — 宇宙を探る新しい眼 —	H14. 4.20～H14. 5.19	第3展示室	入場者数 4,270名
	数学と遊ぼう — 形の数のワンダーランド —	H14.12.12～H15. 1.19	第2展示室	入場者数 4,754名
	高知県立美術館ベストセレクション シャガール版画展～愛の賛歌～	H15. 3.15～H15. 4.13	第1展示室 第2展示室	入場者数 5,409名
15	因伯の古代寺院	H15. 4.26～H15. 5.25	第1展示室	入場者数 4,532名
	現代の表現 鳥取 vol.1 4Rooms — 4つの同時代的感性 —	H15.12.17～H16. 1.11	第2展示室	入場者数 1,173名
	富山県立近代美術館 所蔵ルオー版画展	H16. 2.28～H16. 3.28	第1展示室 第2展示室	入場者数 3,018名
16	発見しよう！自然のふしぎ	H16. 7.17～H16. 8.25	第1展示室	入場者数 5,794名
	空から見た郷土のすがた	H16. 7.17～H16. 8.25	第2展示室	〃
	現代の表現 鳥取 vol.2 平久弥・池本喜巳	H16.11.21～H16.12.19	〃	入場者数 3,967名
	郷土作家展 版画の誌 長谷川富三郎	H16.12.23～H17. 1.23	〃	入場者数 2,513名
	共同企画展 三重奏 鳥取県立博物館・倉吉博物館・ 米子市美術館のコレクションで つくる展覧会	H17. 2. 5～H17. 2.27	第1展示室	入場者数 1,364名
	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩素描展	H17. 3.12～H17. 4.17	第1展示室 第2展示室	入場者数 8,216名
17	鳥取の山岳信仰	H17.10. 7～H17.11. 6	第1展示室	入場者数 5,432名
	現代の表現鳥取 vol.3 嶋田悦子・福井貞子	H17.10. 8～H17.11. 6	第2展示室	入場者数 5,379名
	郷土作家展 異景 — 八橋誠滋／渡里彰造の世界 —	H18. 2. 7～H18. 2.26	第1展示室	入場者数 915名
18	遠い海	H18. 7.15～H18. 8.27	〃	入場者数 20,378名
	郷土作家展 海と空と 角護・石谷孝二	H19. 3. 3～H19. 3.18	第2展示室	入場者数 1,072名

※1 平成15年度から「企画展」に名称変更

※2 平成19年度から従前の「企画展」を廃止

5 条例・規則

○鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年7月7日鳥取県条例第29号）

（目的）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項に基づき、鳥取県立博物館の設置及びその管理に関する事項について定めることを目的とする。

（設置）

第2条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）を鳥取市に設置する。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時まで（教育委員会があらかじめ指定する日においては、午前9時から午後7時まで）とする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定した日を掲示その他適当な方法により公表しなければならない。

3 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に第1項の開館時間を変更することができる。

4 教育委員会は、前項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（休館日）

第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限る。））

（2）休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。）

（3）12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

3 教育委員会は、前項の規定により臨時に休館し、又は休館日に開館するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（利用の許可）

第5条 博物館を利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、その利用（展示室、講堂又は会議室に係るものに限る。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

（1）公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

（2）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

（3）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の利益になると認められるとき。

（行為の制限等）

第6条 博物館においては、次の行為をしてはならない。

（1）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をすること。

（2）許可を受けずに博物館資料を模写し、又は撮影すること。

（3）所定の場所以外の場所において喫煙し、又は飲食をすること。

（4）許可を受けずに物品を販売すること。

(5) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める行為

2 教育委員会は、前項の規定に違反し、又はそのおそれのある者に対しては、博物館への入館を拒み、又は博物館からの退去を命ずることができる。

(措置命令)

第7条 教育委員会は、博物館の適正な管理を図るため必要があると認めるときは、博物館の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)その他の博物館を使用する者に対し、必要な措置を命ずることができる。

(許可の取消し)

第8条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第5条第1項又は第6条第1項第2号若しくは第4号の許可を取り消すことができる。

(1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反したとき。

(2) 前条の命令に従わないとき。

(3) 許可の条件に違反したとき。

(4) 詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障がある行為をし、又はそのおそれのあるとき。

(使用料の徴収)

第9条 博物館の利用については、別表に定めるところにより、使用料を徴収する。

(使用料の減免)

第10条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。

(教育委員会規則への委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関する事項は、教育委員会規則で定める。

(以下附則省略)

別表(第9条関係)

1 通常展示の入館料

区 分	金 額
個人(一般人に限る。)	1人1回につき 180円
団体(一般人の団体であって20人以上のものに限る。)	1人1回につき 150円

2 特別展示(博物館が主催して行う特別の企画による展示をいう。)の入館料

展示に要する経費を勘案して教育委員会が別に定める額

3 展示室等使用料

区 分	金 額
第1展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第2展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第3展示室	1日につき 10,380円 半日につき 5,190円
講 堂	1日につき 5,320円 半日につき 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円

備考

- 1 この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 2 午後5時を超えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第1展示室	1時間につき 1,660円
第2展示室	1時間につき 1,660円
第3展示室	1時間につき 1,300円
講 堂	1時間につき 660円

- 3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料（備考2により加算した使用料を含む。）の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

○鳥取県立博物館協議会に関する条例（昭和33年4月1日鳥取県条例第16号）

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、鳥取県立博物館に鳥取県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（定数）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

（任命の基準）

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

（以下附則省略）

○鳥取県立博物館の管理運営に関する規則（昭和47年9月29日鳥取県教育委員会規則第7号）

（趣旨）

第1条 この規則は、鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年鳥取県条例第29号。以下「条例」という。）第2条の規定により設置された鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（内部組織及び分掌事務）

第2条 博物館に、総務課、学芸課及び美術振興課を置く。

2 各課又は室の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- （1）博物館の施設の管理に関すること。
- （2）博物館協議会に関すること。
- （3）庶務に関すること。

(4) その他他課の所掌に属しないこと。

学芸課

(1) 博物館資料（美術関係の資料を除く。次号及び第3号において同じ。）の収集、保管及び展示に関すること。

(2) 博物館資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。

(3) 博物館資料の調査研究に関すること。

(4) その他博物館の事業に関すること（美術振興課の所掌に属するものを除く。）。

美術振興課

(1) 県立美術館の整備に係る調査に関すること。

(2) 美術関係の資料の収集、保管及び展示に関すること。

(3) 美術関係の資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。

(4) 美術関係の資料の調査研究に関すること。

(5) その他美術関係の博物館の事業に関すること。

(職制)

第3条 博物館に館長を、課に課長を置く。

2 館長又は課長の職務を補佐し、これらの者に事故があるときにその職務を代行させるため必要があると認めるときは、博物館に副館長を、課に課長補佐を置くことができる。

(職員の種類)

第4条 博物館の職員（臨時的任用職員及び非常勤職員を除く。以下同じ。）の種類は、事務職員及び技術職員とする。

(職員の職)

第5条 博物館の職員の職は、別表のとおりとする。

(職員の分担事務)

第6条 職員の分担事務は、館長が定め、教育長に報告しなければならない。

(利用の申込み等)

第7条 博物館の展示室、講堂及び会議室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者は、様式第1号による利用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

2 博物館に入館して博物館資料を観覧しようとする者の利用の申込みについては、教育委員会が別に定めるところによる。

3 教育委員会は、博物館の利用の許可をしたときは、展示室等を利用する者に対しては様式第2号により通知し、博物館に入館して博物館資料を観覧する者（一般人に限る。）に対しては様式第3号による入館券を交付するものとする。

(許可申請)

第8条 条例第6条第1項第2号の許可を受けようとする者は、様式第4号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 条例第6条第1項第4号の許可を受けようとする者は、様式第5号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第9条 博物館の使用料の減免を受けようとする者は、様式第6号による減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が別に定める場合は、この限りでない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会の承認を得て、館長が別に定める。

(以下附則及び様式省略)

別表 (第5条関係)

- 1 事務職員又は技術職員をもって充てる職
館長・副館長・課長・課長補佐・係長
- 2 事務職員をもって充てる職
主事
- 3 技術職員をもって充てる職
主幹学芸員・主任学芸員・学芸員・学芸員補・専門員・機械技師・電気技師・自動車整備士・
運転士

○県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免に関する規則 (抄)

(昭和52年3月30日鳥取県規則第15号)

(目的)

第1条 この規則は、鳥取県立学校(以下「県立学校」という。)の授業料(通信制の課程にあっては、受講料。以下同じ。)、入学料及び入学選抜手数料(以下「授業料等」という。)並びに鳥取県立博物館及び鳥取県立青少年社会教育施設(以下「社会教育施設」という。)の使用料の減免に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(授業料等及び使用料の減免)

第2条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免は、次の表の中欄に掲げる授業料等又は使用料について行うものとし、当該授業料等又は使用料の減免を行うことができる場合は、それぞれ同表の右欄に定める事由に該当する場合とする。

区 分	授業料等又は使用料	減 免 事 由
鳥取県立博物館	通常展示の入館料及び特別展示の入館料	1 幼児、児童、生徒又は学生(以下「学生等」という。)の引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 2 身体障害者手帳の交付を受けた者、療育手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者その他知事が定める基準に該当する心身に障がいをもつ者(以下「障がい者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 3 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第7条第4項の規定による医療受給者証の交付を受けた者(以下「難病患者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 4 70歳以上の者が観覧するとき。 5 介護保険法(平成9年法律第123号)の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた者(以下「要介護者等」という。)及びその介護者が観覧するとき。 6 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めるとき。
	通常展示の入館料	特別展示その他入場料又はこれに類するものを徴収する展示を観覧する者が当該利用の日に通常展示を観覧するとき。

鳥取県立博物館	展示室等使用料 (冷房若しくは暖房をしたとき、又は照明をしたときに加算すべき部分を除く。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 2 社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 3 障がい者の社会参加を促進すると認められるとき。 4 難病患者の社会参加を促進すると認められるとき。 5 70歳以上の者の社会参加を促進すると認められるとき。 6 要介護者等の社会参加を促進すると認められるとき。 7 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めたとき。
	展示室等使用料	<p>学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校、同法第55条第1項の規定により指定された技能教育のための施設若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する保育所若しくは幼保連携型認定こども園又は教育に関する活動を行う団体であつて知事が別に定める基準に該当するもの(以下「学校等」という。)が、学生等が行う公演、学生等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他の知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき。</p>

(減免の申請手続等)

第3条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免の申請手続その他必要な事項は、別に定める。

(以下附則省略)

鳥取県立博物館年報

令和5年度 No. 52

令和6年11月 発行

鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124

TEL (0857) 26-8042

FAX (0857) 26-8041

印刷 有限会社 蛍光社
